

# 事業用貨物自動車の 交通事故の 傾向と事件事例

平成27年8月



公益社団法人

全日本トラック協会

## まえがき

本書は、公益財団法人交通事故総合分析センター及び国土交通省の協力を得て、平成26年の全国交通事故統計（マクロ統計）データから事業用貨物自動車（軽自動車を除く。）を対象とし、交通事故の全体傾向を統計分析するとともに、交通事故事例調査（ミクロ調査）結果等から事例分析を紹介しています。

平成26年に、全国で発生した交通事故（物損事故を除く。）の件数は、573,842件、死者数は、4,113人、負傷者数は711,374人でした。これは、前年に比べて、事故件数が55,179件減（-8.8%）、死者数が260人減（-5.9%）、負傷者数が70,120人減（-9.0%）となっています。

一方、事業用貨物自動車については、交通事故発生件数、死者数及び負傷者数のそれぞれが減少したものの、交差点を含む右左折時の死亡事故は増加しており、交通事故情勢は依然として厳しい状況にあります。

当協会では、交通事故ゼロを目指すために、「トラック事業における総合安全プラン2009」の各課題に取り組み、安全輸送の確立を図るとともに、運輸安全マネジメントの導入促進等関係法令の遵守をはじめ、飲酒運転の撲滅、追突事故防止対策、速度抑制装置の不正改造排除活動の継続実施など、事故防止に向けた各種啓発事業に取り組んでいるところです。

特に平成27年には上記総合安全プラン2009の中間見直しを行い、事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を、車両台数一万台当たり「2.0以下」とする各都道府県（車籍別）の共有目標とし、死亡事故率の低い都道府県トラック協会の対策を水平展開し、更なる事故防止対策の推進を図ることとしています。

このような状況の中、貨物自動車運送事業の経営にあたっては、交通事故防止対策を最重要課題とし、確実な点呼の実施を始めとして、アルコール検知器を使用した飲酒運転防止、過労運転の防止、点検整備の徹底、運転者の教育・指導など安全管理の充実に努め、これまで以上に交通事故防止対策を講じていく必要があります。また、そのために、交通事故の発生状況について詳細に分析し、得られた推定原因等から効果的な再発防止策を繰り返し講じることも重要な取り組みです。

なお、本書は過去のマクロ統計データを含め、軽自動車の事業用貨物自動車を除いた統計分析としています。

本書を事業用貨物自動車の交通事故防止対策の一助として活用いただければ幸いに存じます。

平成27年8月

公益社団法人 全日本トラック協会  
会長 星野良三

# 目 次

<b>第1章 事業用貨物自動車のマクロ統計分析</b>	1
1. 当事車種別事故件数の推移	1
2. 事故類型別事故件数の推移	2
3. 事故類型詳細区分別事故の状況	3
4. 運転者年齢層別事故の状況	9
5. 時間帯別事故の状況	13
6. 危険認知速度別事故の状況	16
7. 時間帯別危険認知速度別追突事故の状況	18
8. 行動類型別事故の状況	20
9. 法令違反別事故の状況	21
10. 飲酒運転による事故の状況	24
11. 整備不良事故の状況	25
12. 車両的事故要因別事故の状況	26
13. 事故車種の運転免許経過年数別事故の状況	27
14. 運転資格別事故の状況	29
15. シートベルト着用有無別運転者の状況	30
16. 高速道路の事故状況	32
17. 死傷者の状況	34
<b>第2章 事業用貨物自動車のミクロ調査事故事例</b>	38
事例 1. 夜間の漫然運転による歩行者事故	38
事例 2. 運転者の動静不注視による歩行者事故	40
<b>付録</b>	42
付録 1. 平成26年 都道府県別の交通事故発生状況(死亡・重傷・軽傷事故別)	43
付録 2. 平成26年 都道府県別の事業用自動車の交通事故発生件数(第1当事者)	44
付録 3. 平成26年 事業用自動車の法令違反別交通事故発生件数(第1当事者)	45
付録 4. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の事故件数(第1当事者)	46
付録 5. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(第1当事者)	47
付録 6. 交通事故発生状況の推移(平成3年～平成26年)	48
付録 7. 事業用自動車の死者数の推移(平成17年～平成26年)	49
付録 8. 事業用自動車の保有台数当たりの死者数の推移(平成17年～平成26年)	49
付録 9. 事業用自動車の業態別事故件数の推移(平成17年～平成26年)	50
付録10. 事業用自動車の業態別保有台数当たりの事故件数の推移(平成17年～平成26年)	50
付録11. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別1万台当たりの死亡事故件数	51
付録12. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別1万台当たりの重傷・軽傷事故件数	51
付録13. 事業用自動車運転者の年齢別死亡事故発生割合(平成17年～平成26年)	52
付録14. 事業用自動車運転者の年齢別事故発生割合(平成17年～平成26年)	53
付録15. 平成26年 危険認知速度別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合	54
付録16. 平成26年 事故類型別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合	55
付録17. 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の死亡事故件数及び死者数(第1当事者) (平成24年～平成26年)	56
付録18. 事業用トラック1万台当たりの死亡事故件数(平成25年,平成26年)	57

(注) データは、平成27年7月末現在のものです。

# 第1章 事業用貨物自動車のマクロ統計分析

## 1. 事業用貨物自動車の当事車種別事故件数の推移

平成26年中に事業用貨物自動車第1当事者となった交通事故(物損事故を除く。以下、「事業用トラックの交通事故」という。)は、17,801件で前年(18,491件)に比べ690件(約4%)減少しています。

車種別にみると、平成26年は前年に比べ大型が140件、中型が360件、普通が190件と減少しています。

平成17年から平成21年までの事業用トラックの交通事故件数は減少傾向となっていたところ、平成22年で一旦増加した後、平成23年からは緩やかな減少傾向となっています。

表1 事業用貨物自動車の事故件数の推移

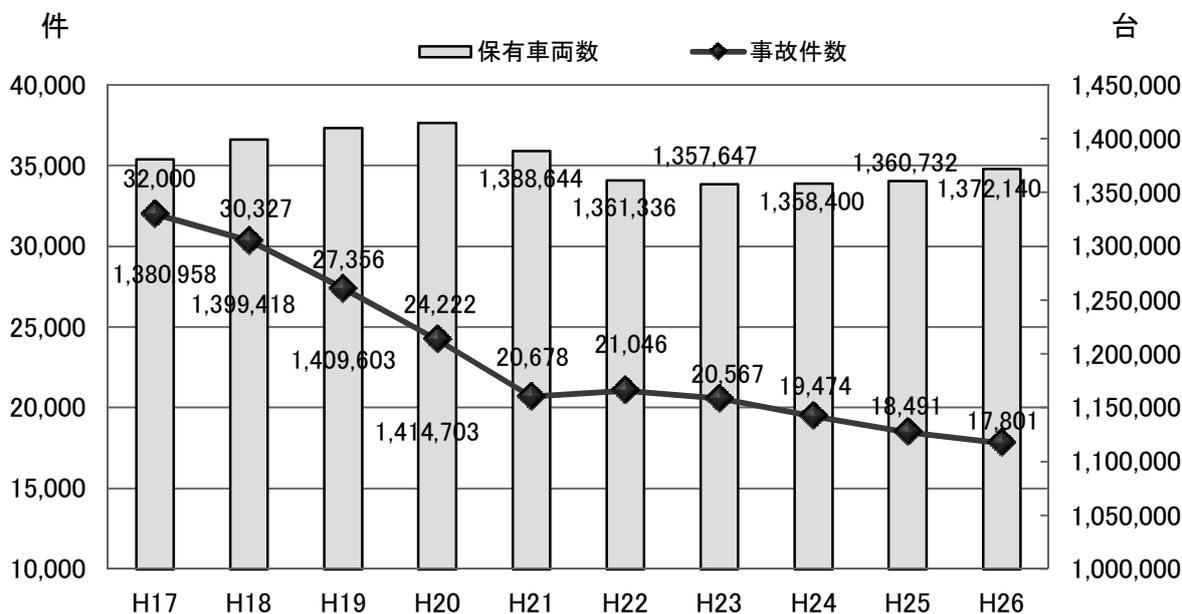
	大型		中型	普通	計	保有車両数(台)
H17	7,441	(1,275)	24,559		32,000	1,380,958
H18	7,183	(1,235)	23,144		30,327	1,399,418
H19	6,915	(1,321)	8,972	11,469	27,356	1,409,603
H20	9,000	(1,622)	9,159	6,063	24,222	1,414,703
H21	7,624	(1,220)	8,649	4,405	20,678	1,388,644
H22	8,003	(1,357)	9,060	3,983	21,046	1,361,336
H23	7,993	(1,262)	9,034	3,540	20,567	1,357,647
H24	7,586	(1,265)	8,715	3,173	19,474	1,358,400
H25	7,125	(1,208)	8,490	2,876	18,491	1,360,732
H26	6,985	(1,155)	8,130	2,686	17,801	1,372,140

注1 大型とは車両総重量11t以上、中型とは車両総重量5t以上11t未満、普通とは車両総重量5t未満の貨物車をいう。

注2 ( )書きの数値は、トレーラで大型貨物車の内数である。

注3 保有車両数は、全日本トラック協会の集計による3月末現在の車両数である。

図1 事業用貨物自動車の事故件数の推移



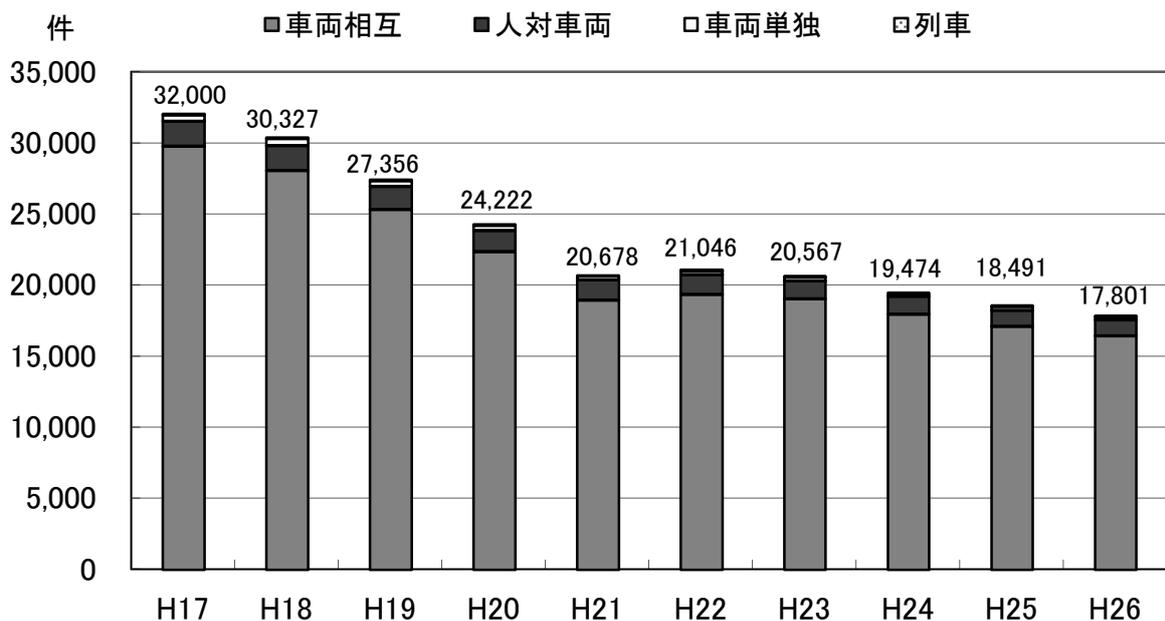
## 2. 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の推移

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、事故類型別事故件数の構成率をみると、車両相互事故が16,460件で92.5%、人対車両事故が1,129件で6.3%、車両単独事故が211件で1.2%となっており、依然として、車両相互事故の割合が9割以上を占めています。

表2 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の推移

事故類型 年	車両相互	人対車両	車両単独	列車	事業用貨物自動車	
	事故件数	事故件数	事故件数	事故件数	合計	車両相互事故構成率
H17	29,798	1,721	477	4	32,000	93.1%
H18	28,075	1,764	487	1	30,327	92.6%
H19	25,337	1,623	393	3	27,356	92.6%
H20	22,349	1,526	345	2	24,222	92.3%
H21	18,970	1,424	284	0	20,678	91.7%
H22	19,381	1,371	293	1	21,046	92.1%
H23	19,036	1,263	265	3	20,567	92.6%
H24	17,966	1,282	226	0	19,474	92.3%
H25	17,106	1,138	244	3	18,491	92.5%
H26	16,460	1,129	211	1	17,801	92.5%

図2 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の推移



### 3. 事業用貨物自動車の事故類型詳細区別事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故17,801件について、事故類型詳細区別の事故件数で最も多い車両相互事故を詳細区別にみると、追突事故が9,292件(1,333件と7,959件の合計)、出会い頭衝突事故1,708件、右左折時衝突事故1,952件(1,038件と914件の合計)の順となっています。

特に、追突事故は自動車(自二、原付を除く)による交通事故全体(518,813件)の約39%(追突事故:202,208件)であるにも拘わらず、事業用トラックでは図3-1のとおり約52.2%と非常に高い構成率となっています。

一方、図3-2のとおり高速道路においては、追突事故が1,209件(556件と653件の合計)、進路変更時衝突192件、追越・追抜時衝突86件の順となっており、特に追突事故の占める割合は高速道路事故の約71%と非常に高い割合となっています。

表3-1 事業用貨物自動車の事故類型詳細区別事故件数(平成26年)

	死亡			重傷			軽傷			合計				
	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計	高速道	一般道	計		
人 対 車 両	対面通行中	0	3	3	0	10	10	0	34	34	0	47	47	
	背面通行中	1	7	8	0	20	20	0	65	65	1	92	93	
	横断中	横断歩道	0	35	35	0	85	85	0	328	328	0	448	448
		横断歩道付近	0	6	6	0	7	7	0	12	12	0	25	25
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	4	4
		その他	1	32	33	0	49	49	1	101	102	2	182	184
	路上遊戯中	0	2	2	0	0	0	0	5	5	0	7	7	
	路上作業中	1	5	6	1	15	16	3	29	32	5	49	54	
	路上停止中	3	5	8	1	4	5	0	21	21	4	30	34	
	路上横臥中	0	11	11	0	1	1	0	1	1	0	13	13	
	その他	3	5	8	3	33	36	5	171	176	11	209	220	
小計	9	111	120	5	226	231	9	769	778	23	1,106	1,129		
車 両 相 互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	
		その他	0	11	11	1	47	48	0	166	166	1	224	225
	追突	進行中	15	17	32	36	47	83	505	713	1,218	556	777	1,333
		駐・停車中	15	11	26	40	168	208	598	7,127	7,725	653	7,306	7,959
	出会い頭衝突	0	29	29	0	198	198	1	1,480	1,481	1	1,707	1,708	
	追越・追抜時衝突	2	5	7	3	73	76	81	550	631	86	628	714	
	進路変更時衝突	1	4	5	8	27	35	183	539	722	192	570	762	
	すれ違い時衝突	0	4	4	1	13	14	1	208	209	2	225	227	
	左折時衝突	0	32	32	0	96	96	1	909	910	1	1,037	1,038	
	右折時衝突	0	17	17	0	121	121	1	775	776	1	913	914	
	横断時衝突	0	2	2	0	8	8	0	17	17	0	27	27	
	転回時衝突	0	2	2	0	8	8	0	60	60	0	70	70	
	後退時衝突	0	0	0	1	14	15	19	626	645	20	640	660	
その他	8	2	10	7	47	54	89	667	756	104	716	820		
小計	41	136	177	97	867	964	1,479	13,840	15,319	1,617	14,843	16,460		
車 両 単 独	工作物衝突	電柱	0	0	0	0	4	4	0	5	5	0	9	9
		標識	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0	5	5
		分離帯・安全島	2	1	3	4	1	5	4	6	10	10	8	18
		防護柵等	8	3	11	4	7	11	6	16	22	18	26	44
		家屋・塀	0	1	1	0	0	0	0	3	3	0	4	4
		橋梁・橋	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	3
	その他	0	3	3	1	7	8	0	13	13	1	23	24	
	駐車車両(運転者不在中)衝突	8	2	10	9	4	13	13	26	39	30	32	62	
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	4	4	0	5	5	0	9	9
		その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2
転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	4	4	3	8	11	2	14	16	5	26	31		
小計	18	15	33	21	38	59	25	94	119	64	147	211		
列車	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1		
合計	68	262	330	123	1,131	1,254	1,513	14,704	16,217	1,704	16,097	17,801		

図3-1 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の構成率（平成26年）

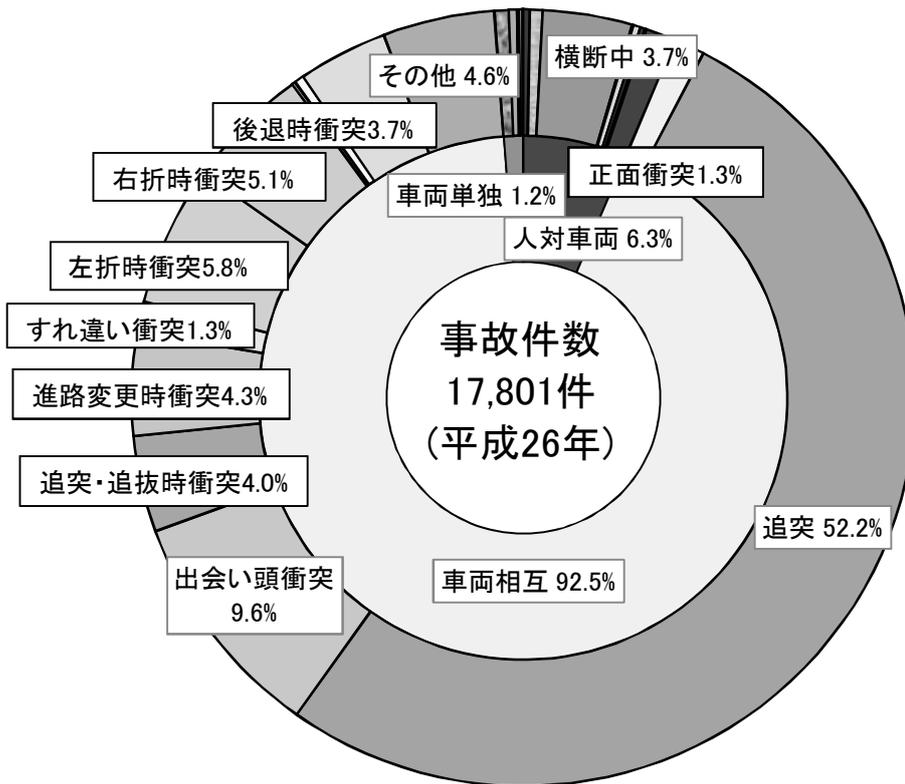
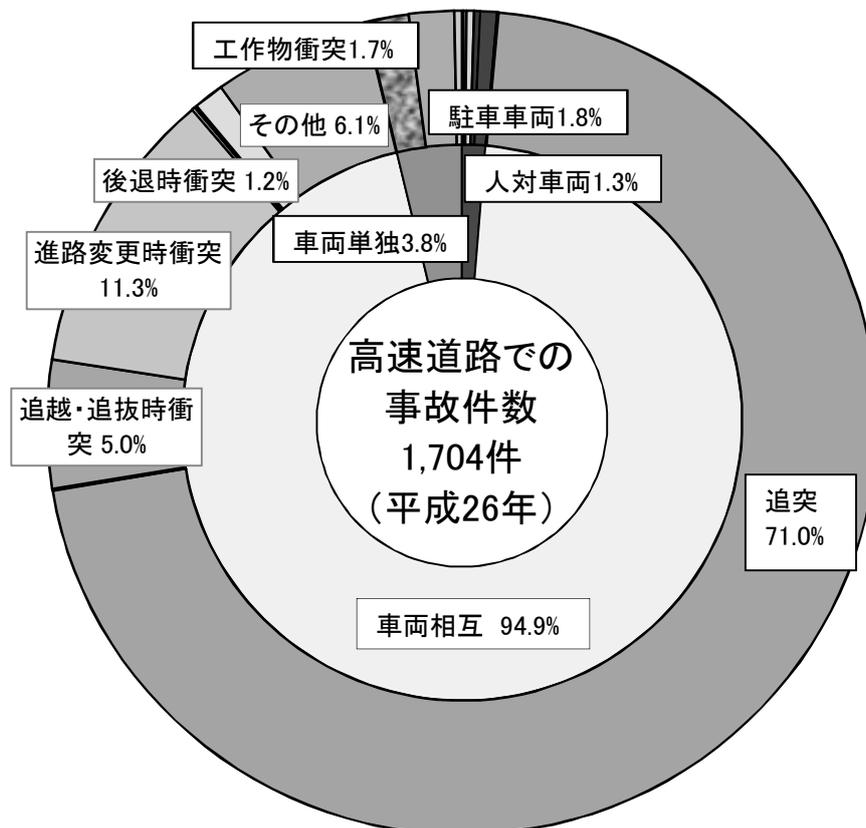


図3-2 事業用貨物自動車の高速道路での事故類型別事故件数の構成率（平成26年）



## 参 考

### (1) 事業用貨物自動車の事故類型別事故の構成率(平成17～26年)

- ・事故類型としては「追突」が最も多く、約半数を占めています。
- ・平成17年から平成21年までは、「左折時衝突」よりも「右折時衝突」が多い状況でしたが、平成22年からは「左折時衝突」が上回っています。

表3-2 事業用貨物自動車の事故類型別事故の構成率(平成17～26年)

(%)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
追突	49.8	49.7	47.9	47.0	45.6	47.2	47.7	48.2	52.6	52.2
出会い頭衝突	13.1	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.6	13.0	10.0	9.6
人対車両	6.0	6.5	6.5	7.0	8.0	7.0	7.1	7.4	6.2	6.3
右折時衝突	6.0	6.0	6.4	6.1	6.2	6.0	5.7	5.5	4.8	5.1
左折時衝突	5.6	5.4	6.0	6.0	6.2	6.3	6.1	6.0	6.0	5.8

※1 H25以降については、軽自動車を除外しています。

※2 事故類型については、構成割合の高い5項目を選出しています。

図3-3 事業用貨物自動車の事故類型別事故件数の構成率(平成17～26年)

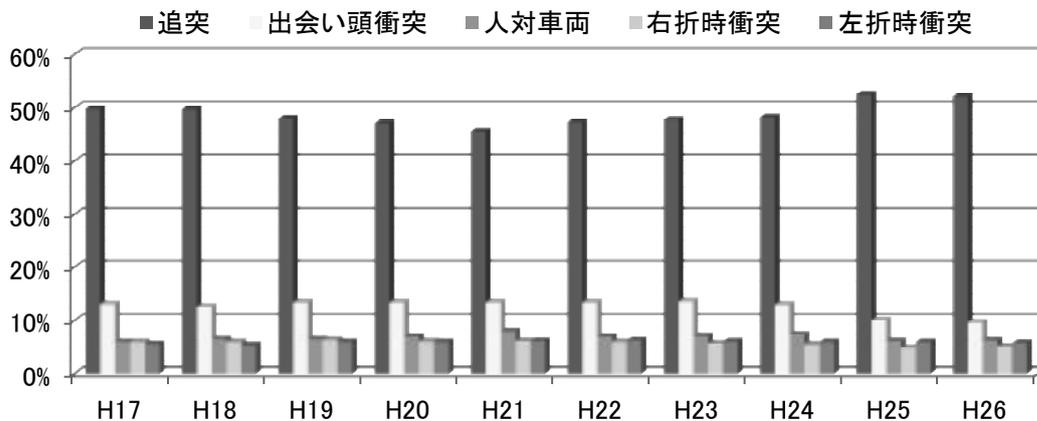
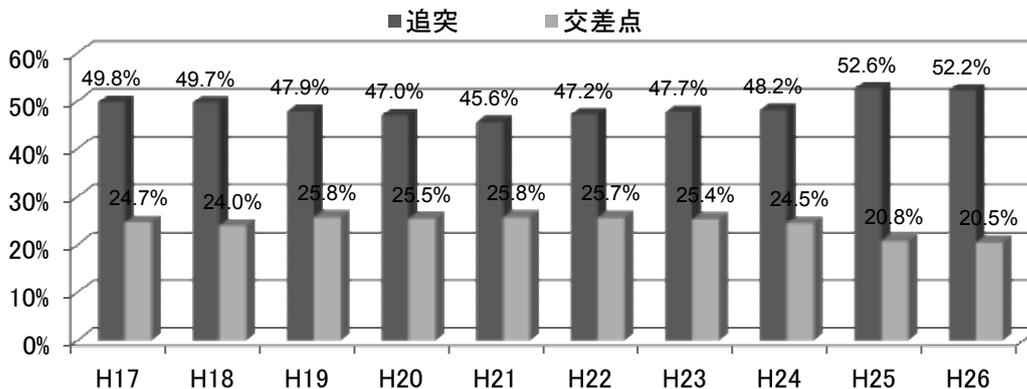


図3-4 「追突」と「交差点」による事故件数の構成率の比較(平成17～26年)



※ 当該集計では、出会い頭、右折、左折の合計を「交差点」としています。

(2) 事業用貨物自動車の事故類型別死亡事故件数(平成21～26年)

・事故類型別死亡事故件数については、平成21年以降集計を行っておりますが、例年、「人対車両(横断中)」、「追突」、「交差点」の3項目の件数が多い状況となっています。

・平成24年以降でみると「交差点」だけが増加する傾向にあり、平成26年では「追突」が大幅に減少したことも影響し、結果的に「交差点」が最も多い状況となっています。

※ 当該集計では、出会い頭、右折、左折の合計を「交差点」としています。

表3-3 事業用貨物自動車の事故類型別死亡事故件数(平成21～26年)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26
人対車両(横断中)	105	73	87	103	88	74
車両単独	33	45	22	47	33	33
正面衝突	23	27	21	18	10	11
追突	65	86	85	78	78	58
交差点	93	91	78	72	73	78
出会い頭	49	41	40	29	31	29
左折	25	29	24	24	23	32
右折	19	21	14	19	19	17

※1 H25以降については、軽自動車を除外しています。

※2 事故類型については、件数の多い代表的な項目のみを選出しています。

図3-5 事業用貨物自動車の事故類型別死亡事故件数(平成21～26年)

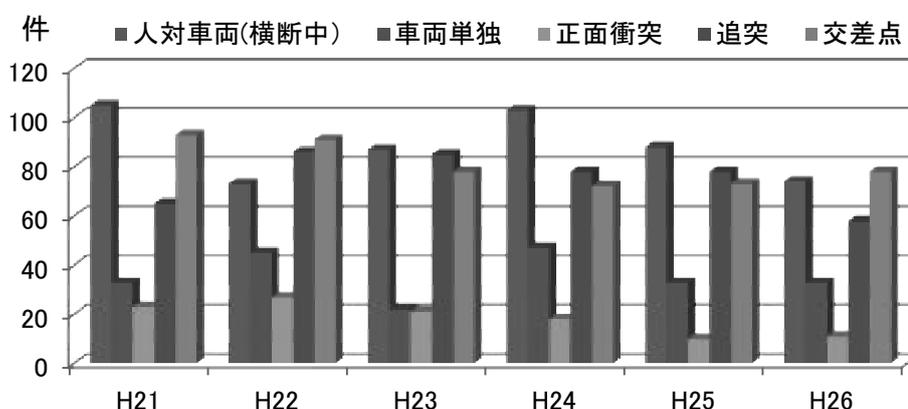
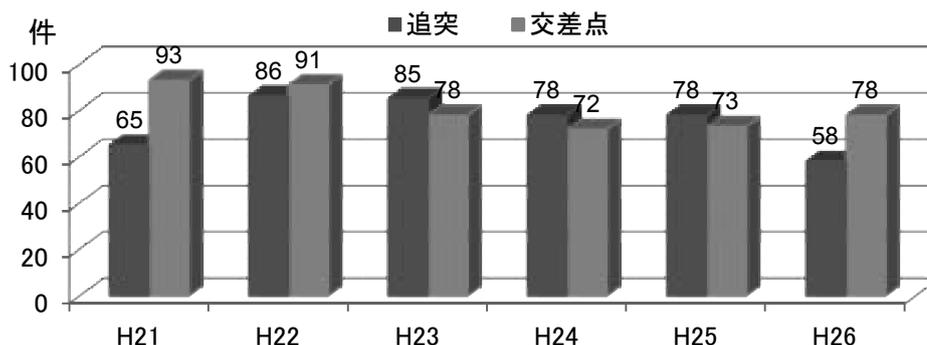


図3-6 「追突」と「交差点」による死亡事故件数の比較(平成21～26年)



### (3) 事業用貨物自動車の衝突地点別死傷者数の状況(平成19～26年)

- ・事業用トラックの交通事故について、交差点内における死傷者数の推移をみると、全体としては減少傾向にあるものの、平成26年については死者数及び重傷者数が前年よりも増加する結果となっています。
- ・衝突地点別の事故における死者割合(死傷者数に占める死者数の割合)をみると、全衝突地点及び単路については1%台ですが、交差点内については2%台と高い割合となっており、更に平成24年以降は増加する傾向がみられます。

※ 死者割合＝死者数÷死傷者数×100

表3-4 事業用貨物自動車の交差点内の事故における死傷者数(平成19～26年)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
死者数	149	168	149	132	120	124	118	129
重傷者数	662	694	671	670	605	534	468	529
軽傷者数	6,774	7,329	6,342	6,054	5,844	5,294	4,869	4,661
死傷者数(合計)	7,585	8,191	7,162	6,856	6,569	5,952	5,455	5,319

図3-7 事業用貨物自動車の交差点内の事故における死傷者数(平成19～26年)

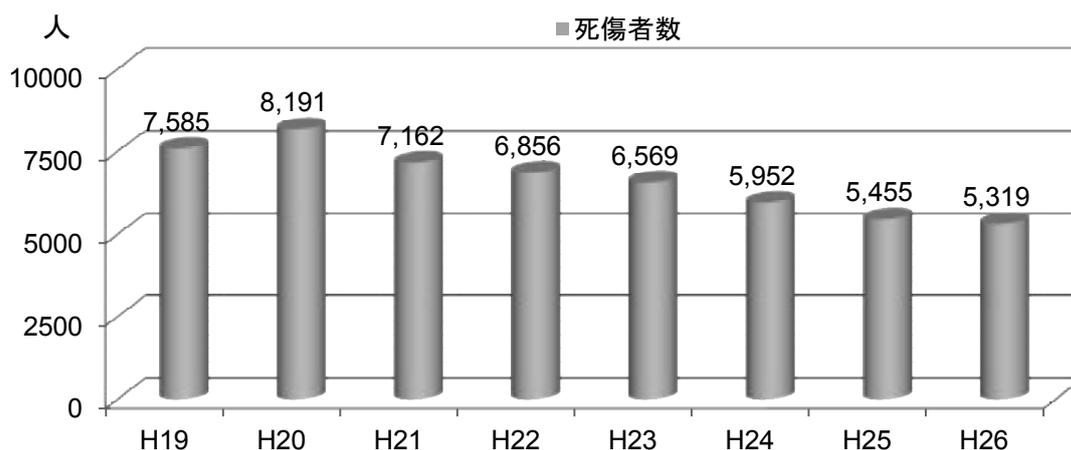


図3-8 事業用貨物自動車の交差点内の事故における死者数(平成19～26年)

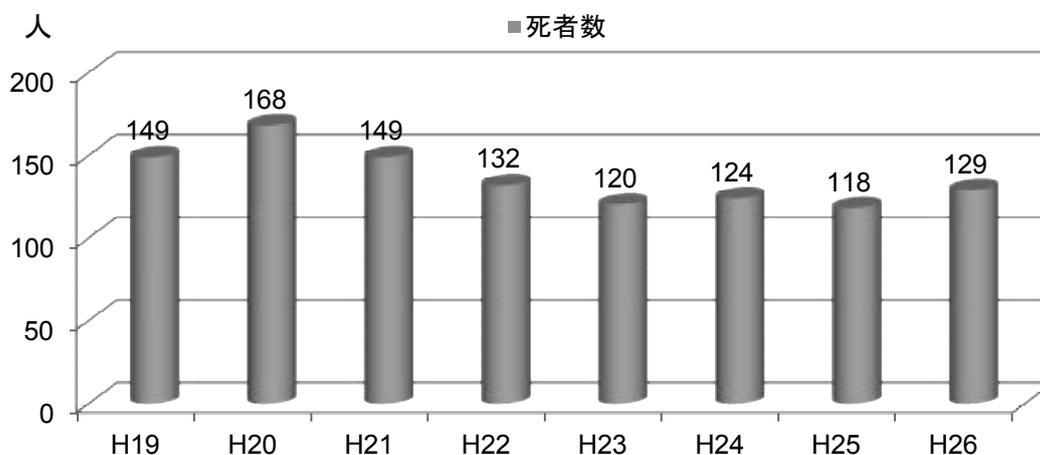


図3-9 事業用貨物自動車の交差点内の事故における重傷者数(平成19~26年)

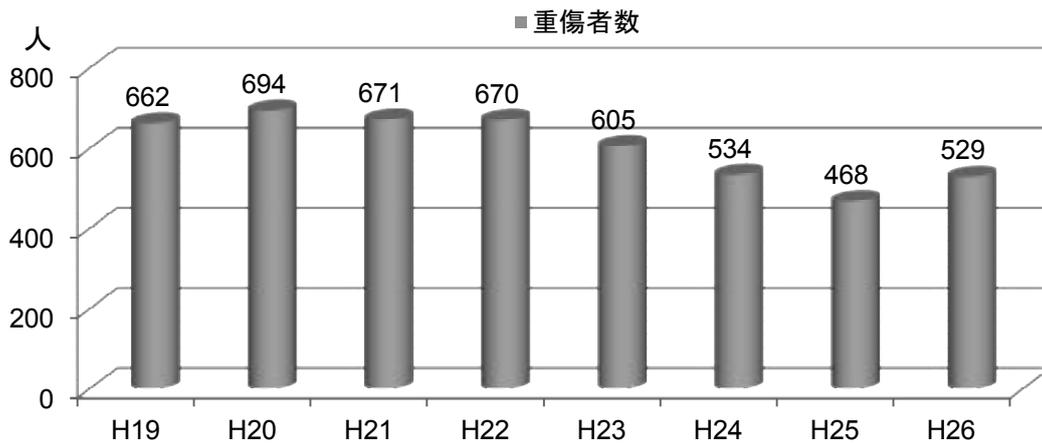


図3-10 事業用貨物自動車の交差点内の事故における軽傷者数(平成19~26年)

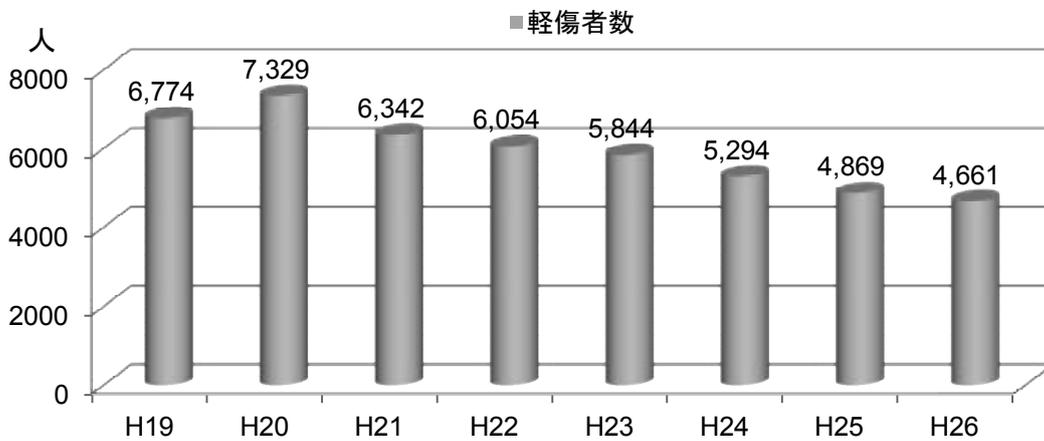
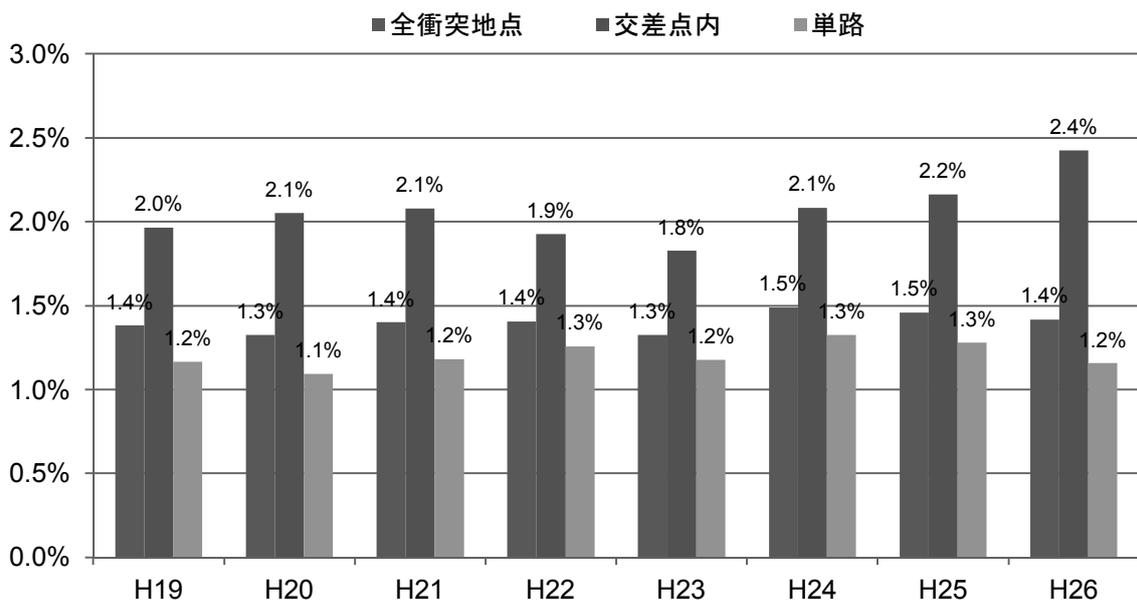


図3-11 事業用貨物自動車の衝突地点別の事故における死者割合(平成19~26年)



※ 死者割合=死者数÷死傷者数×100

## 4. 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故の状況

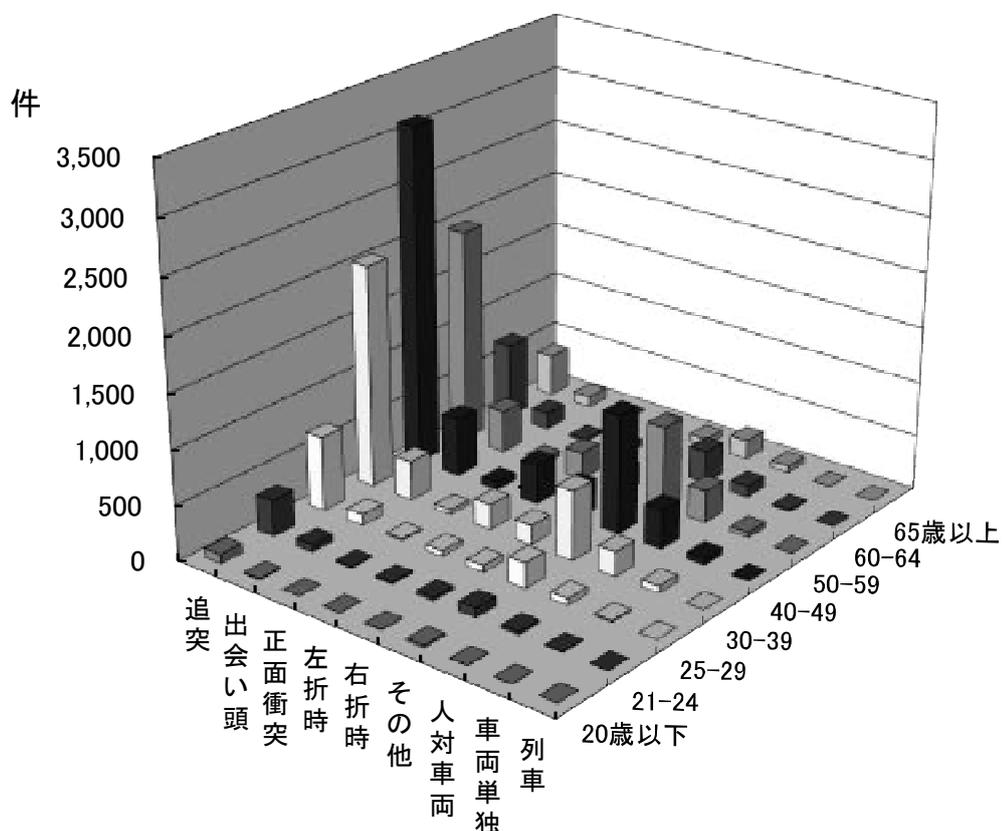
### (1) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、運転者年齢層別事故類型別の事故件数をみると、40歳代の追突事故が3,108件と最も多く、次いで30歳代で2,039件、50歳代で1,973件の順となっており、30歳代から50歳代の年齢層における追突事故件数(7,120件)は全体の約77%を占めています。

表4-1 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故件数(平成26年)

事故類型		20歳以下	21-24	25-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65歳以上	合計
車両相互	追突	84	330	683	2,039	3,108	1,973	692	383	9,292
	出会い頭	10	66	100	360	535	387	152	98	1,708
	正面衝突	1	11	14	42	62	53	25	20	228
	左折時	2	18	51	230	361	249	70	57	1,038
	右折時	4	29	63	176	283	194	104	61	914
	その他	21	86	233	631	1,085	752	296	176	3,280
	人対車両	4	28	60	225	355	293	102	62	1,129
車両単独	3	7	13	63	59	48	16	2	211	
列車	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合計	129	575	1,217	3,766	5,848	3,950	1,457	859	17,801	

図4-1 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故件数(平成26年)



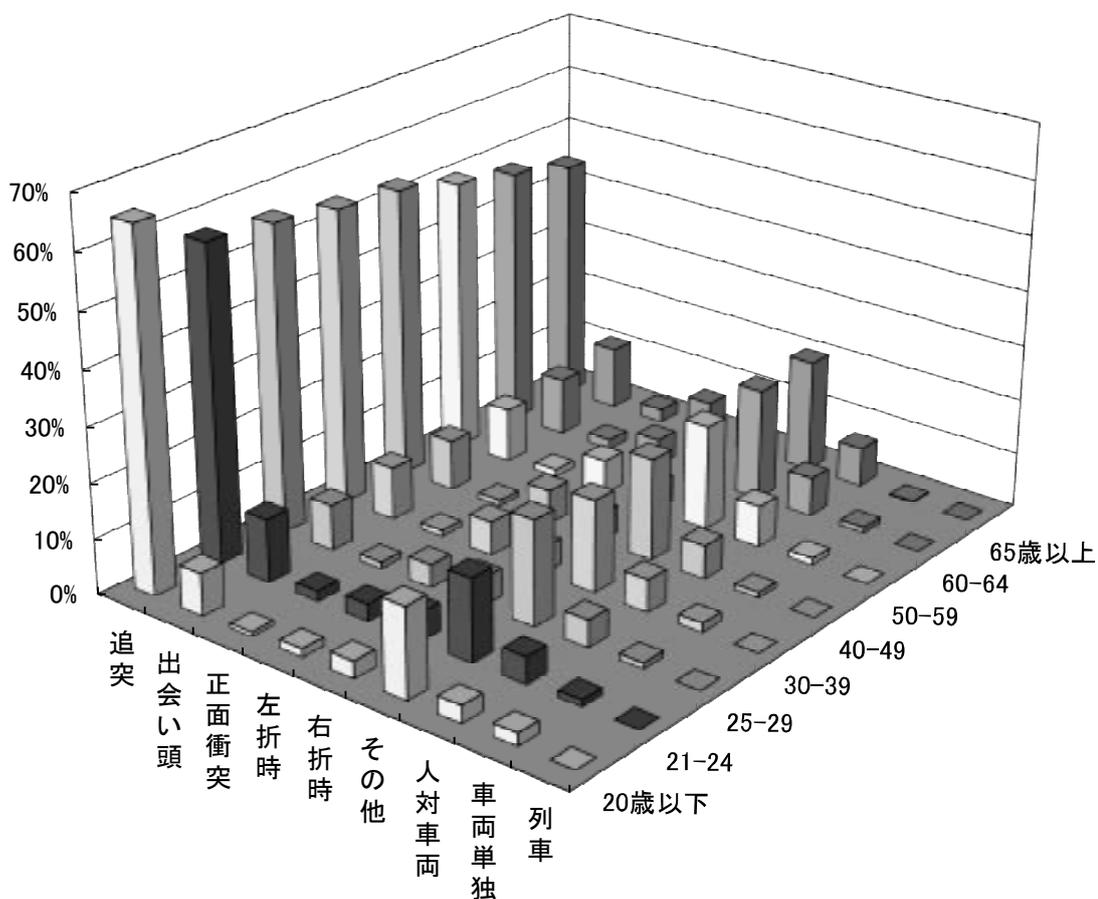
(2) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故構成率

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、運転者年齢層別事故類型別の構成率をみると、追突事故が全体の52%を占めています。また、年齢層毎にみると、年齢が若いほど追突事故を起こす割合が高く、高齢になるに従い出会い頭事故などの割合が高くなる傾向にあります。

表4-2 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故構成率(平成26年)

		20歳以下	21-24	25-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65歳以上	合計
車両相互	追突	65%	57%	56%	54%	53%	50%	47%	45%	52%
	出会い頭	8%	11%	8%	10%	9%	10%	10%	11%	10%
	正面衝突	1%	2%	1%	1%	1%	1%	2%	2%	1%
	左折時	2%	3%	4%	6%	6%	6%	5%	7%	6%
	右折時	3%	5%	5%	5%	5%	5%	7%	7%	5%
	その他	16%	15%	19%	17%	19%	19%	20%	20%	18%
人対車両		3%	5%	5%	6%	6%	7%	7%	7%	6%
車両単独		2%	1%	1%	2%	1%	1%	1%	0%	1%
列車		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

図4-2 事業用貨物自動車の運転者年齢層別事故類型別事故構成率(平成26年)



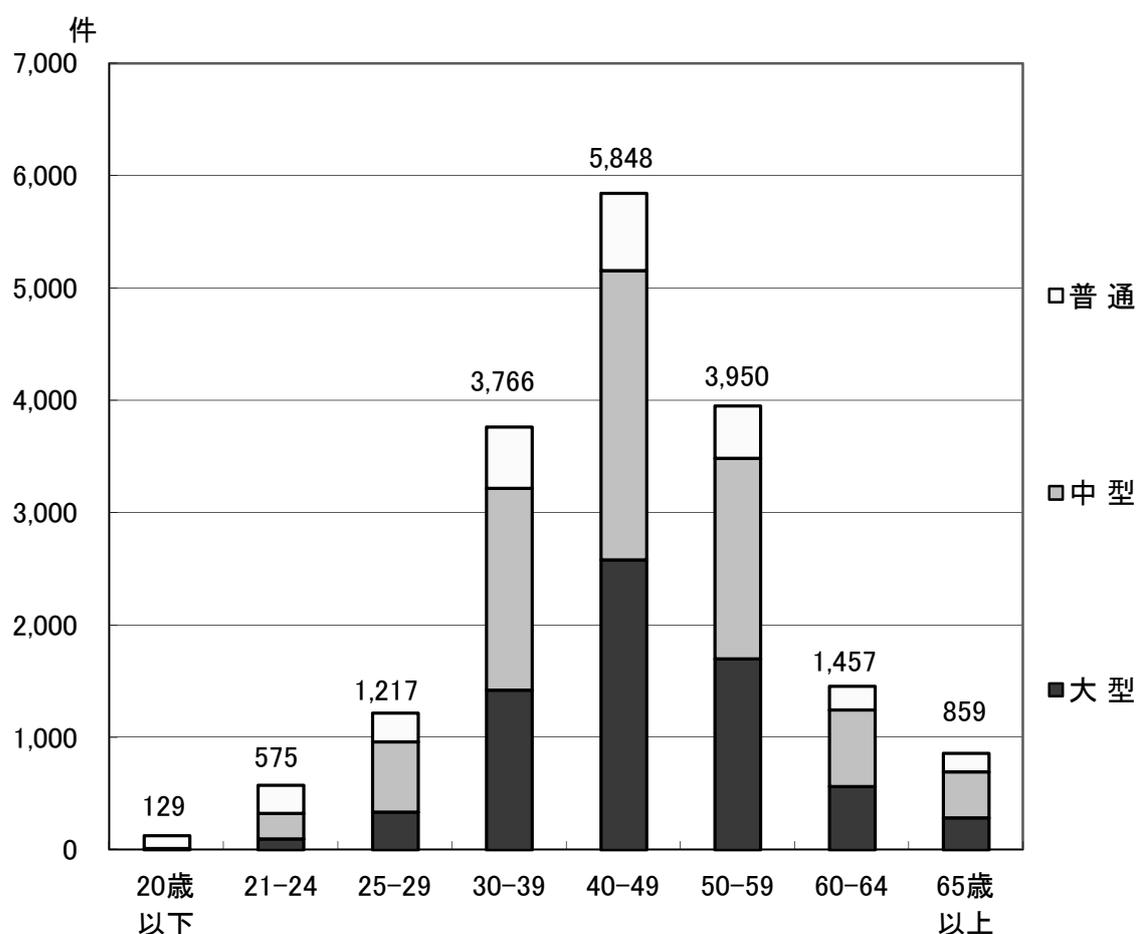
### (3) 事業用貨物自動車の運転者年齢層別車種別事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、運転者年齢層別車種別の事故件数をみると、大型、中型は30歳代から50歳代(11,868件)が多く発生し、全体の約67%を占めています。また、普通では40歳代(689件)で最も多く発生しています。

表4-3 事業用貨物自動車の運転者年齢層別車種別事故件数(平成26年)

	年齢層								合計
	20歳以下	21-24	25-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65歳以上	
大型	0	97	337	1,420	2,582	1,699	566	284	6,985
中型	15	231	626	1,802	2,577	1,788	682	409	8,130
普通	114	247	254	544	689	463	209	166	2,686
合計	129	575	1,217	3,766	5,848	3,950	1,457	859	17,801

図4-3 事業用貨物自動車の運転者年齢層別車種別事故件数(平成26年)



## 参 考

### 事業用貨物自動車の運転者年齢層別死亡事故の構成率(平成17～26年)

- ・死亡事故における運転者の年齢層の推移をみると、平成17年から平成21年までは30歳代が最も多い状況でしたが、これまで徐々に減少する傾向が続いており、一方で40歳代の構成率が年々高くなってきているため、平成22年からは40歳代の割合が最多となり、その後も40歳代の構成率が増加する傾向がみられます。
- ・50歳代は平成17年から平成26年までの10年間、ほぼ横ばいとなっています。
- ・20歳代は平成17年から10年間減少傾向が続き、平成26年ではおよそ半分程度となっています。

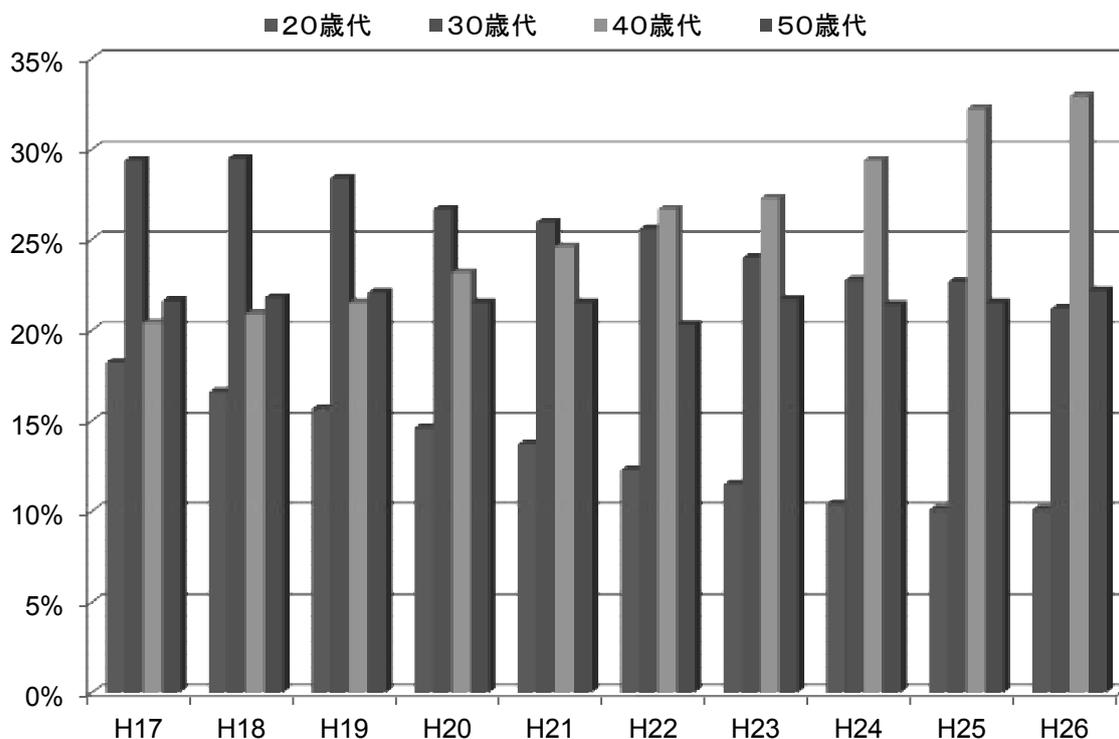
表4-4 事業用貨物自動車の運転者年齢層別死亡事故の構成率(平成17～26年)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
50歳代	21.6	21.8	22.1	21.5	21.5	20.3	21.7	21.4	21.5	22.2
40歳代	20.4	20.9	21.5	23.2	24.6	26.7	27.3	29.4	32.2	32.9
30歳代	29.4	29.5	28.4	26.7	26.0	25.6	24.0	22.8	22.7	21.2
20歳代	18.2	16.6	15.7	14.6	13.7	12.3	11.5	10.4	10.1	10.1

※1 H25以降については、軽自動車を除外しています。

※2 運転者年齢層については、構成率の高い代表的な年齢層を選出しています。

図4-4 事業用貨物自動車の運転者年齢層別死亡事故の構成率(平成17～26年)



## 5. 事業用貨物自動車の時間帯別事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、時間帯別事故件数の構成率をみると、死傷事故全体では10時から12時までの時間帯、死亡事故は早朝の4時から6時の時間帯に発生する割合が高くなっています。

また、死亡事故率(死傷事故に占める死亡事故の割合)をみると、0時から6時までの深夜から早朝にかけての時間帯における死亡事故率が5.3～6.2%と高くなっています。

表5-1 事業用貨物自動車の時間帯別事故件数の構成率(平成26年)

時間帯	事故種別	死傷事故件数 (B)	死傷事故構成率	死亡事故件数 (A)	死亡事故構成率	死亡事故率 (A/B)
00-02		554	3.1 %	31	9.4 %	5.6 %
02-04		595	3.3 %	37	11.2 %	6.2 %
04-06		893	5.0 %	47	14.2 %	5.3 %
06-08		1952	11.0 %	24	7.3 %	1.2 %
08-10		2797	15.7 %	33	10.0 %	1.2 %
10-12		2882	16.2 %	27	8.2 %	0.9 %
12-14		2303	12.9 %	28	8.5 %	1.2 %
14-16		2092	11.8 %	23	7.0 %	1.1 %
16-18		1647	9.3 %	25	7.6 %	1.5 %
18-20		955	5.4 %	15	4.5 %	1.6 %
20-22		581	3.3 %	19	5.8 %	3.3 %
22-24		550	3.1 %	21	6.4 %	3.8 %
合計		17801	100.0 %	330	100.0 %	1.9 %

図5-1 事業用貨物自動車の時間帯別事故件数の構成率(平成26年)

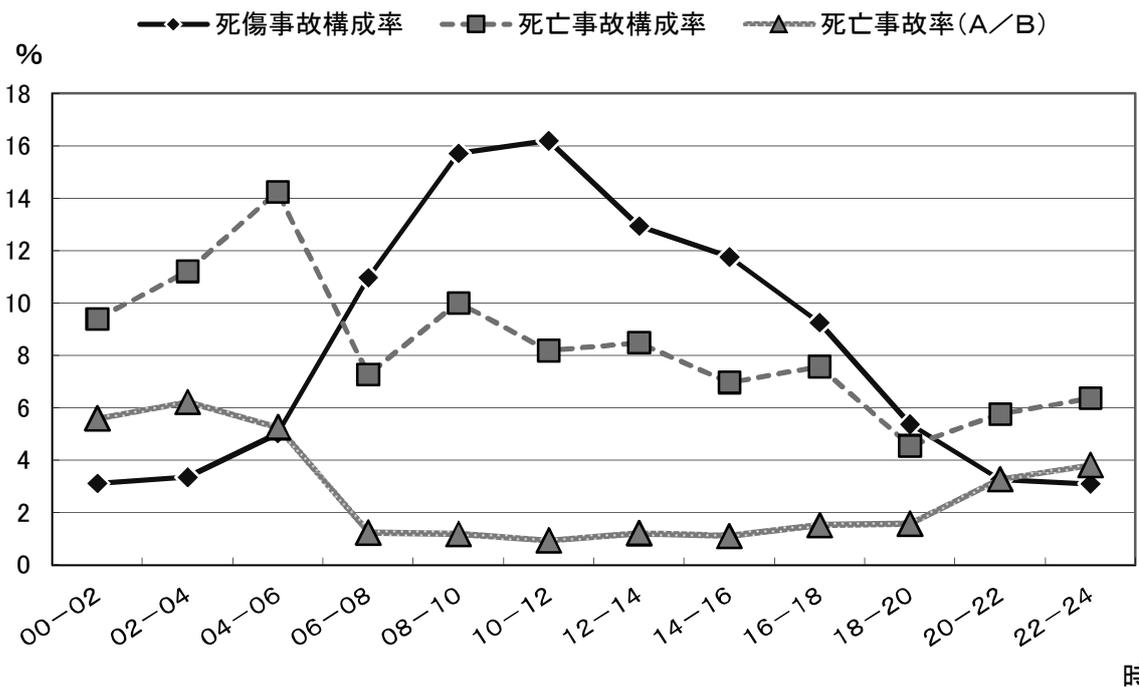


表5-2 事業用貨物自動車の時間帯別当事者別事故件数(平成26年)

時間帯	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
大型	267	276	390	744	968	1,137	905	753	651	366	250	278	6,985
中型	249	271	422	980	1,400	1,255	1,009	946	686	417	262	233	8,130
普通	38	48	81	228	429	490	389	393	310	172	69	39	2,686
合計	554	595	893	1,952	2,797	2,882	2,303	2,092	1,647	955	581	550	17,801

図5-2 事業用貨物自動車の時間帯別当事者別事故件数(平成26年)

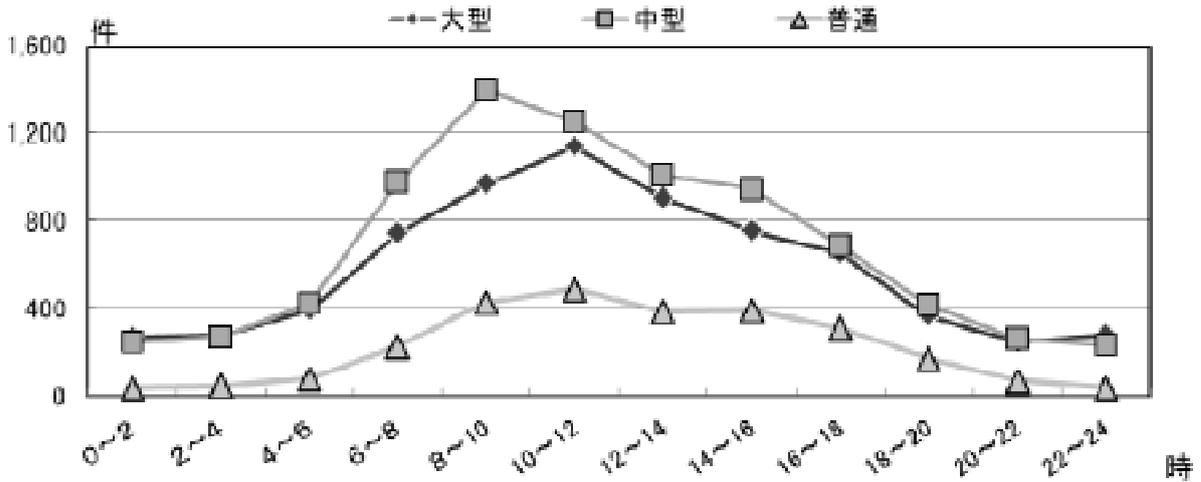
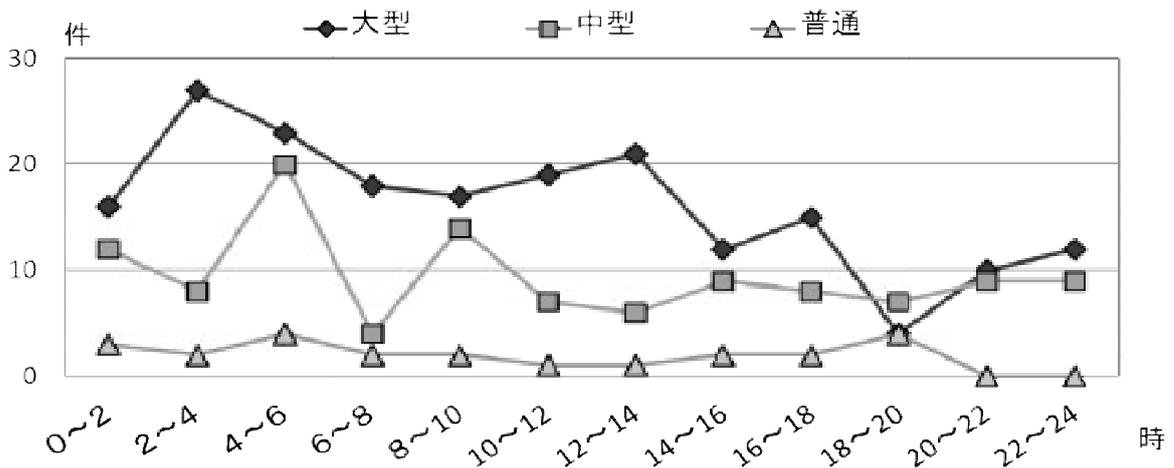


表5-3 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数(平成26年)

時間帯	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
大型	16	27	23	18	17	19	21	12	15	4	10	12	194
中型	12	8	20	4	14	7	6	9	8	7	9	9	113
普通	3	2	4	2	2	1	1	2	2	4	0	0	23
合計	31	37	47	24	33	27	28	23	25	15	19	21	330

図5-3 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故件数(平成26年)



## 参 考

### 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故の構成率(平成17～26年)

・これまで、死亡事故については、「04-06」、「02-04」、「10-12」の時間帯の割合が高い状況でしたが、近年ではやや減少する傾向がみられ、一方で「08-10」、「12-14」、「16-18」の時間帯の割合が増加する傾向がみられます。

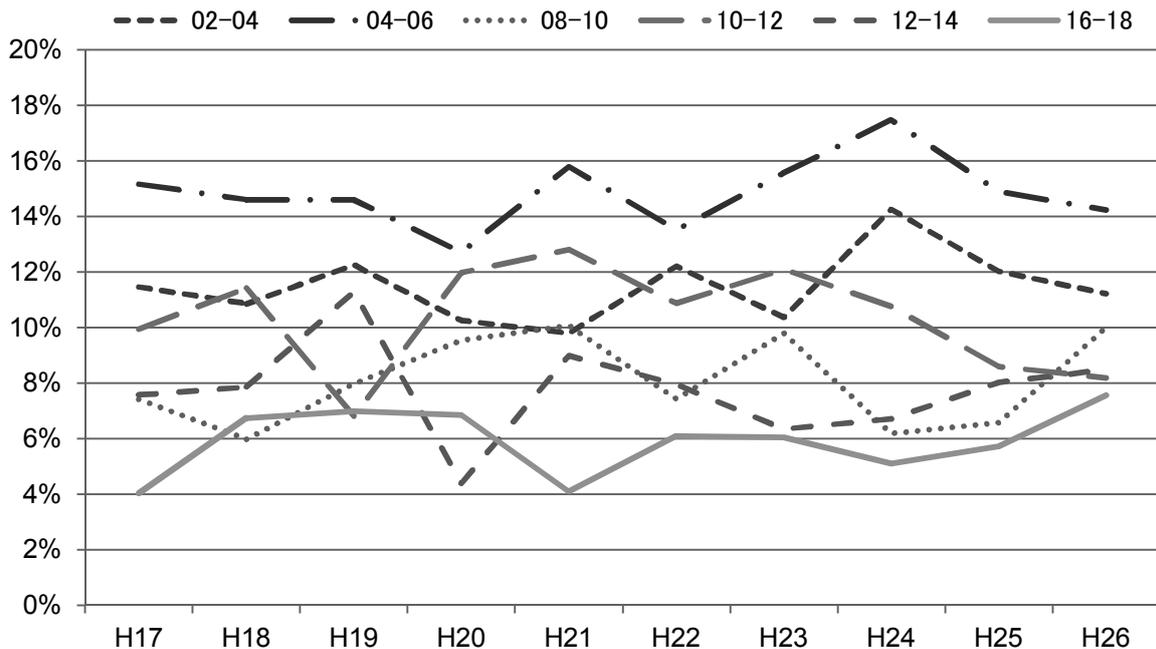
表5-4 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故の構成率(平成17～26年)

(%)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
00-02	8.6	8.2	7.4	9.5	8.7	9.5	12.1	9.1	12.0	9.4
02-04	11.5	10.9	12.3	10.3	9.8	12.2	10.4	14.2	12.0	11.2
04-06	15.2	14.6	14.6	12.7	15.8	13.5	15.6	17.5	14.9	14.2
06-08	8.6	8.8	10.1	6.8	8.4	8.0	8.4	6.2	6.0	7.3
08-10	7.4	6.0	8.0	9.5	10.1	7.4	9.8	6.2	6.6	10.0
10-12	9.9	11.4	6.8	12.0	12.8	10.9	12.1	10.8	8.6	8.2
12-14	7.6	7.9	11.3	4.4	9.0	8.0	6.3	6.7	8.0	8.5
14-16	6.7	6.9	6.4	8.3	6.0	7.4	7.5	7.0	6.3	7.0
16-18	4.0	6.7	7.0	6.8	4.1	6.1	6.1	5.1	5.7	7.6
18-20	7.1	6.4	5.3	6.4	3.3	2.4	2.3	5.4	5.4	4.5
20-22	5.7	4.9	4.3	6.8	4.4	5.3	4.6	4.6	6.0	5.8
22-24	7.6	7.3	6.6	6.4	7.6	9.3	4.9	7.3	8.3	6.4

※H25以降については、軽自動車を除外しています。

図5-4 事業用貨物自動車の時間帯別死亡事故の構成率(平成17～26年)



※減少又は増加の傾向がみられる時間帯のみを代表的にグラフに示しています。

## 6. 事業用貨物自動車の危険認知速度別事故の状況

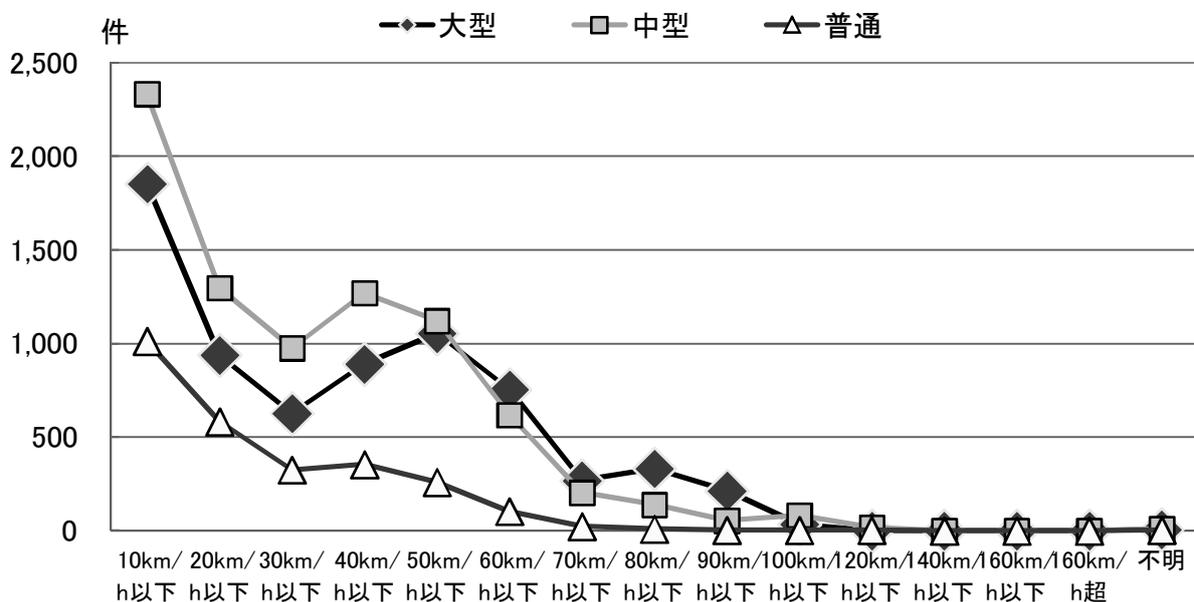
### (1) 事業用貨物自動車の危険認知速度別事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、危険認知速度別の事故件数をみると、全体では10km/h以下が5,204件で最も多く、次いで20km/h以下が2,820件となっています。一方、大型、中型では40km/h以下～50km/h以下でも多く発生しています。

表6-1 事業用貨物自動車の危険認知速度別事故件数(平成26年)

	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	1,855	939	628	891	1,055	756	269	333	214	36	1	0	0	1	7	6,985
中型	2,335	1,298	977	1,271	1,122	619	204	139	55	83	17	0	0	0	10	8,130
普通	1,014	583	326	354	260	104	23	9	3	3	4	0	0	0	3	2,686
計	5,204	2,820	1,931	2,516	2,437	1,479	496	481	272	122	22	0	0	1	20	17,801

図6-1 事業用貨物自動車の危険認知速度別事故件数(平成26年)



## (2) 事業用貨物自動車の危険認知速度別死亡事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、危険認知速度別の死亡事故件数をみると、60km/h以下が60件で最も多くなっています。また、死亡事故率をみると危険認知速度が高くなるにつれて死亡事故率が高くなっており、100km/h超では全体平均の約10倍となっています。

表6-2 事業用貨物自動車の危険認知速度別死亡事故件数(平成26年)

	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	120km/h以下	140km/h以下	160km/h以下	160km/h超	不明	合計
大型	25	44	6	9	20	24	15	29	17	3	0	0	0	0	2	194
中型	12	12	3	8	15	34	10	8	4	3	3	0	0	0	1	113
普通	3	2	2	7	5	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	23
計	40	58	11	24	40	60	26	37	21	6	4	0	0	0	3	330

図6-2 事業用貨物自動車の危険認知速度別死亡事故件数(平成26年)

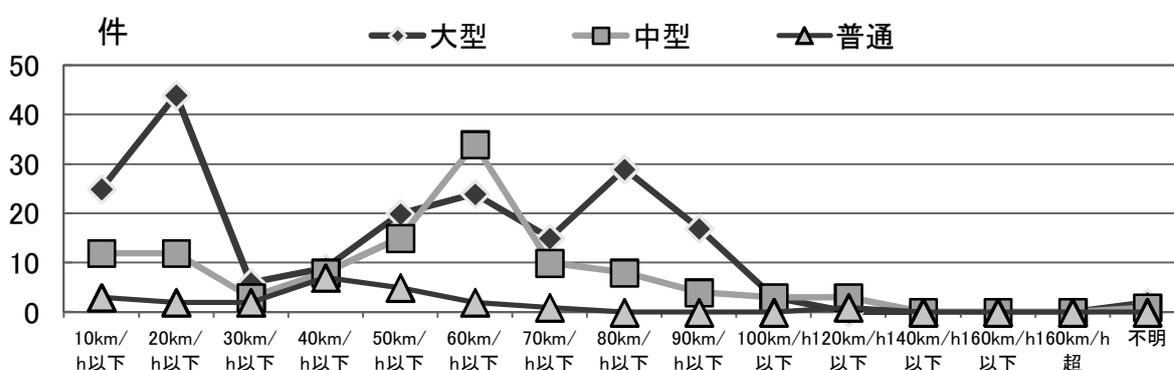
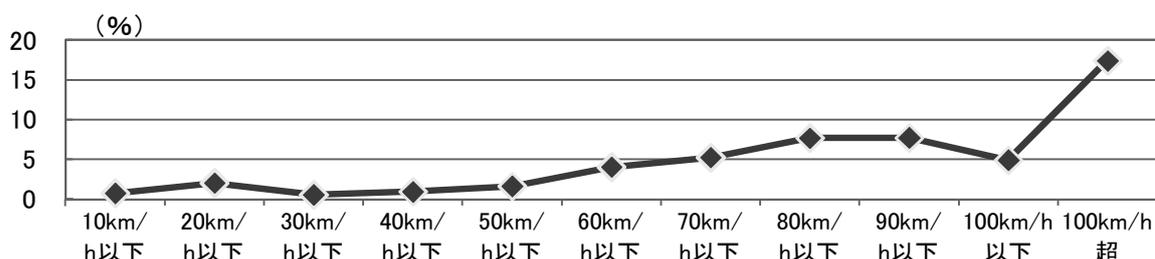


表6-3 事業用貨物自動車の危険認知速度別死亡事故率(平成26年)

	10km/h以下	20km/h以下	30km/h以下	40km/h以下	50km/h以下	60km/h以下	70km/h以下	80km/h以下	90km/h以下	100km/h以下	100km/h超	不明	合計
事故件数	5,204	2,820	1,931	2,516	2,437	1,479	496	481	272	122	23	20	17,801
死亡事故件数	40	58	11	24	40	60	26	37	21	6	4	3	330
死亡事故率	0.77	2.06	0.57	0.95	1.64	4.06	5.24	7.69	7.72	4.92	17.39	15.00	1.85

\* 死亡事故率=死亡事故件数÷事故件数×100

図6-3 事業用貨物自動車の危険認知速度別死亡事故率(平成26年)



## 7. 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突事故の状況

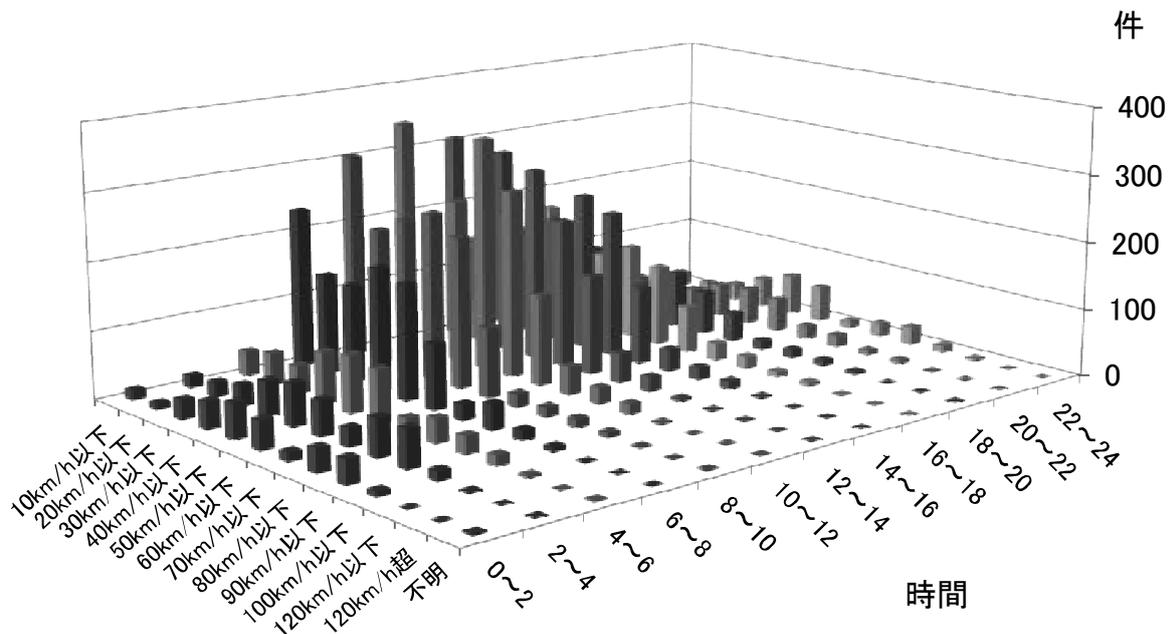
### (1) 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、時間帯別危険認知速度別の追突事故件数をみると、10時から12時が1,576件で最も多く、次いで8時から10時が1,362件、12時から14時が1,358件となっています。また、危険認知速度別にみると、10時から12時の時間帯で10km/h以下が369件と最も多く、次いで40km/h以下282件、50km/h以下279件となっています。合計では10km/h以下1,841件、40km/h以下1,677件、50km/h以下1,637件の順となっています。

表7-1 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突事故件数(平成26年)

危険認知速度	時間帯												合計
	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	
10km/h以下	18	17	38	244	322	369	262	248	187	80	28	28	1,841
20km/h以下	9	21	28	142	193	190	193	142	97	54	30	16	1,115
30km/h以下	17	33	43	153	192	203	170	174	104	59	24	16	1,188
40km/h以下	40	34	60	179	262	282	248	226	149	99	56	42	1,677
50km/h以下	47	57	78	158	225	279	267	204	124	90	54	54	1,637
60km/h以下	45	57	68	78	112	160	141	80	80	37	40	50	948
70km/h以下	20	19	22	29	27	45	43	22	21	16	16	17	297
80km/h以下	38	34	37	24	19	31	22	17	29	7	10	33	301
90km/h以下	21	40	35	10	5	8	6	13	2	8	8	17	173
100km/h以下	12	16	20	2	4	7	5	4	3	2	8	8	91
120km/h以下	2	2	2	3	0	2	0	2	1	0	0	3	17
120km/h超	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不明	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	6
合計	270	331	432	1,022	1,362	1,576	1,358	1,133	797	452	274	285	9,292

図7-1 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突事故件数(平成26年)



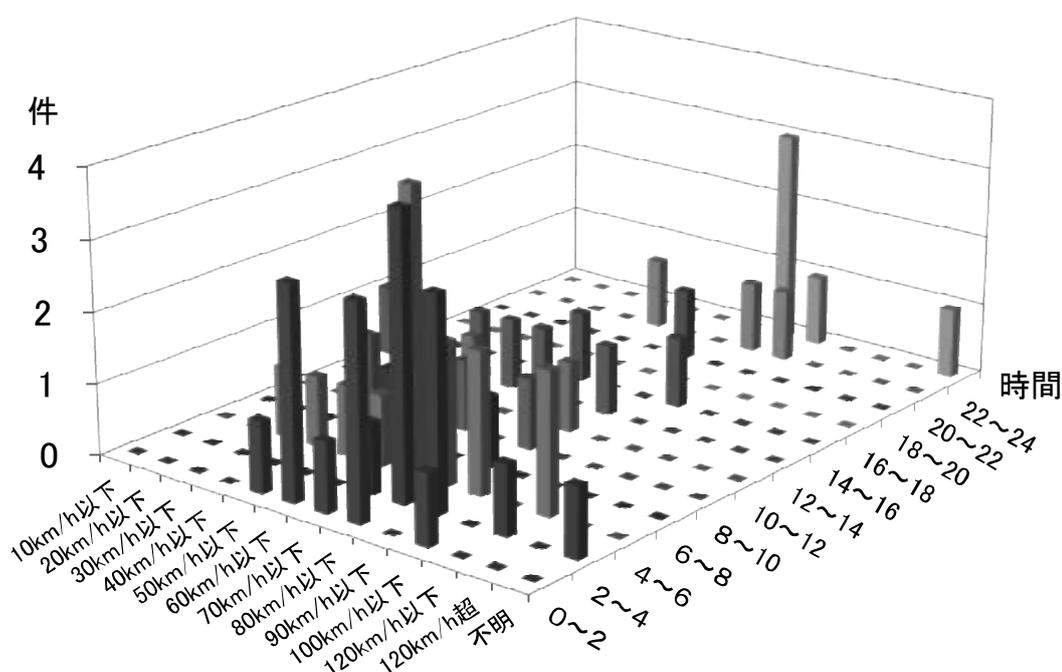
(2) 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突死亡事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、時間帯別危険認知速度別の追突死亡事故件数をみると、40km/h超の速度域が計50件と86%を占めており、高速速度域での事故が死亡事故に至っていることが判ります。また、時間帯別にみると、午前0時から午前6時までの時間帯に多く発生し、計33件(57%)となっています。

表7-2 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突死亡事故件数(平成26年)

危険認知速度	時 間 帯												合計
	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
10km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
20km/h以下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
30km/h以下	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
40km/h以下	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
50km/h以下	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	6
60km/h以下	3	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	8
70km/h以下	1	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7
80km/h以下	3	4	2	1	1	1	1	0	0	0	1	3	17
90km/h以下	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	8
100km/h以下	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120km/h以下	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	9	10	14	3	3	2	6	2	0	1	3	5	58

図7-2 事業用貨物自動車の時間帯別危険認知速度別追突死亡事故件数(平成26年)



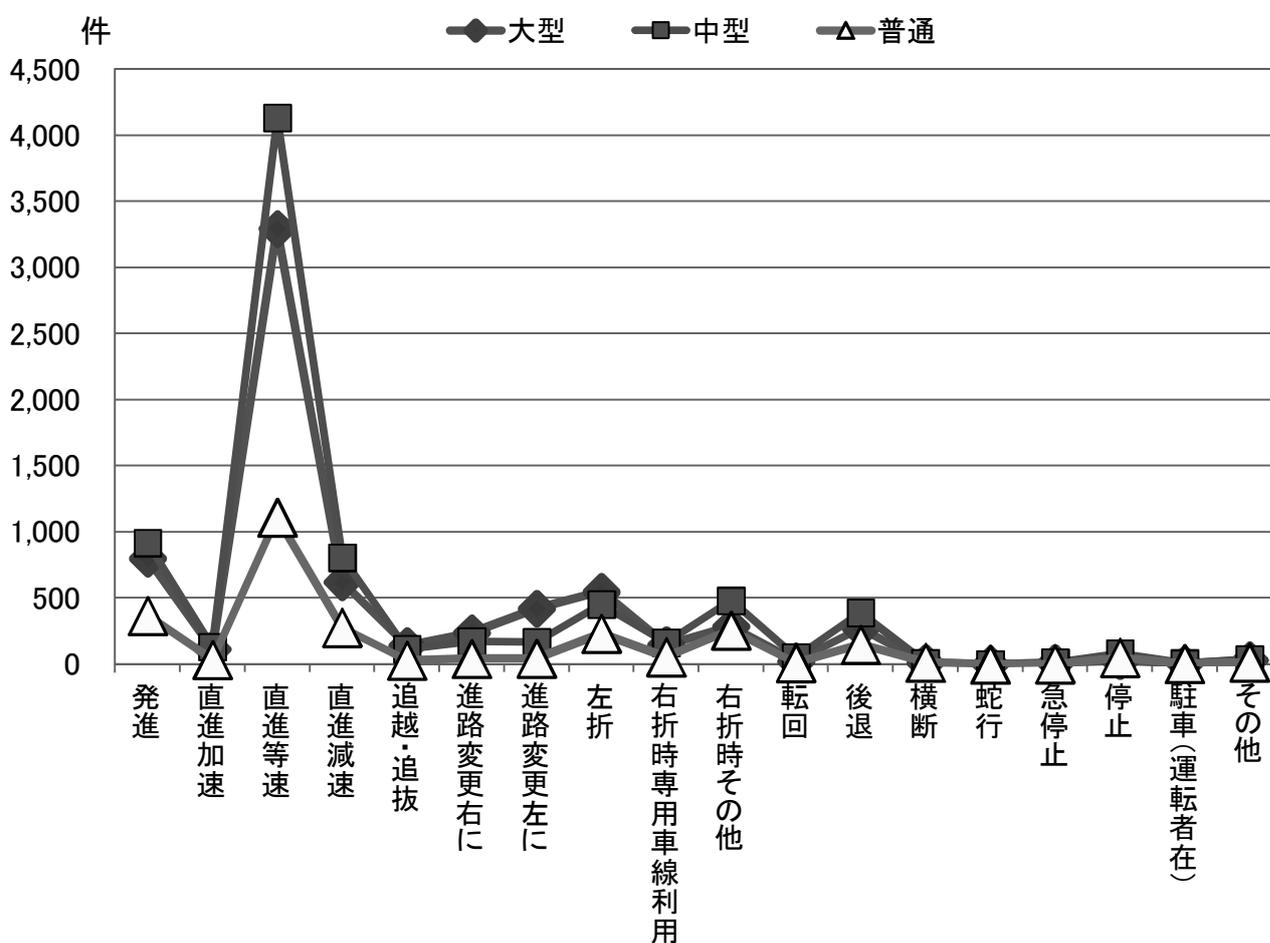
## 8. 事業用貨物自動車の行動類型別事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、行動類型別の事故件数をみると、全体で直進中(等速、減速、加速)が10,523件(約59%)であり、その内、直進等速が8,537件と約81%を占めています。次いで、発進中が2,086件、直進減速が1,705件の順に多くなっています。

表8 事業用貨物自動車の行動類型別事故件数(平成26年)

	発進	直進加速	直進等速	直進減速	追越・追抜	進路変更右に	進路変更左に	左折	右折時専用車線利用	右折時その他	転回	後退	横断	蛇行	急停止	停止	駐車(運転者在)	その他	計
大型	801	115	3,294	621	139	237	422	548	146	285	22	272	11	1	11	25	3	32	6,985
中型	918	132	4,132	807	115	173	167	452	164	480	51	389	11	1	13	80	7	38	8,130
普通	367	34	1,111	277	29	41	44	231	54	256	11	148	12	0	2	50	4	15	2,686
計	2,086	281	8,537	1,705	283	451	633	1,231	364	1,021	84	809	34	2	26	155	14	85	17,801

図8 事業用貨物自動車の行動類型別事故件数(平成26年)



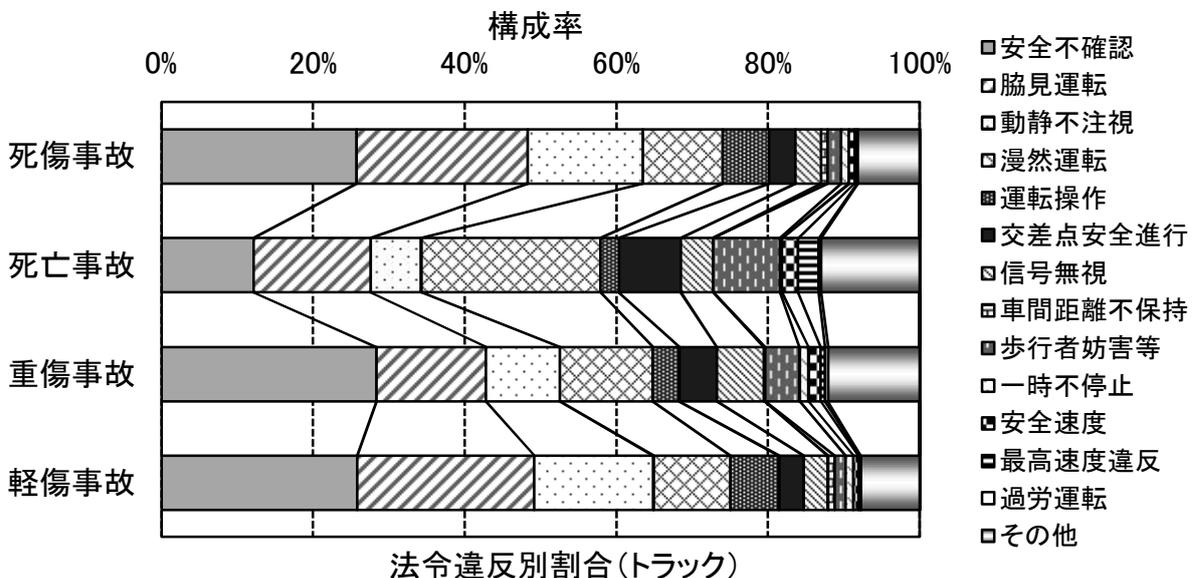
## 9. 事業用貨物自動車の法令違反別事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、法令違反(事故の結果に最も影響を与えている違反であって、無免許運転、無資格運転及び酒気帯び運転以外の違反)別の構成率をみると、全体では安全不確認が25.7%、次いで脇見運転が22.6%、動静不注視が15.1%の順となっています。一方、死亡事故では漫然運転23.6%、脇見運転15.5%、安全不確認12.1%の順に構成率が高くなっています。

表9-1 事業用貨物自動車の法令違反別事故件数(平成26年)

違反項目	合計		死亡事故件数		重傷事故件数		軽傷事故件数	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
信号無視	605	3.4%	14	4.2%	78	6.2%	513	3.2%
通行区分違反	70	0.4%	4	1.2%	9	0.7%	57	0.4%
最高速度違反	60	0.3%	9	2.7%	7	0.6%	44	0.3%
横断・転回等違反	83	0.5%	1	0.3%	4	0.3%	78	0.5%
車間距離不保持	144	0.8%	0	0.0%	2	0.2%	142	0.9%
追越し禁止違反	127	0.7%	0	0.0%	26	2.1%	101	0.6%
踏切不停止	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
右折違反	43	0.2%	1	0.3%	5	0.4%	37	0.2%
左折違反	101	0.6%	2	0.6%	6	0.5%	93	0.6%
優先通行妨害	158	0.9%	7	2.1%	26	2.1%	125	0.8%
交差点安全進行違反	623	3.5%	27	8.2%	62	4.9%	534	3.3%
歩行者妨害等	322	1.8%	29	8.8%	57	4.5%	236	1.5%
徐行違反	63	0.4%	1	0.3%	9	0.7%	53	0.3%
一時不停止	183	1.0%	1	0.3%	15	1.2%	167	1.0%
整備不良	10	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	9	0.1%
酒酔い運転	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
過労・薬物運転等	3	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	2	0.0%
安全運転義務違反	14	0.1%	1	0.3%	5	0.4%	8	0.0%
安全運転義務違反	1,090	6.1%	8	2.4%	44	3.5%	1,038	6.4%
安全運転義務違反	1,876	10.5%	78	23.6%	153	12.2%	1,645	10.1%
安全運転義務違反	4,022	22.6%	51	15.5%	181	14.4%	3,790	23.4%
安全運転義務違反	2,695	15.1%	22	6.7%	123	9.8%	2,550	15.7%
安全運転義務違反	4,576	25.7%	40	12.1%	355	28.3%	4,181	25.8%
安全運転義務違反	133	0.7%	7	2.1%	20	1.6%	106	0.7%
安全運転義務違反	269	1.5%	5	1.5%	20	1.6%	244	1.5%
安全運転義務違反	510	2.9%	17	5.2%	44	3.5%	449	2.8%
不明	19	0.1%	4	1.2%	2	0.2%	13	0.1%
合計	17,801	100.0%	330	100.0%	1,254	100.0%	16,217	100.0%

図9-1 事業用貨物自動車の法令違反別事故の構成率(平成26年)



## 主な用語の意味

用 語	意 味
運 転 操 作 不 適	危険又は危険のおそれのある状態を認識し、ハンドル操作、ブレーキ操作などの措置をとったが事故を発生させた場合等をいいます。
漫 然 運 転	脇見運転ではないが、運転中に“運転以外のことを考えていた”、“ぼんやりしていた”、“ラジオ放送に聞き入っていた”等のために注意の的がはずれ、相手当事者を発見できず、又は発見が遅れて事故を発生させた場合等をいいます。
動 静 不 注 視	相手当事者を発見(認識)したが、危険でないと思って注視を怠り、又は相手が譲ってくれる(避けてくれる)ものと思い込んで注視を怠り事故を発生させた場合等をいいます。

## 参 考

### 事業用貨物自動車の法令違反別死亡事故の構成率(平成17～26年)

- ・法令違反の上位3項目を比較してみると、平成17年から平成21年までは大きな変化が無く、同程度で推移しています。
- ・平成21年に漫然運転が1位、脇見運転が2位、安全不確認が3位となつてからは平成26年まで順位の変動がなく、更に漫然運転については年々増加する傾向がみられます。

表9-2 事業用貨物自動車の法令違反別死亡事故の構成率(平成17～26年)

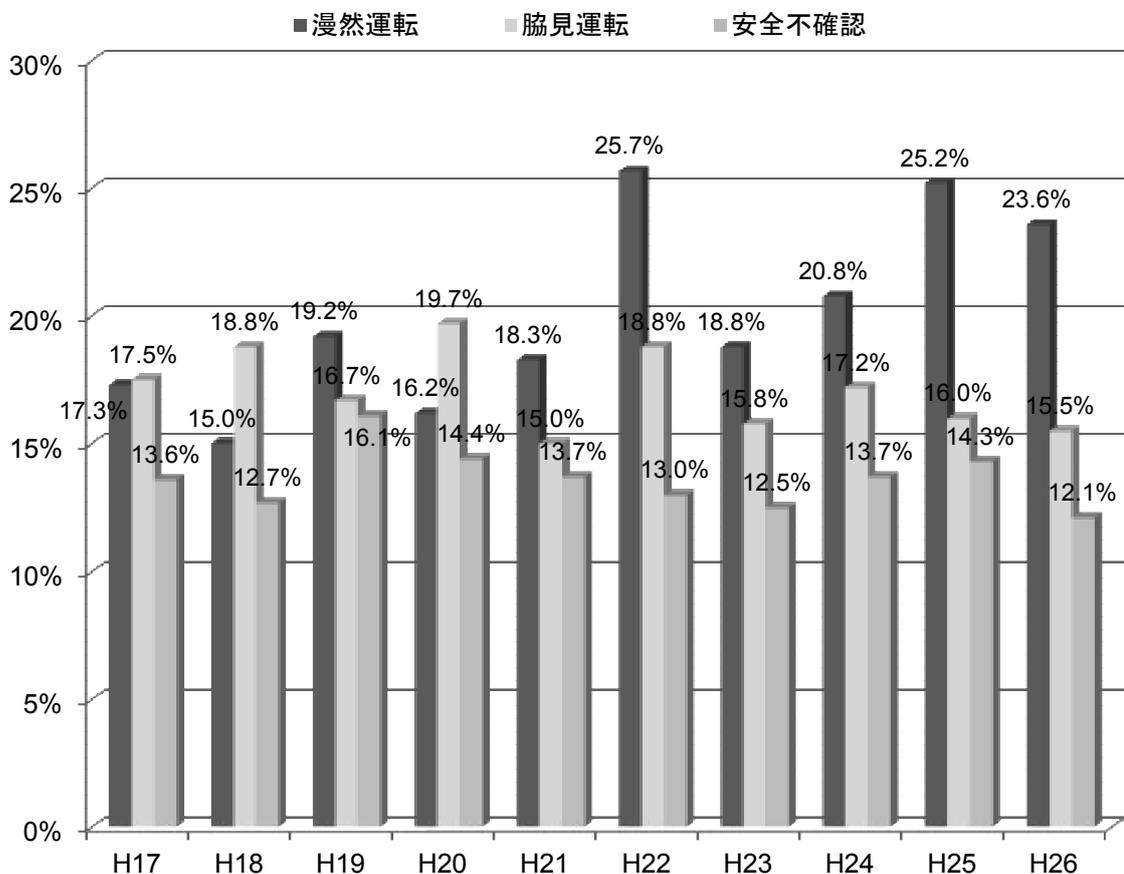
(%)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
漫然運転	17.3	15.0	19.2	16.2	18.3	25.7	18.8	20.8	25.2	23.6
脇見運転	17.5	18.8	16.7	19.7	15.0	18.8	15.8	17.2	16.0	15.5
安全不確認	13.6	12.7	16.1	14.4	13.7	13.0	12.5	13.7	14.3	12.1

※ H25以降については、軽自動車を除外しています。

※ 法令違反の中で、特に構成率の高い項目のみを選出しています。

図9-2 事業用貨物自動車の法令違反別死亡事故の構成率(平成17～26年)



## 10. 事業用貨物自動車の飲酒運転による事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、飲酒運転による事故件数の構成率をみると、基準値以下を含めて、飲酒が確認された件数は30件あり、図10-2のとおり平成17年からの推移は、年々減少傾向にあります。しかしながら、図10-1のとおり「酒酔い」及び「酒気帯び-0.25以上」が60%を占めています。また、飲酒の有無で死亡事故の構成率を比較すると、飲酒なしでは1.8%なのに対して、飲酒運転では16.7%になり、死亡事故となる確率が高くなっています。

表10 事業用貨物自動車の飲酒運転事故件数及び構成率(平成26年)

	酒酔い	酒気帯び -0.25以上	酒気帯び -0.25未満	基準 以下	検知 不能	合計	構成率	(参考)	
								飲酒なし 件数	構成率
死亡	0	3	0	2	0	5	16.7%	325	1.8%
重傷	0	2	1	0	0	3	10.0%	1,251	7.0%
軽傷	3	10	2	6	1	22	73.3%	16,195	91.1%
合計	3	15	3	8	1	30	100%	17,771	100%
構成率	10.0%	50.0%	10.0%	26.7%	3.3%	100.0%			

図10-1 事業用貨物自動車の飲酒運転事故件数(平成26年)

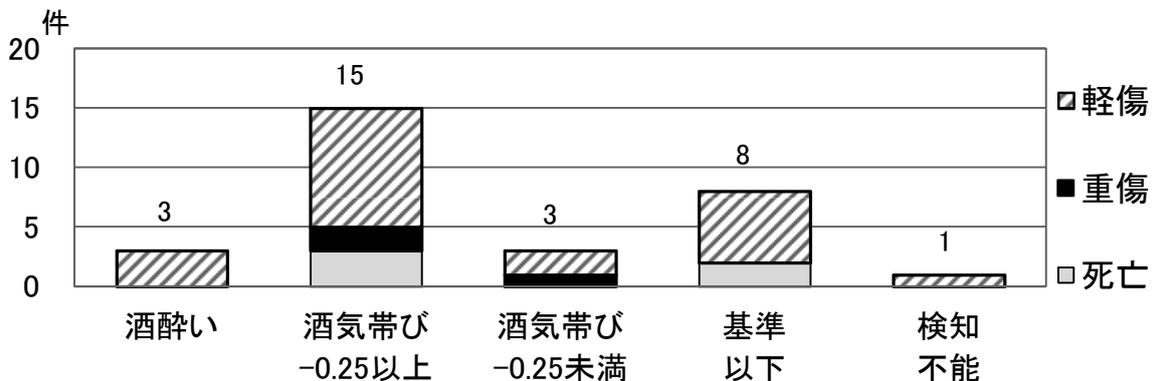
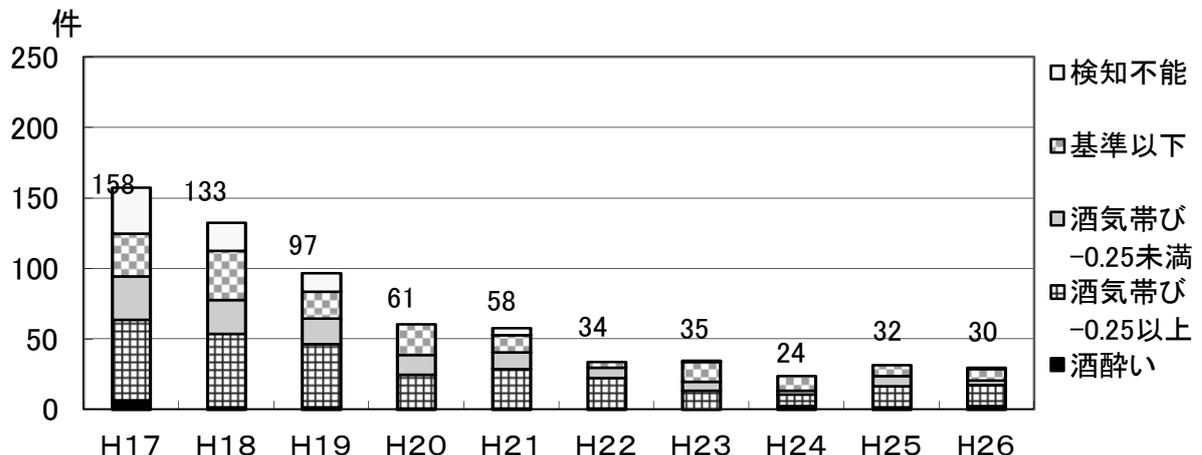


図10-2 事業用貨物自動車の飲酒運転事故件数の推移



## 11. 事業用貨物自動車の整備不良事故の状況

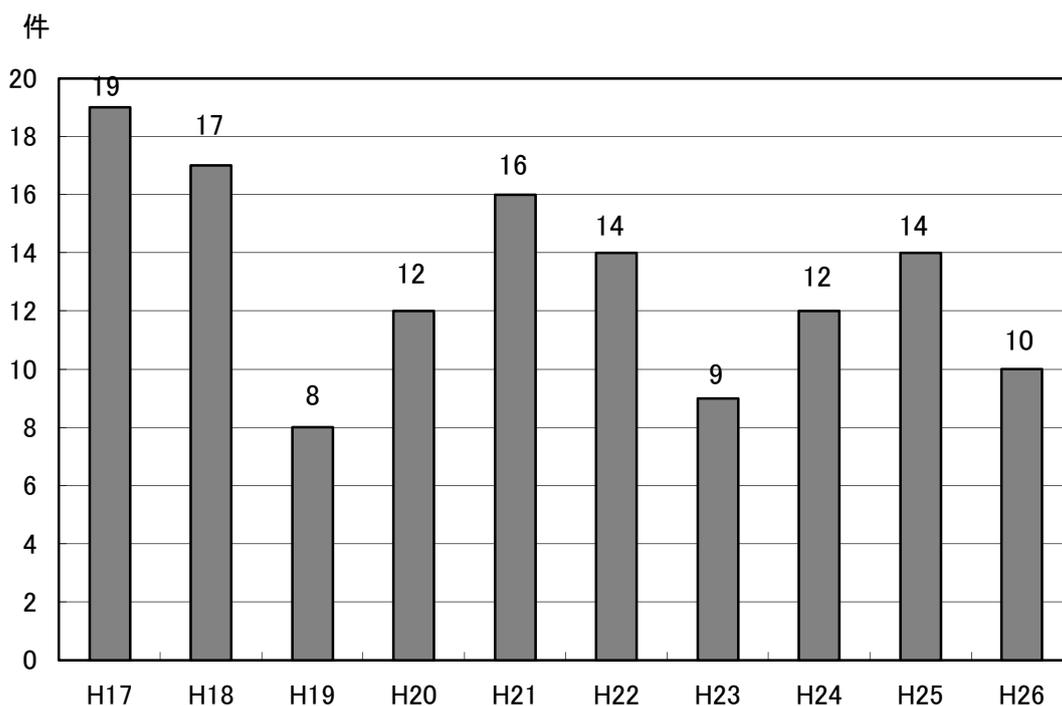
平成26年中の事業用トラックの交通事故について、整備不良の事故件数をみると、10件となっており、昨年よりも減少しています。事故件数を車種別にみると大型車が多数を占めています。

表11 事業貨物自動車の整備不良事故件数の推移

	大型	中型	普通	合計
H17	14	5		19
H18	14	3		17
H19	6	2	0	8
H20	9	2	1	12
H21	11	3	2	16
H22	12	2	0	14
H23	5	4	0	9
H24	11	1	0	12
H25	11	2	1	14
H26	9	1	0	10

※ 整備不良とは、当該事故の発生に最も影響を与えた道路交通法上の法令違反が「整備不良」であったものをいう。

図11 事業貨物自動車の整備不良事故件数の推移



## 12. 事業用貨物自動車の車両的事故要因別事故の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、車両的事故要因別の事故件数をみると、整備不良では、タイヤ不良(パンク、摩耗、空気圧調整不良等)が14件で小計の約45%を占め、次いで、制動装置不良11件、車輪不良(脱輪、締め付け不良)3件の順となっています。

また、状態的不良では、荷ぐずれが33件で小計の約66%を占め、次いで積み荷等の車外はみ出し14件の順となっています。

表12 事業用貨物自動車の車両的事故要因別事故件数(平成26年)

車両的要因		大型	中型	普通	計	
整備不良	制動装置不良	6	4	1	11	
	かじ取り装置不良	0	0	1	1	
	タイヤ不良	7	5	2	14	
	車輪不良	2	0	1	3	
	灯火不良	0	0	0	0	
	エンジン故障	0	0	0	0	
	変速機不良・故障	0	0	0	0	
	燃料・潤滑装置不良	0	0	0	0	
	フロントガラス等不良	0	0	0	0	
	ミラー調整不良、破損、欠落	0	0	0	0	
	不良改造(オーバーフェンダ等)	0	0	0	0	
	その他車両等の構造・装置等の整備不良	2	0	0	2	
小計		17	9	5	31	
状態的不良	車内の状態	着色フィルムが視界に影響した	1	0	0	1
		ワイパーを作動させなかった、フロントガラスを拭かなかったなどのため相手の発見が遅れた	0	0	0	0
		車室内の飾り物が視界に影響した	1	0	0	1
		車室内の同乗者が視界、操作に影響した	0	0	0	0
		車室内の荷物が視界、操作に影響した	1	0	0	1
		計	3	0	0	3
	積荷の状態	過積載が制動距離に影響した	0	0	0	0
		過積載が車両の安全性に影響した	0	0	0	0
		荷ぐずれ	22	6	5	33
		積み荷等の車外はみ出し	8	5	1	14
		積み荷等が自車の灯火を妨害した	0	0	0	0
		計	30	11	6	47
	灯火の状態	前照灯不点火	0	0	0	0
		駐車灯不点火(尾灯、非常点滅を含む)	0	0	0	0
		自車前照灯の上下向きが視界に影響	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
	小計		33	11	6	50
	その他の車両的要因		9	6	1	16
	車両的要因計		59	26	12	97

※ 車両的要因とは、車両の構造、装置の不良及び車両の状態的な不良が事故の発生の要因と考えられる場合をいい、車両の不良状態が人的要因を誘発した場合を含む。

### 13. 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別事故の状況

#### (1) 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別事故件数等

平成26年中の事業用トラックの交通事故について、事故車種の運転免許経過年数別による事故件数をみると、10年以上が15,029件であり、約84%を占めています。

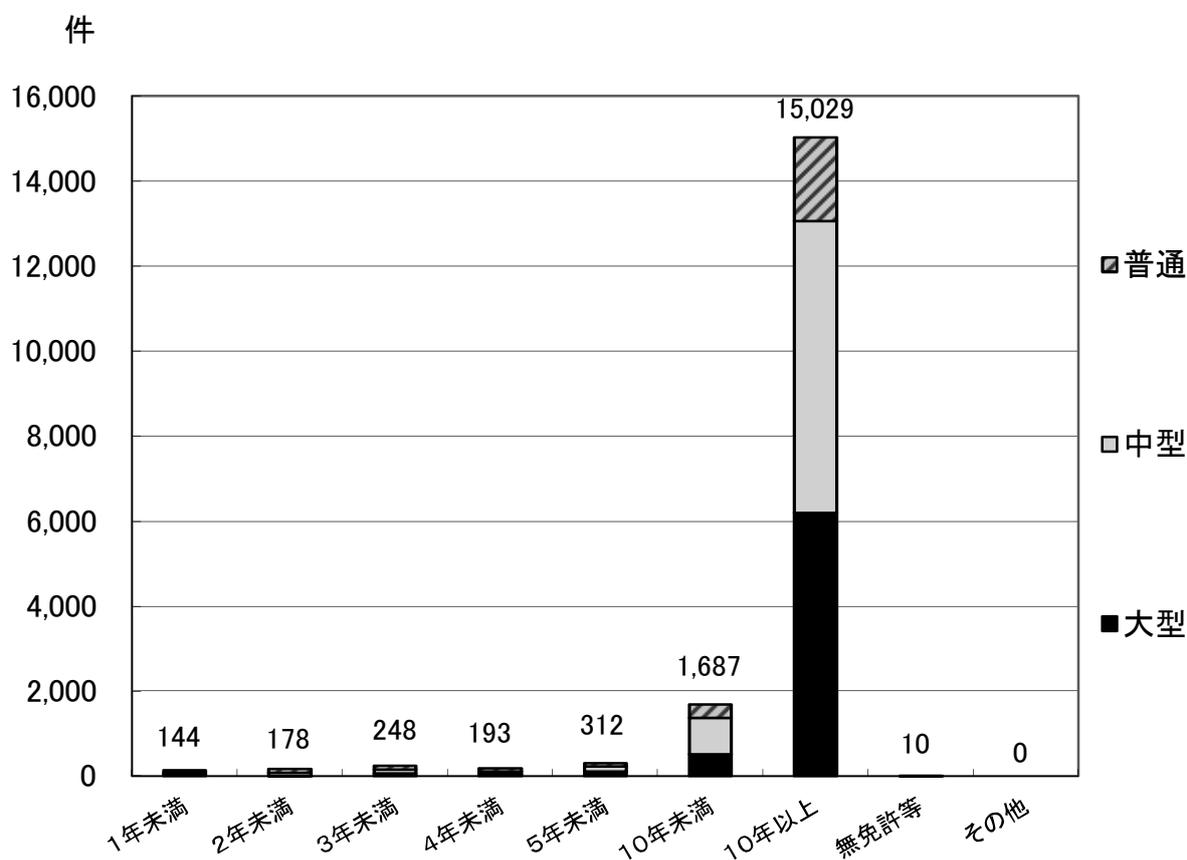
種別ごとにみると、大型の10年以上が約89%、中型の10年以上が約84%、普通の10年以上が約73%となっています。

表13-1 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別事故件数(平成26年)

	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	10年未満	10年以上	無免許等	その他	合計
大型	29	25	61	52	109	510	6,197	2	0	6,985
中型	46	58	97	63	129	869	6,863	5	0	8,130
普通	69	95	90	78	74	308	1,969	3	0	2,686
計	144	178	248	193	312	1,687	15,029	10	0	17,801

※ 運転免許経過年数とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。

図13-1 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別事故件数(平成26年)



(2) 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別運転者年齢層別事故件数

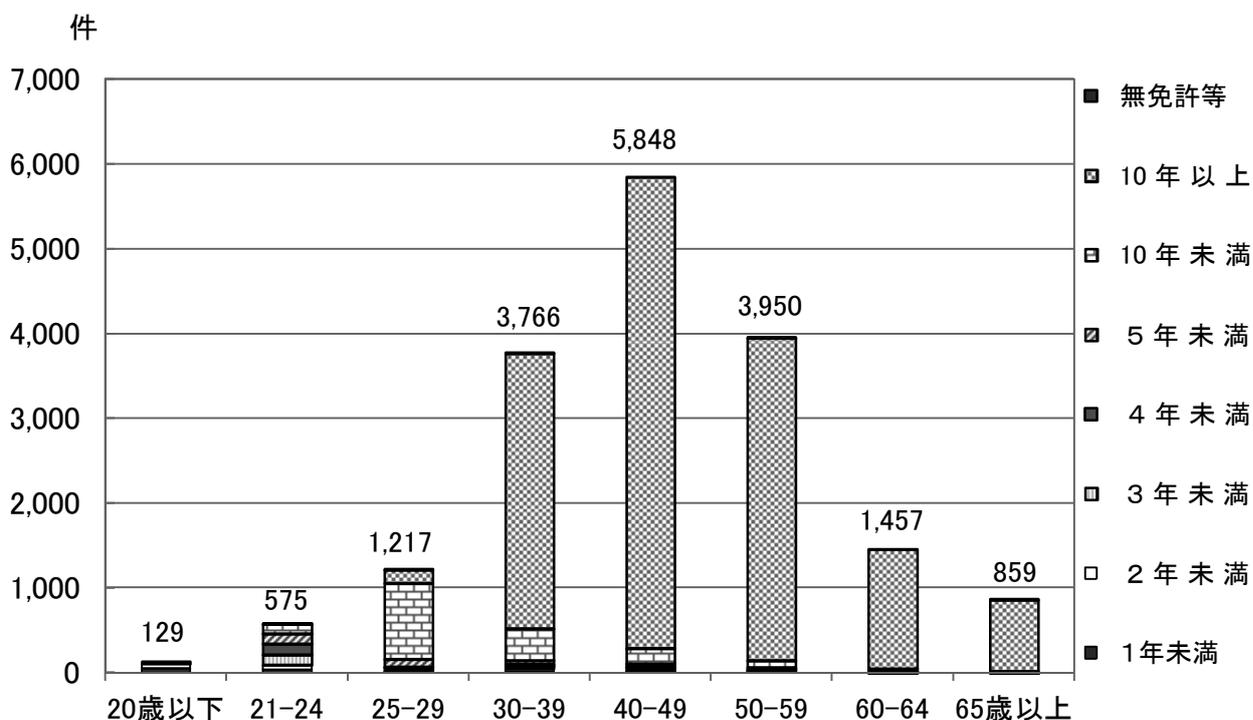
平成26年中の事業用トラックの交通事故について、事故車種の運転免許経過年数別運転者年齢層別による事故件数をみると、30歳代から50歳代の免許経過年10年以上で多く発生しており、全体の約71%を占めています。

表13-2 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別運転者年齢層別事故件数  
(平成26年)

運転免許経過年	年齢層								合計
	20歳以下	21-24	25-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65歳以上	
1年未満	50	35	9	18	14	15	2	1	144
2年未満	58	54	15	26	12	11	1	1	178
3年未満	21	122	34	31	31	5	3	1	248
4年未満	0	128	12	27	14	10	1	1	193
5年未満	0	119	91	43	34	16	7	2	312
10年未満	0	115	892	375	179	84	30	12	1,687
10年以上	0	0	161	3,243	5,564	3,808	1,413	840	15,029
無免許等	0	2	3	3	0	1	0	1	10
合計	129	575	1,217	3,766	5,848	3,950	1,457	859	17,801

※ 運転免許経過年数とは、当該運転免許を取得してからの経過年数をいう。  
無免許等とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

図13-2 事業用貨物自動車の事故車種の運転免許経過年数別運転者年齢層別事故件数  
(平成26年)



## 14. 事業用貨物自動車の運転資格別事故の状況

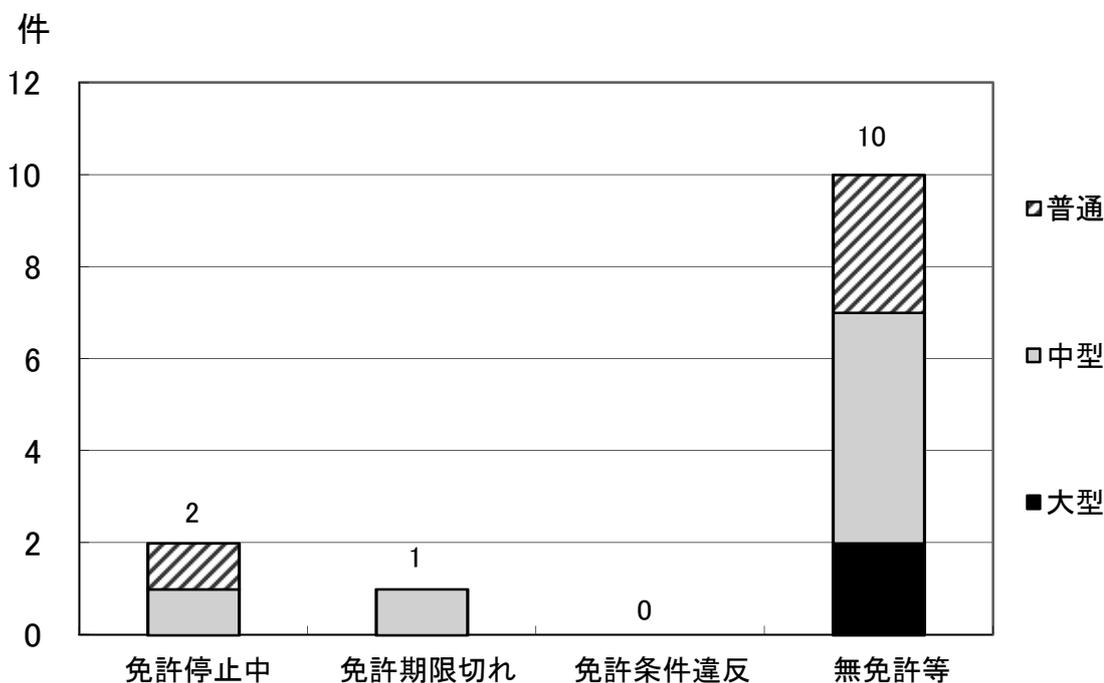
平成26年中の事業用トラックの交通事故について、運転資格別の事故件数をみると、無免許等が10件、停止中が2件、期限切れが1件の順となっています。

表14 事業用貨物自動車の運転資格別事故件数(平成26年)

	有資格	免許停止中	免許期限切れ	免許条件違反	無免許等	対象外当事者		不明	合計
						有り	無し		
大型	6,983	0	0	0	2	0	0	0	6,985
中型	8,123	1	1	0	5	0	0	0	8,130
普通	2,682	1	0	0	3	0	0	0	2,686
合計	17,788	2	1	0	10	0	0	0	17,801

※ 無免許等とは無資格運転、免許外、無免許をいう。

図14 事業用貨物自動車の運転資格別事故件数(平成26年)



## 15. 事業用貨物自動車のシートベルト着用有無別運転者(第1当事者)の状況

平成26年中の事業用トラックの交通事故における運転者(第1当事者)の、シートベルト着用人数をみると、17,550人と全体の約99%を占めています。

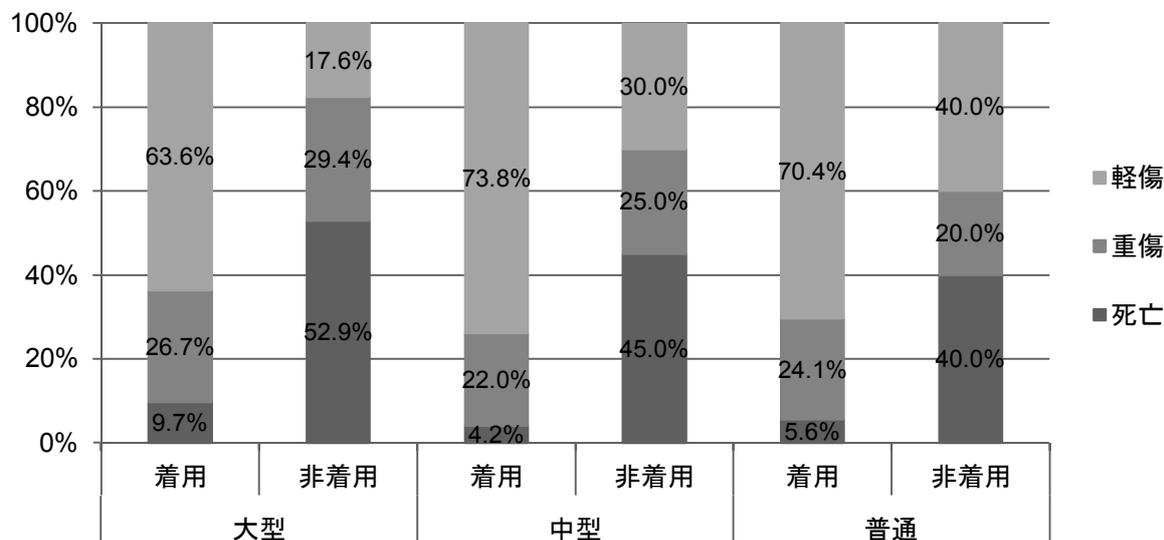
なお、シートベルト着用の場合、死傷者のうち死亡・重傷者の構成率が約31%であるのに対して、非着用の場合は約74%とかなり割合が高くなっています。

また、死亡の構成率をみても、シートベルト着用の場合は約7%であるのに対して、非着用の場合は約48%とかなり割合が高くなっています。

表15-1 事業用貨物自動車のシートベルト着用有無別運転者(第1当事者)死傷者数  
(平成26年)

		大型	中型	普通	計	構成率
着用	死亡	17	7	3	27	6.8%
	重傷	47	37	13	97	24.4%
	軽傷	112	124	38	274	68.8%
	小計	176	168	54	398	100%
	損傷なし	6,719	7,849	2,584	17,152	
	計	6,895	8,017	2,638	17,550	
非着用	死亡	9	9	2	20	47.6%
	重傷	5	5	1	11	26.2%
	軽傷	3	6	2	11	26.2%
	小計	17	20	5	42	100%
	損傷なし	48	76	40	164	
	計	65	96	45	206	
不明	死亡	2	2	0	4	40.0%
	重傷	1	3	1	5	50.0%
	軽傷	0	1	0	1	10.0%
	小計	3	6	1	10	100%
	損傷なし	22	11	2	35	
	計	25	17	3	45	
合計		6,985	8,130	2,686	17,801	

図15-1 事業用貨物自動車のシートベルト着用有無別運転者死傷者数の構成率  
(平成26年)



## 参 考

### 事業用貨物自動車運転者のシートベルト着用状況等(平成17～26年)

・事業用貨物自動車運転者のシートベルト着用有無による死傷者数をみると、着用状態では軽傷が最も多く、次いで重傷、死亡の順となっており、また、非着用状態においては、近年では死亡が最も多く、次いで重傷と軽傷の件数がほぼ同程度となっています。

・事業用貨物自動車運転者のシートベルト着用率をみると、死傷者全体の9割程度が着用していますが、死亡の場合は5割程度の着用率となっており、シートベルトを着用しなかったことにより被害が拡大した可能性が考えられます。

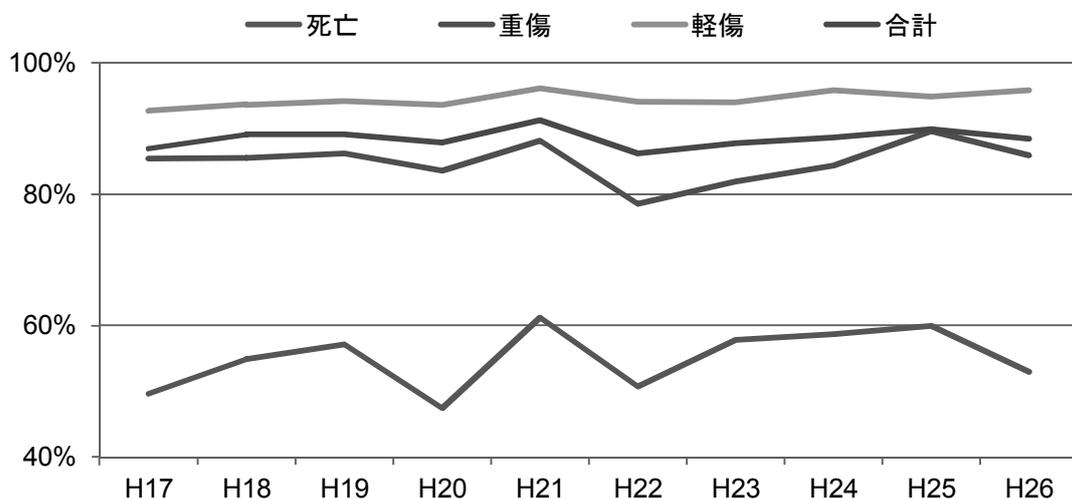
表 15-2 事業用貨物自動車運転者のシートベルト着用有無別死傷者数(平成 17～26 年)

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
着用	死亡	62	45	36	28	30	33	26	37	33	27
	重傷	256	218	144	142	134	102	136	102	112	97
	軽傷	838	773	465	507	388	394	355	318	314	274
	計	1,156	1,036	645	677	552	529	517	457	459	398
非着用	死亡	52	31	19	25	15	30	18	23	19	20
	重傷	29	24	13	24	11	19	21	11	8	11
	軽傷	52	40	25	26	13	19	19	13	16	11
	計	133	95	57	75	39	68	58	47	43	42
不明	死亡	11	6	8	6	4	2	1	3	3	4
	重傷	15	13	10	4	7	9	9	8	5	5
	軽傷	15	13	4	9	3	6	4	1	1	1
	計	41	32	22	19	14	17	14	12	9	10
合 計		1,330	1,163	724	771	605	614	589	516	511	450

表15-3 事業用貨物自動車運転者の人身損傷程度別シートベルト着用率(平成17～26年)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
死亡	49.6%	54.9%	57.1%	47.5%	61.2%	50.8%	57.8%	58.7%	60.0%	52.9%
重傷	85.3%	85.5%	86.2%	83.5%	88.2%	78.5%	81.9%	84.3%	89.6%	85.8%
軽傷	92.6%	93.6%	94.1%	93.5%	96.0%	94.0%	93.9%	95.8%	94.9%	95.8%
合計	86.9%	89.1%	89.1%	87.8%	91.2%	86.2%	87.8%	88.6%	89.8%	88.4%

図15-2 事業用貨物自動車運転者の人身損傷程度別シートベルト着用率(平成17～26年)



## 16. 事業用貨物自動車の高速道路の事故状況

### (1) 高速道路における追突事故件数

平成26年中の事業用トラックの交通事故は、17,801件で前年(18,491件)に比べ690件、約3.7%減少しており、路線別に事故件数をみると一般道路は、16,097件で前年(16,637件)に比べ540件、約3.2%減少し、高速道路は1,704件で前年(1,854件)に比べ150件、約8.1%と大幅に減少しています。

事故類型詳細区分別事故件数(表3 事業用貨物自動車の事故類型詳細区分別事故件数:参照)の中で最も多い追突事故は、9,292件で前年(9,719件)に比べ427件、約4.4%減少しています。

追突事故を路線別にみると、一般道路は8,083件で前年(8,366件)に比べ283件、約3.4%減少し、高速道路は1,209件で前年(1,353件)に比べ144件、10.6%と大幅に減少しています。

また、追突事故の死亡・重傷事故率<sup>※1</sup>についてみると、一般道路が3%に対し、高速道路では8.8%と高くなっています。

高速道路における追突事故類型詳細区分をみると、表16-1のとおり「走行車に」が最も多く539件、次いで「車線停止中その他」<sup>※2</sup>が516件となっています。表16-2の道路区分別では、走行車線第一通行帯が最も多く632件、次いで走行車線第二通行帯以上282件、追越車線183件の順となっています。

※1死亡・重傷事故率とは(死亡事故+重傷事故)÷(死亡事故+重傷事故+軽傷事故)×100

※2追突の車線停止中その他には、渋滞停止中が含まれる。

※高速道路とは、高速自動車国道、自動車専用道路(道路交通法施行令第42条の規定により指定された自動車専用道路)をいう。

表16-1 事業用トラックの高速道路における追突事故類型詳細区分別事故内容

事故類型	年・事故内容	H25				H26				増減	
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計		
追突	追越・追抜	0	1	11	12	1	0	8	9	-3	
	走行車に	16	42	545	603	14	35	490	539	-64	
	流入車に	0	1	1	2	0	1	2	3	1	
	流出車に	0	0	1	1	0	0	4	4	3	
	車線停止中	故障車に	1	3	15	19	2	4	22	28	9
		事故車に	3	13	22	38	2	5	27	34	-4
		その他	19	31	520	570	11	22	483	516	-54
	路肩停止中	故障車に	1	3	8	12	0	2	5	7	-5
		事故車に	1	1	0	2	0	1	0	1	-1
		その他	1	1	17	19	0	4	7	11	-8
	料金所付近停止車に	その他	0	1	51	52	0	0	37	37	-15
		その他	0	2	21	23	0	2	18	20	-3
		合計	42	99	1,212	1,353	30	76	1,103	1,209	-144

表16-2 事業用トラックの高速道路における追突事故の道路区分別事故内容

道路区分	年・事故内容	H25				H26				増減
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
走行車線-第一通行帯		31	62	631	724	23	43	566	632	-92
走行車線-第二通行帯以上		7	16	265	288	4	11	267	282	-6
追越車線		0	10	178	188	2	12	169	183	-5
登板車線		0	1	4	5	0	2	7	9	4
加速車線		0	1	4	5	0	1	2	3	-2
減速車線		0	0	13	13	0	0	11	11	-2
路肩		3	6	26	35	0	7	12	19	-16
ランプウェイ-入路		0	0	9	9	0	0	3	3	-6
ランプウェイ-出路		0	1	21	22	1	0	22	23	1
ジャンクション		0	0	3	3	0	0	1	1	-2
料金所等付近-本線上		0	0	27	27	0	0	18	18	-9
料金所等付近-その他		0	1	21	22	0	0	15	15	-7
サービスエリア		0	0	0	0	0	0	1	1	1
パーキングエリア		1	1	6	8	0	0	3	3	-5
その他		0	0	4	4	0	0	6	6	2
合計		42	99	1,212	1,353	30	76	1,103	1,209	-144

(2) 高速道路における人対車両事故件数

高速道路における人対車両事故については、事故類型詳細区分をみると表16-3のとおり24件で前年に比べ9件、60%増加しております。また、表16-4の道路区分別では、走行車線第一通行帯が最も多く9件、次いで走行車線第二通行帯以上4件の順となっております。

表16-3 事業用トラックの高速道路における人対車両事故類型詳細区分別事故内容

年・事故内容 事故類型		H25				H26				増減
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
人対車両	故障修理中	0	0	0	0	1	0	1	2	2
	路上作業中	3	0	1	4	1	1	3	5	1
	その他	4	4	3	11	7	4	6	17	6
	計	7	4	4	15	9	5	10	24	9

表16-4 事業用トラックの高速道路における人対車両の道路区分別事故内容

年・事故内容 道路区分		H25				H26				増減
		死亡	重傷	軽傷	合計	死亡	重傷	軽傷	合計	
走行車線-第一通行帯		4	3	1	8	6	1	2	9	1
走行車線-第二通行帯以上		1	1	1	3	1	1	2	4	1
追越車線		0	0	0	0	1	0	1	2	2
登板車線		0	0	0	0	0	0	1	1	1
加速車線		0	0	0	0	0	1	0	1	1
減速車線		0	0	0	0	0	0	0	0	0
路肩		1	0	0	1	1	0	0	1	0
ランプウェイ-入路		0	0	0	0	0	0	1	1	1
ランプウェイ-出路		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ジャンクション		0	0	0	0	0	0	0	0	0
料金所等付近-本線上		0	0	0	0	0	0	0	0	0
料金所等付近-その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービスエリア		1	0	1	2	0	2	1	3	1
パーキングエリア		0	0	1	1	0	0	2	2	1
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	4	4	15	9	5	10	24	9

## 17. 事業用貨物自動車の死傷者の状況

いままでは、平成26年中に発生した事業用トラックの交通事故件数を分析しましたが、ここでは事業用トラックによって死傷した死傷者数について、分析を行いました。

### (1) 相関別死傷者数

平成26年中の死傷者数をみると、表17-1のとおり死者340人(昨年364人、-24)、重傷者1,337人(1,366人、-29)、軽傷者22,325人(23,233人、-908)でした。

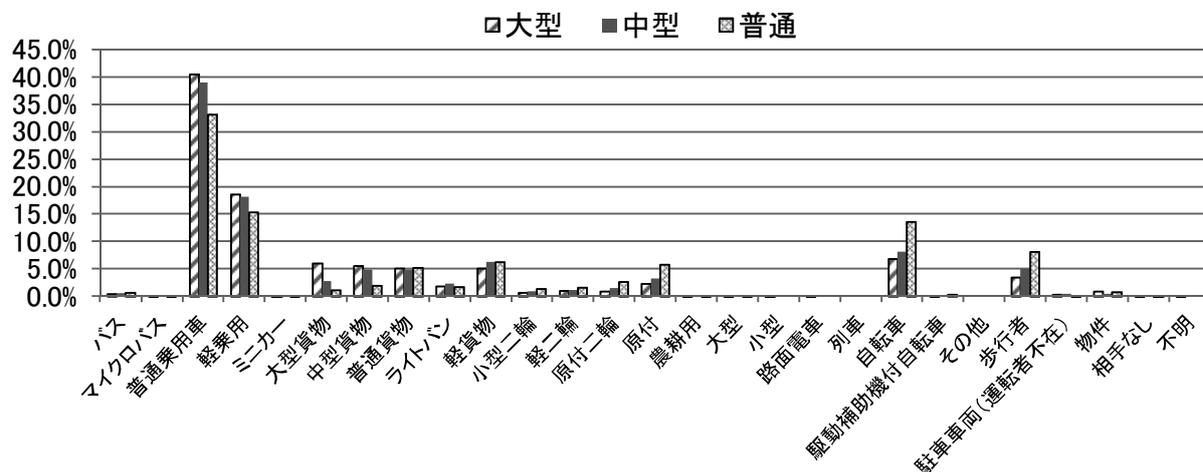
昨年に比べ死者、重傷者、軽傷者とも減少しています。

また、死傷者数を第2当事者別にみると、事業用トラック対普通乗用車9,306人が最も多く、次いで対軽乗用4,298人、対自転車2,026人の順となっています。

表17-1 相関別死傷者数(平成26年)

第2当事者	第1当事者	死者				重傷者				軽傷者				合計
		大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計	
乗用車	バス	0	0	0	0	3	1	1	5	40	56	23	119	124
	マイクロバス	0	0	0	0	0	0	1	1	8	16	0	24	25
	普通乗用車	9	8	0	17	93	56	8	157	3,763	4,251	1,118	9,132	9,306
	軽乗用	7	5	1	13	68	50	7	125	1,703	1,946	511	4,160	4,298
	ミニカー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	5
	小計	16	13	1	30	164	107	17	288	5,515	6,271	1,654	13,440	13,758
貨物車	大型貨物	17	9	2	28	48	24	5	77	513	270	31	814	919
	中型貨物	7	4	0	11	20	18	4	42	504	515	62	1,081	1,134
	普通貨物	6	0	0	6	18	7	2	27	458	527	174	1,159	1,192
	ライトバン	2	0	0	2	7	5	1	13	161	253	57	471	486
	軽貨物	2	1	1	4	27	23	6	56	454	668	205	1,327	1,387
	小計	34	14	3	51	120	77	18	215	2,090	2,233	529	4,852	5,118
自動二輪	トレーラ	7	1	1	9	5	3	0	8	126	66	9	201	218
	小型二輪	3	4	1	8	14	20	9	43	45	77	35	157	208
	軽二輪	5	0	0	5	9	25	6	40	83	105	49	237	282
	原付二輪	2	4	0	6	10	20	8	38	77	144	83	304	348
	小計	10	8	1	19	33	65	23	121	205	326	167	698	838
原付	4	3	2	9	56	50	21	127	157	306	174	637	773	
特殊車	農耕用	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	8	8
	大型	0	0	0	0	1	1	0	2	1	2	2	5	7
	小型	0	0	0	0	0	1	0	1	3	3	0	6	7
	小計	0	0	0	0	1	2	0	3	7	8	4	19	22
路面電車	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	5	
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	6	
軽車両	自転車	52	14	4	70	142	114	21	277	464	777	438	1,679	2,026
	駆動補助機付自転車	4	0	0	4	2	2	1	5	8	3	8	19	28
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	56	14	4	74	144	116	22	282	472	780	446	1,698	2,054
歩行者	62	49	10	121	87	108	42	237	181	396	225	802	1,160	
駐車両(運転者不在)	7	4	0	11	9	5	0	14	15	36	3	54	79	
物件	13	9	1	23	24	11	5	40	48	33	19	100	163	
相手なし	1	0	1	2	4	3	2	9	5	3	0	8	19	
不明	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5	0	6	7	
合計		203	114	23	340	642	545	150	1,337	8,701	10,403	3,221	22,325	24,002

図17-1 相関別死傷者数の構成率(平成26年)



## (2) 年齢別死傷者数

平成26年中の死傷者数について、年齢別死傷者数をみると死者は表17-2のとおり40歳～84歳、重傷は40歳～74歳、軽傷は25歳～49歳で多い傾向となっています。

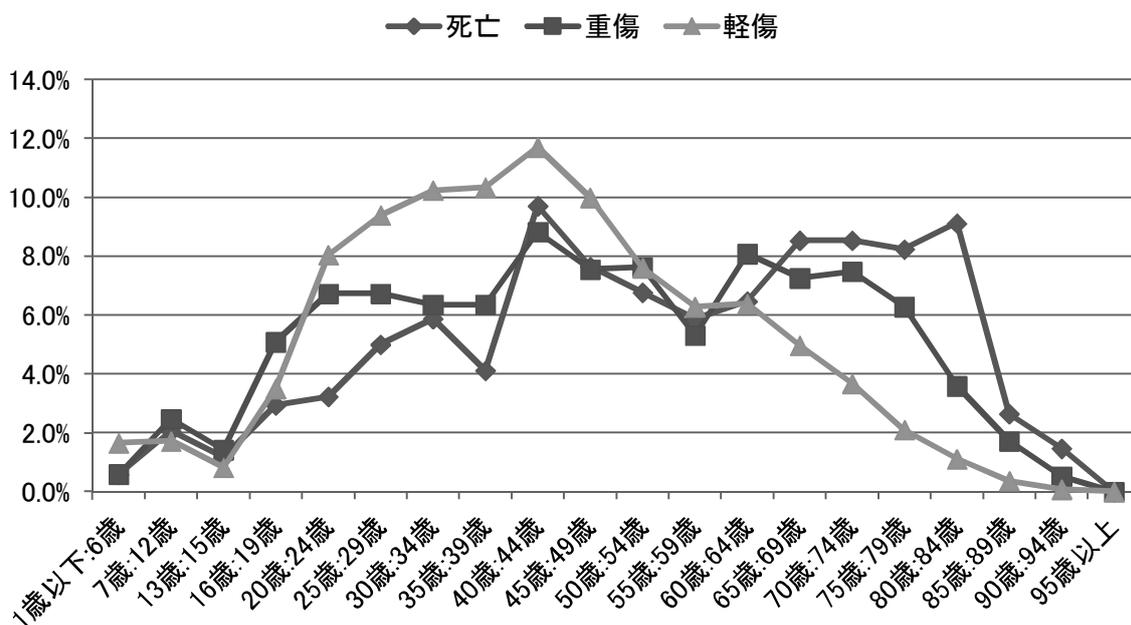
合計をみると中型が11,062人で約46%、大型が9,546人で約40%、大型・中型で全体合計の約86%を占めています。

死者数をみると大型・中型合わせて317人(203+114)で死者数全体の約93%を占め、年齢別にみると65歳以上は合計131人で死者数全体の約39%を占めています。

表17-2 年齢別死傷者数(平成26年)

年齢別	死者				重傷				軽傷				合計			
	大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計
1歳以下:6歳	1	1	0	2	5	1	2	8	140	177	53	370	146	179	55	380
7歳:12歳	7	0	0	7	15	12	6	33	152	167	65	384	174	179	71	424
13歳:15歳	1	2	1	4	6	12	1	19	56	97	31	184	63	111	33	207
16歳:19歳	10	0	0	10	31	29	8	68	283	341	159	783	324	370	167	861
20歳:24歳	6	5	0	11	48	30	12	90	709	799	287	1,795	763	834	299	1,896
25歳:29歳	8	8	1	17	39	37	14	90	855	987	255	2,097	902	1,032	270	2,204
30歳:34歳	12	6	2	20	34	43	8	85	885	1,068	331	2,284	931	1,117	341	2,389
35歳:39歳	9	4	1	14	44	34	7	85	879	1,121	310	2,310	932	1,159	318	2,409
40歳:44歳	21	10	2	33	57	51	10	118	1,007	1,253	351	2,611	1,085	1,314	363	2,762
45歳:49歳	17	7	2	26	46	43	12	101	897	1,045	288	2,230	960	1,095	302	2,357
50歳:54歳	13	10	0	23	50	41	11	102	652	806	240	1,698	715	857	251	1,823
55歳:59歳	13	5	2	20	35	27	9	71	574	635	193	1,402	622	667	204	1,493
60歳:64歳	12	9	1	22	52	45	11	108	563	647	215	1,425	627	701	227	1,555
65歳:69歳	14	13	2	29	49	40	8	97	414	543	152	1,109	477	596	162	1,235
70歳:74歳	22	5	2	29	46	43	11	100	301	385	135	821	369	433	148	950
75歳:79歳	13	11	4	28	41	34	9	84	190	193	87	470	244	238	100	582
80歳:84歳	17	12	2	31	25	15	8	48	97	102	50	249	139	129	60	328
85歳:89歳	4	4	1	9	14	6	3	23	35	33	15	83	53	43	19	115
90歳:94歳	3	2	0	5	5	2	0	7	12	3	3	18	20	7	3	30
95歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	2
合計	203	114	23	340	642	545	150	1,337	8,701	10,403	3,221	22,325	9,546	11,062	3,394	24,002

図17-2 年齢別死傷者数の構成率(平成26年)



### (3) 相関別死者数の推移

相関別死者数の推移について、平成17年～平成26年の10年間をみると事業用トラック対歩行者の死者数が1,448人で最も多く、次いで対自転車846人、対貨物車753人の順となっています。

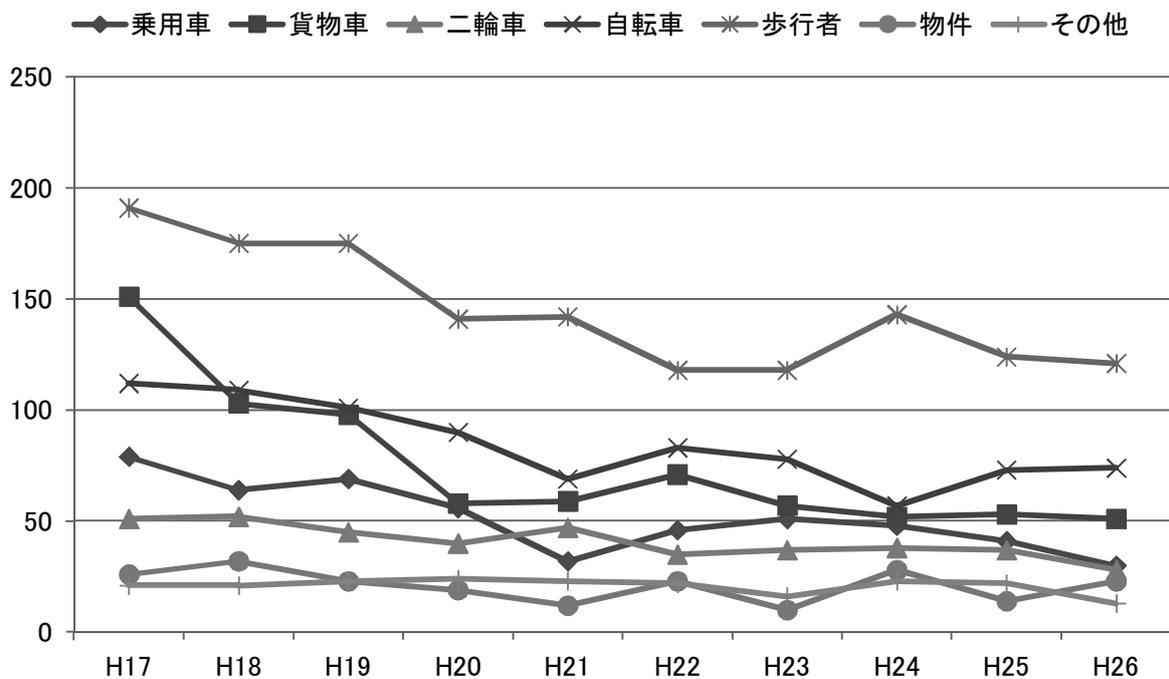
また、死者数全体は図17-3のとおり平成18年から減少傾向となっていますが、平成26年については、個別にみると対歩行者の死者数121人で最も多く、次いで対自転車が74人と、2番目に多い死者数となっています。

表17-3 相関別死者数の推移

年 第2当事者	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
乗用車	79	64	69	56	32	46	51	48	41	30	516
貨物車	151	103	98	58	59	71	57	52	53	51	753
二輪車	51	52	45	40	47	35	37	38	37	28	410
自転車	112	109	101	90	69	83	78	57	73	74	846
歩行者	191	175	175	141	142	118	118	143	124	121	1,448
物件	26	32	23	19	12	23	10	28	14	23	210
その他	21	21	23	24	23	22	16	23	22	13	208
合計	631	556	534	428	384	398	367	389	364	340	4391

※第1当事者対第2当事者の事故による死者数 なお、第1当事者は事業用貨物自動車

図17-3 相手別死者数の推移



#### (4) 歩行者・自転車の年齢別死者数

事業用トラック対歩行者と対自転車の年齢別死者数についてみると、対歩行者では80歳～84歳 22人、75歳～79歳 17人、65歳～69歳及び70歳～74歳がそれぞれ14人の順となっており、65歳以上は合計76人で対歩行者121人の約63%を占めています。

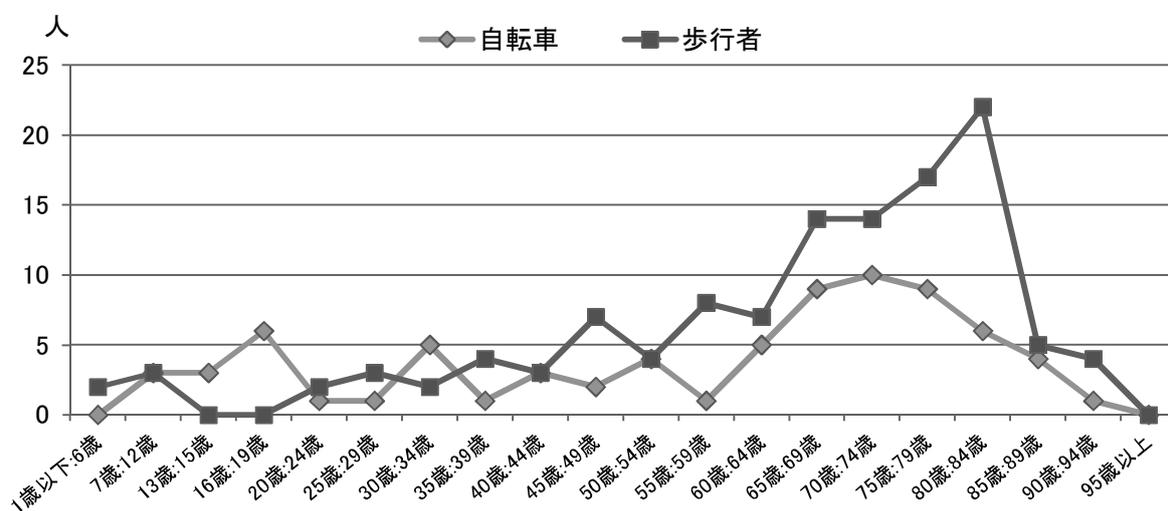
対自転車をみると70歳～74歳 10人、65歳～69歳と75歳～79歳 9人の順となっており、65歳以上は合計39人で対自転車74人の約53%を占めています。

特に、歩行者の大型・中型をみると111人(62+49)が対歩行者合計121人の約92%を占め、自転車では70人(56+14)が対自転車合計74人の約95%と大部分を占めています。

表17-4 対歩行者・自転車の年齢別死者数(平成26年)

第2当事者 年齢別	歩行者				自転車			
	大型	中型	普通	合計	大型	中型	普通	合計
1歳以下:6歳	1	1	0	2	0	0	0	0
7歳:12歳	3	0	0	3	3	0	0	3
13歳:15歳	0	0	0	0	1	1	1	3
16歳:19歳	0	0	0	0	6	0	0	6
20歳:24歳	0	2	0	2	1	0	0	1
25歳:29歳	2	1	0	3	1	0	0	1
30歳:34歳	1	1	0	2	3	1	1	5
35歳:39歳	4	0	0	4	1	0	0	1
40歳:44歳	1	2	0	3	3	0	0	3
45歳:49歳	4	3	0	7	2	0	0	2
50歳:54歳	1	3	0	4	4	0	0	4
55歳:59歳	5	2	1	8	0	1	0	1
60歳:64歳	2	4	1	7	4	1	0	5
65歳:69歳	4	8	2	14	7	2	0	9
70歳:74歳	13	1	0	14	8	1	1	10
75歳:79歳	8	5	4	17	4	5	0	9
80歳:84歳	8	12	2	22	6	0	0	6
85歳:89歳	2	3	0	5	2	1	1	4
90歳:94歳	3	1	0	4	0	1	0	1
95歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	62	49	10	121	56	14	4	74

図17-4 対歩行者・自転車の年齢別死者数(平成26年)



## 付 録

- 付録 1. 平成26年 都道府県別の交通事故発生状況(死亡・重傷・軽傷事故別)
- 付録 2. 平成26年 都道府県別の事業用自動車の交通事故発生件数(第1当事者)
- 付録 3. 平成26年 事業用自動車の法令違反別交通事故発生件数(第1当事者)
- 付録 4. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の事故件数(第1当事者)
- 付録 5. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(第1当事者)
- 付録 6. 交通事故の発生状況の推移(平成4年～平成26年)
- 付録 7. 事業用自動車の死者数の推移(平成17年～平成26年)
- 付録 8. 事業用自動車の保有台数当たりの死者数の推移(平成17年～平成26年)
- 付録 9. 事業用自動車の業態別事故件数の推移(平成17年～平成26年)
- 付録10. 事業用自動車の業態別保有台数当たりの事故件数の推移(平成17年～平成26年)
- 付録11. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別1万台当たりの死亡事故件数
- 付録12. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別1万台当たりの重傷・軽傷事故件数
- 付録13. 事業用自動車運転者の年齢別死亡事故発生割合(平成17年～平成26年)
- 付録14. 事業用自動車運転者の年齢別事故発生割合(平成17年～平成26年)
- 付録15. 平成26年 危険認知速度別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合
- 付録16. 平成26年 事故類型別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合
- 付録17. 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の死亡事故件数及び死者数(第1当事者)  
(平成24年～平成26年)
- 付録18. 事業用トラック1万台当たりの死亡事故件数(平成25年,平成26年)

付録1. 平成26年 都道府県別の交通事故発生状況(死亡・重傷・軽傷事故別)

管 区	都道 府県	発 生 件 数											
		合 計			死 亡 事 故 件 数			重 傷 事 故 件 数			軽 傷 事 故 件 数		
		件 数	増減数	増減率	件 数	増減数	増減率	件 数	増減数	増減率	件 数	増減数	増減率
北 海 道	札幌	8,684	-727	-7.7	77	-14	-15.4	684	-71	-9.4	7,923	-642	-7.5
	函館	989	-172	-14.8	14	0	0.0	86	-42	-32.8	889	-130	-12.8
	旭川	1,180	-248	-17.4	30	2	7.1	140	-25	-15.2	1,010	-225	-18.2
	釧路	927	-268	-22.4	28	-1	-3.4	113	-55	-32.7	786	-212	-21.2
	北見	494	-33	-6.3	8	-8	-50.0	76	-16	-17.4	410	-9	-2.1
	計	12,274	-1,448	-10.6	157	-21	-11.8	1,099	-209	-16.0	11,018	-1,218	-10.0
東 北	青森	4,133	-830	-16.7	54	7	14.9	248	2	0.8	3,831	-839	-18.0
	岩手	2,712	-346	-11.3	62	-8	-11.4	439	-28	-6.0	2,211	-310	-12.3
	宮城	9,142	-709	-7.2	79	-5	-6.0	618	-46	-6.9	8,445	-658	-7.2
	秋田	2,270	-248	-9.8	36	-9	-20.0	317	22	7.5	1,917	-261	-12.0
	山形	6,426	-656	-9.3	44	5	12.8	459	-81	-15.0	5,923	-580	-8.9
	福島	7,710	-1,238	-13.8	82	6	7.9	698	-48	-6.4	6,930	-1,196	-14.7
東京		37,184	-4,857	-11.6	169	5	3.0	221	-67	-23.3	36,794	-4,795	-11.5
関 東	茨城	12,534	-745	-5.6	129	-32	-19.9	1,122	36	3.3	11,283	-749	-6.2
	栃木	6,413	-1,024	-13.8	101	4	4.1	526	-11	-2.0	5,786	-1,017	-14.9
	群馬	16,316	-1,366	-7.7	66	-7	-9.6	356	-58	-14.0	15,894	-1,301	-7.6
	埼玉	30,821	-2,459	-7.4	170	-5	-2.9	3,008	-38	-1.2	27,643	-2,416	-8.0
	千葉	19,705	-1,762	-8.2	175	-9	-4.9	2,025	-128	-5.9	17,505	-1,625	-8.5
	神奈川	30,434	-3,413	-10.1	179	11	6.5	1,206	5	0.4	29,049	-3,429	-10.6
	新潟	6,317	-1,239	-16.4	101	-5	-4.7	1,146	-105	-8.4	5,070	-1,129	-18.2
	山梨	4,514	-553	-10.9	48	10	26.3	352	-38	-9.7	4,114	-525	-11.3
	長野	9,283	-575	-5.8	81	-17	-17.3	735	2	0.3	8,467	-560	-6.2
	静岡	33,499	-1,725	-4.9	140	-39	-21.8	1,412	-23	-1.6	31,947	-1,663	-4.9
中 部	富山	4,379	-270	-5.8	42	-11	-20.8	457	-21	-4.4	3,880	-238	-5.8
	石川	4,074	-565	-12.2	53	-4	-7.0	390	-4	-1.0	3,631	-557	-13.3
	福井	2,416	-477	-16.5	49	-6	-10.9	374	-44	-10.5	1,993	-427	-17.6
	岐阜	8,250	-1,082	-11.6	92	-26	-22.0	756	-44	-5.5	7,402	-1,012	-12.0
	愛知	46,131	-2,818	-5.8	199	-15	-7.0	1,036	-340	-24.7	44,896	-2,463	-5.2
	三重	8,100	-1,704	-17.4	109	19	21.1	920	-174	-15.9	7,071	-1,549	-18.0
近 畿	滋賀	6,598	-1,238	-15.8	61	-8	-11.6	564	-34	-5.7	5,973	-1,196	-16.7
	京都	10,185	-1,202	-10.6	67	0	0.0	1,464	-24	-1.6	8,654	-1,178	-12.0
	大阪	42,729	-3,381	-7.3	143	-36	-20.1	2,829	-224	-7.3	39,757	-3,121	-7.3
	兵庫	30,118	-2,616	-8.0	181	-4	-2.2	2,591	-207	-7.4	27,346	-2,405	-8.1
	奈良	5,868	792	15.6	45	4	9.8	589	2	0.3	5,234	786	17.7
	和歌山	4,115	-637	-13.4	39	-8	-17.0	676	-8	-1.2	3,400	-621	-15.4
中 国	鳥取	1,168	-112	-8.8	31	7	29.2	219	-16	-6.8	918	-103	-10.1
	島根	1,583	-64	-3.9	26	0	0.0	51	5	10.9	1,506	-69	-4.4
	岡山	12,271	-1,911	-13.5	89	-17	-16.0	926	-112	-10.8	11,256	-1,782	-13.7
	広島	12,479	-1,891	-13.2	113	-1	-0.9	1,510	-166	-9.9	10,856	-1,724	-13.7
	山口	6,268	-646	-9.3	57	-8	-12.3	665	-57	-7.9	5,546	-581	-9.5
	徳島	4,372	-428	-8.9	30	-18	-37.5	439	-8	-1.8	3,903	-402	-9.3
四 国	香川	8,942	-1,159	-11.5	52	-2	-3.7	299	76	34.1	8,591	-1,233	-12.6
	愛媛	5,745	-947	-14.2	75	5	7.1	972	-94	-8.8	4,698	-858	-15.4
	高知	2,690	-269	-9.1	40	-2	-4.8	493	-50	-9.2	2,157	-217	-9.1
	福岡	41,168	-2,510	-5.7	143	2	1.4	1,201	-90	-7.0	39,824	-2,422	-5.7
九 州	佐賀	8,870	-494	-5.3	53	7	15.2	157	10	6.8	8,660	-511	-5.6
	長崎	6,465	-700	-9.8	48	1	2.1	575	-70	-10.9	5,842	-631	-9.7
	熊本	7,584	-1,148	-13.1	75	-6	-7.4	1,000	-38	-3.7	6,509	-1,104	-14.5
	大分	5,161	-606	-10.5	54	-5	-8.5	426	-140	-24.7	4,681	-461	-9.0
	宮崎	9,759	-699	-6.7	48	-10	-17.2	426	-15	-3.4	9,285	-674	-6.8
	鹿児島	8,425	-782	-8.5	92	3	3.4	866	-95	-9.9	7,467	-690	-8.5
	沖縄	6,242	-422	-6.3	34	-17	-33.3	638	-70	-9.9	5,570	-335	-5.7
	合計		573,842	-55,179	-8.8	4,013	-265	-6.2	39,496	-2,865	-6.8	530,333	-52,049

付録2. 平成26年 都道府県別の事業用自動車の交通事故発生件数(第1当事者)

管 区	都 道 府 県	事 業 用									事 業 用 合 計
		乗 用 車				貨 物 車				ト レ ー ラ	
		バ ス	マ イ ク ロ バ ス	普 通	小 計	大 型	中 型	普 通	小 計		
北 海 道	札幌	44	2	580	626	137	119	29	285	33	911
	函館	8	-	50	58	13	9	1	23	4	81
	旭川	3	-	42	45	34	18	1	53	8	98
	釧路	2	-	30	32	24	3	3	30	5	62
	北見	2	-	9	11	11	5	1	17	3	28
	計	59	2	711	772	219	154	35	408	53	1,180
東 北	青森	23	3	75	101	41	31	5	77	2	178
	岩手	6	-	39	45	52	36	1	89	1	134
	宮城	12	2	193	207	123	91	23	237	27	444
	秋田	3	-	13	16	20	20	-	40	4	56
	山形	6	1	43	50	60	54	18	132	5	182
	福島	7	3	96	106	107	108	25	240	14	346
東京		185	29	4,039	4,253	448	941	468	1,857	169	6,110
関 東	茨城	14	2	58	74	179	199	62	440	45	514
	栃木	9	1	33	43	79	82	19	180	13	223
	群馬	14	-	77	91	178	176	37	391	35	482
	埼玉	42	13	493	548	447	660	274	1,381	94	1,929
	千葉	83	4	349	436	229	390	137	756	41	1,192
	神奈川	164	3	1,259	1,426	339	585	219	1,143	96	2,569
	新潟	10	2	72	84	75	62	10	147	14	231
	山梨	5	1	29	35	44	40	12	96	5	131
	長野	30	4	76	110	139	108	25	272	14	382
		静岡	58	4	387	449	402	380	106	888	50
中 部	富山	8	-	22	30	56	44	11	111	9	141
	石川	23	-	48	71	43	64	8	115	10	186
	福井	5	-	15	20	29	30	12	71	12	91
	岐阜	11	-	52	63	123	83	17	223	11	286
	愛知	100	7	721	828	541	602	177	1,320	94	2,148
	三重	12	1	35	48	176	141	17	334	32	382
近 畿	滋賀	8	2	44	54	118	111	18	247	23	301
	京都	108	6	578	692	106	178	76	360	7	1,052
	大阪	185	14	2,051	2,250	600	917	343	1,860	126	4,110
	兵庫	154	8	686	848	373	432	100	905	46	1,753
	奈良	10	1	54	65	57	77	19	153	9	218
	和歌山	7	1	55	63	39	28	17	84	10	147
中 国	鳥取	2	-	21	23	16	10	2	28	4	51
	島根	4	-	12	16	17	19	4	40	1	56
	岡山	12	1	121	134	166	141	34	341	20	475
	広島	47	6	357	410	191	126	47	364	40	774
		山口	27	-	106	133	111	70	24	205	15
四 国	徳島	9	-	55	64	37	33	14	84	6	148
	香川	5	3	106	114	73	74	16	163	11	277
	愛媛	11	-	84	95	39	61	16	116	14	211
		高知	6	1	52	59	16	20	9	45	3
九 州	福岡	152	15	1,516	1,683	443	393	100	936	43	2,619
	佐賀	11	1	67	79	97	97	19	213	17	292
	長崎	51	1	220	272	36	32	12	80	8	352
	熊本	25	3	159	187	84	80	18	182	19	369
	大分	10	-	94	104	62	35	12	109	20	213
	宮崎	14	1	151	166	78	38	26	142	34	308
	鹿児島	49	5	148	202	63	71	21	155	13	357
	沖縄	23	2	370	395	14	6	21	41	3	436
合計		1,819	153	16,042	18,014	6,985	8,130	2,686	17,801	1,342	35,815

注1 軽自動車及びミニカーを除く。

注2 トレーラは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

付録3. 平成26年 事業用自動車の法令違反別交通事故発生件数(第1当事者)

当事者		事業用									事業用 合計	
		乗用車				貨物車						
		バス	マイクロ バス	普通	小計	大型	中型	普通	小計	トレーラ		
車 両 の 運 転 者	法令違反											
	信号無視	24	-	378	402	264	276	65	605	49	1,007	
	通行区分	5	-	28	33	30	24	16	70	8	103	
	最高速度	-	-	11	11	24	32	4	60	6	71	
	横断転回後退	6	3	166	175	25	42	16	83	3	258	
	車間距離不保持	6	1	30	37	55	74	15	144	10	181	
	追越し	16	-	14	30	57	60	10	127	12	157	
	踏切不停止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	右折	1	-	42	43	20	14	9	43	8	86	
	左折	3	1	100	104	36	39	26	101	3	205	
	優先通行妨害	7	1	265	273	55	72	31	158	11	431	
	交差点安全進行	64	4	1,502	1,570	183	290	150	623	41	2,193	
	歩行者妨害等	60	2	640	702	111	149	62	322	11	1,024	
	徐行	4	1	158	163	8	34	21	63	1	226	
	一時不停止	11	3	527	541	39	95	49	183	5	724	
	整備不良	2	-	-	2	9	1	-	10	1	12	
	酒酔い	-	-	-	-	2	-	-	2	-	2	
	過労運転	-	-	1	1	4	7	3	14	1	15	
	薬物運転	-	-	-	-	1	1	1	3	-	3	
	安	運転操作	340	23	955	1,318	468	481	141	1,090	107	2,408
全	前方	漫然 脇見	36	7	563	606	689	981	206	1,876	114	2,482
運	不注意		139	21	1,742	1,902	1,559	1,934	529	4,022	283	5,924
転	動静不注視	270	14	1,193	1,477	1,144	1,208	343	2,695	221	4,172	
義	安全不確認	540	49	6,513	7,102	1,786	1,953	837	4,576	353	11,678	
務	安全速度	29	6	74	109	67	51	15	133	9	242	
者	その他	188	11	280	479	105	122	42	269	26	748	
	その他の違反	65	6	845	916	235	184	91	510	59	1,426	
	不明	3	-	15	18	9	6	4	19	-	37	
	計	1,819	153	16,042	18,014	6,985	8,130	2,686	17,801	1,342	35,815	
歩 行 者	信号無視	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	車両直前直後横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他横断	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	酩酊・はいかい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	路上遊戯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	飛び出し	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他の違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
当事者不明		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		1,819	153	16,042	18,014	6,985	8,130	2,686	17,801	1,342	35,815	

注1 軽自動車及びミニカーを除く。

注2 トレーラは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

付録4. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局（車籍）別の事故件数（第1当事者）

区分 運輸支局等	死 亡				重 傷				軽 傷				合 計			
	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	小 計	バ ス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	0	0	9	9	1	42	31	74	41	509	218	768	42	551	258
	函館	0	0	1	1	0	1	2	3	8	49	21	78	8	50	24
	室蘭	0	0	0	0	0	1	4	5	4	25	46	75	4	26	50
	帯広	0	0	1	1	0	2	3	5	1	10	16	27	1	12	20
	釧路	0	0	0	0	0	1	7	8	1	17	9	27	1	18	16
	北見	0	0	0	0	1	0	2	3	0	9	12	21	1	9	14
	旭川	0	1	0	1	2	5	11	18	2	36	42	80	4	42	53
小計	0	1	11	12	4	52	60	116	57	655	364	1,076	61	708	435	
東北	宮城	1	0	6	7	3	9	10	22	9	183	224	416	13	192	240
	福島	0	0	9	9	2	4	27	33	11	91	198	300	13	95	234
	岩手	0	0	4	4	1	4	17	22	5	34	76	115	6	38	97
	青森	1	0	3	4	2	5	11	18	25	70	97	192	28	75	111
	山形	0	0	4	4	0	5	13	18	7	38	92	137	7	43	109
	秋田	0	0	0	0	1	1	3	5	3	12	42	57	4	13	45
小計	2	0	26	28	9	28	81	118	60	428	729	1,217	71	456	836	
北陸信越	新潟	0	0	7	7	0	8	26	34	12	64	136	212	12	72	169
	長野	0	0	6	6	5	4	13	22	23	72	212	307	28	76	231
	富山	0	0	5	5	4	4	13	21	18	44	123	185	22	48	141
	小計	0	0	22	22	12	18	62	92	60	200	585	845	72	218	669
関東	東京	3	6	12	21	6	17	57	80	190	4,039	1,286	5,515	199	4,062	1,355
	神奈川	2	6	16	24	10	37	52	99	141	1,175	965	2,281	153	1,218	1,033
	千葉	2	1	19	22	13	38	63	114	92	298	731	1,121	107	337	813
	埼玉	1	2	26	29	5	40	105	150	57	427	1,295	1,779	63	469	1,426
	茨城	0	0	8	8	4	6	41	51	16	51	467	534	20	57	516
	群馬	1	0	8	9	1	0	16	17	12	77	393	482	14	77	417
	栃木	0	0	4	4	0	3	22	25	11	29	199	239	11	32	225
	山梨	0	0	4	4	0	2	6	8	9	26	94	129	9	28	104
	小計	9	15	97	121	39	143	362	544	528	6,122	5,430	12,080	576	6,280	5,889
中部	愛知	1	0	16	17	9	14	55	78	88	695	1,165	1,948	98	709	1,236
	静岡	1	1	11	13	6	16	33	55	47	370	727	1,144	54	387	771
	岐阜	0	0	4	4	1	7	23	31	12	44	254	310	13	51	281
	三重	0	0	9	9	0	2	22	24	12	31	276	319	12	33	307
	福井	0	0	3	3	1	0	11	12	3	15	74	92	4	15	88
	小計	2	1	43	46	17	39	144	200	162	1,155	2,496	3,813	181	1,195	2,683
近畿	大阪	1	4	24	29	16	110	154	280	176	1,963	1,743	3,882	193	2,077	1,921
	京都	0	1	9	10	27	56	37	120	91	519	344	954	118	576	390
	兵庫	0	0	12	12	12	47	48	107	147	616	716	1,479	159	663	776
	滋賀	0	0	3	3	0	2	9	11	8	41	146	195	8	43	158
	奈良	1	0	4	5	1	1	14	16	9	45	173	227	11	46	191
	和歌山	0	0	4	4	2	4	16	22	6	51	119	176	8	55	139
小計	2	5	56	63	58	220	278	556	437	3,235	3,241	6,913	497	3,460	3,575	
中国	広島	0	3	12	15	10	29	46	85	39	325	351	715	49	357	409
	鳥取	0	1	3	4	0	1	6	7	5	20	33	58	5	22	42
	島根	0	0	1	1	0	0	6	6	3	11	41	55	3	11	48
	岡山	0	0	6	6	1	6	29	36	16	114	288	418	17	120	323
	山口	0	3	3	6	5	7	13	25	26	96	135	257	31	106	151
小計	0	7	25	32	16	43	100	159	89	566	848	1,503	105	616	973	
四国	高松	0	0	7	7	0	2	12	14	9	104	179	292	9	106	198
	徳島	0	0	3	3	1	2	4	7	9	53	82	144	10	55	89
	愛媛	0	1	6	7	0	12	15	27	10	71	137	218	10	84	158
	高知	0	1	1	2	1	9	10	20	8	42	42	92	9	52	53
	小計	0	2	17	19	2	25	41	68	36	270	440	746	38	297	498
九州	福岡	0	4	14	18	6	28	36	70	165	1,473	941	2,579	171	1,505	991
	佐賀	0	1	5	6	0	0	5	5	9	65	174	248	9	66	184
	長崎	2	0	3	5	4	23	8	35	42	197	98	337	48	220	109
	熊本	0	0	1	1	4	19	14	37	25	139	194	358	29	158	209
	大分	0	1	0	1	1	6	10	17	8	88	108	204	9	95	118
	宮崎	0	2	2	4	0	4	6	10	16	135	126	277	16	141	134
	鹿児島	0	0	4	4	8	15	21	44	46	133	175	354	54	148	200
小計	2	8	29	39	23	95	100	218	311	2,230	1,816	4,357	336	2,333	1,945	
沖縄	0	0	1	1	4	33	6	43	21	334	32	387	25	367	39	
不明	0	2	3	5	1	4	20	25	9	106	236	351	10	112	259	
合計	17	41	330	388	185	700	1,254	2,139	1,770	15,301	16,217	33,288	1,972	16,042	17,801	

\* ハイ・タクには、「その他乗用」を含む。

付録5. 平成26年 事業用自動車の管轄運輸支局(車籍)別の死傷者数(第1当事者)

運輸支局等	死 亡				重 傷				軽 傷				合 計			
	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	小 計	バス	ハイタク	トラック	
北海道	札幌	0	0	10	10	1	43	37	81	46	591	293	930	47	634	340
	函館	0	0	1	1	0	1	2	3	9	61	26	96	9	62	29
	室蘭	0	0	0	0	0	1	4	5	17	26	58	101	17	27	62
	帯広	0	0	1	1	0	2	3	5	1	10	22	33	1	12	26
	釧路	0	0	0	0	0	1	8	9	1	20	13	34	1	21	21
	北見	0	0	0	0	1	0	3	4	0	12	13	25	1	12	16
	旭川	0	1	0	1	2	5	12	19	3	44	55	102	5	50	67
小 計	0	1	12	13	4	53	69	126	77	764	480	1,321	81	818	561	
東北	宮城	2	0	7	9	27	9	11	47	12	220	337	569	41	229	355
	福島	0	0	9	9	2	4	30	36	23	107	286	416	25	111	325
	岩手	0	0	5	5	1	4	20	25	5	41	139	185	6	45	164
	青森	1	0	3	4	2	5	13	20	30	88	134	252	33	93	150
	山形	0	0	4	4	0	5	14	19	7	39	119	165	7	44	137
	秋田	0	0	0	0	1	1	3	5	5	13	59	77	6	14	62
小 計	3	0	28	31	33	28	91	152	82	508	1,074	1,664	118	536	1,193	
北陸信越	新潟	0	0	8	8	0	8	31	39	19	73	198	290	19	81	237
	長野	0	0	6	6	5	4	13	22	36	82	306	424	41	86	325
	石川	0	0	5	5	4	4	13	21	22	55	160	237	26	59	178
	富山	0	0	4	4	3	2	10	15	10	26	137	173	13	28	151
小 計	0	0	23	23	12	18	67	97	87	236	801	1,124	99	254	891	
関東	東京	3	6	12	21	6	17	60	83	269	4,620	1,644	6,533	278	4,643	1,716
	神奈川	2	6	16	24	10	37	54	101	163	1,348	1,236	2,747	175	1,391	1,306
	千葉	2	1	20	23	14	39	68	121	147	349	1,034	1,530	163	389	1,122
	埼玉	1	2	26	29	5	40	113	158	83	500	1,767	2,350	89	542	1,906
	茨城	0	0	8	8	4	7	42	53	24	61	660	745	28	68	710
	群馬	1	0	8	9	1	0	17	18	13	86	549	648	15	86	574
	栃木	0	0	4	4	0	3	23	26	12	36	284	332	12	39	311
	山梨	0	0	4	4	0	2	6	8	12	27	152	191	12	29	162
	小 計	9	15	98	122	40	145	383	568	723	7,027	7,326	15,076	772	7,187	7,807
中部	愛知	1	0	17	18	9	14	60	83	110	815	1,562	2,487	120	829	1,639
	静岡	1	1	12	14	6	19	33	58	58	468	999	1,525	65	488	1,044
	岐阜	0	0	4	4	1	7	25	33	18	56	352	426	19	63	381
	三重	0	0	9	9	0	2	24	26	12	36	417	465	12	38	450
	福井	0	0	3	3	1	0	11	12	3	15	99	117	4	15	113
	小 計	2	1	45	48	17	42	153	212	201	1,390	3,429	5,020	220	1,433	3,627
近畿	大阪	1	4	25	30	16	112	160	288	263	2,282	2,423	4,968	280	2,398	2,608
	京都	0	1	9	10	28	60	39	127	117	638	469	1,224	145	699	517
	兵庫	0	0	12	12	12	47	51	110	188	714	973	1,875	200	761	1,036
	滋賀	0	0	3	3	0	2	10	12	12	53	210	275	12	55	223
	奈良	1	0	4	5	1	1	15	17	12	51	258	321	14	52	277
	和歌山	0	0	4	4	2	4	17	23	17	62	176	255	19	66	197
小 計	2	5	57	64	59	226	292	577	609	3,800	4,509	8,918	670	4,031	4,858	
中国	広島	0	3	12	15	12	30	48	90	50	393	473	916	62	426	533
	鳥取	0	1	3	4	0	1	6	7	5	25	69	99	5	27	78
	島根	0	0	1	1	0	0	6	6	3	11	49	63	3	11	56
	岡山	0	0	6	6	1	7	29	37	38	129	411	578	39	136	446
	山口	0	3	3	6	5	7	15	27	30	120	199	349	35	130	217
小 計	0	7	25	32	18	45	104	167	126	678	1,201	2,005	144	730	1,330	
四国	高松	0	0	7	7	0	2	13	15	14	122	252	388	14	124	272
	徳島	0	0	3	3	1	2	4	7	18	68	106	192	19	70	113
	愛媛	0	1	6	7	0	12	15	27	11	78	188	277	11	91	209
	高知	0	1	1	2	1	9	11	21	11	45	59	115	12	55	71
	小 計	0	2	17	19	2	25	43	70	54	313	605	972	56	340	665
九州	福岡	0	4	14	18	6	28	37	71	194	1,841	1,334	3,369	200	1,873	1,385
	佐賀	0	1	5	6	0	0	5	5	10	84	247	341	10	85	257
	長崎	2	0	3	5	4	23	8	35	47	235	131	413	53	258	142
	熊本	0	0	1	1	4	19	14	37	26	179	253	458	30	198	268
	大分	0	1	0	1	1	6	10	17	13	114	147	274	14	121	157
	宮崎	0	2	2	4	0	4	6	10	18	158	177	353	18	164	185
	鹿児島	0	0	4	4	8	15	23	46	51	157	235	443	59	172	262
	小 計	2	8	29	39	23	95	103	221	359	2,768	2,524	5,651	384	2,871	2,656
沖縄	0	0	3	3	4	33	9	46	24	368	44	436	28	401	56	
不明	0	2	3	5	1	4	23	28	13	129	332	474	14	135	358	
合 計	18	41	340	399	213	714	1,337	2,264	2,355	17,981	22,325	42,661	2,586	18,736	24,002	

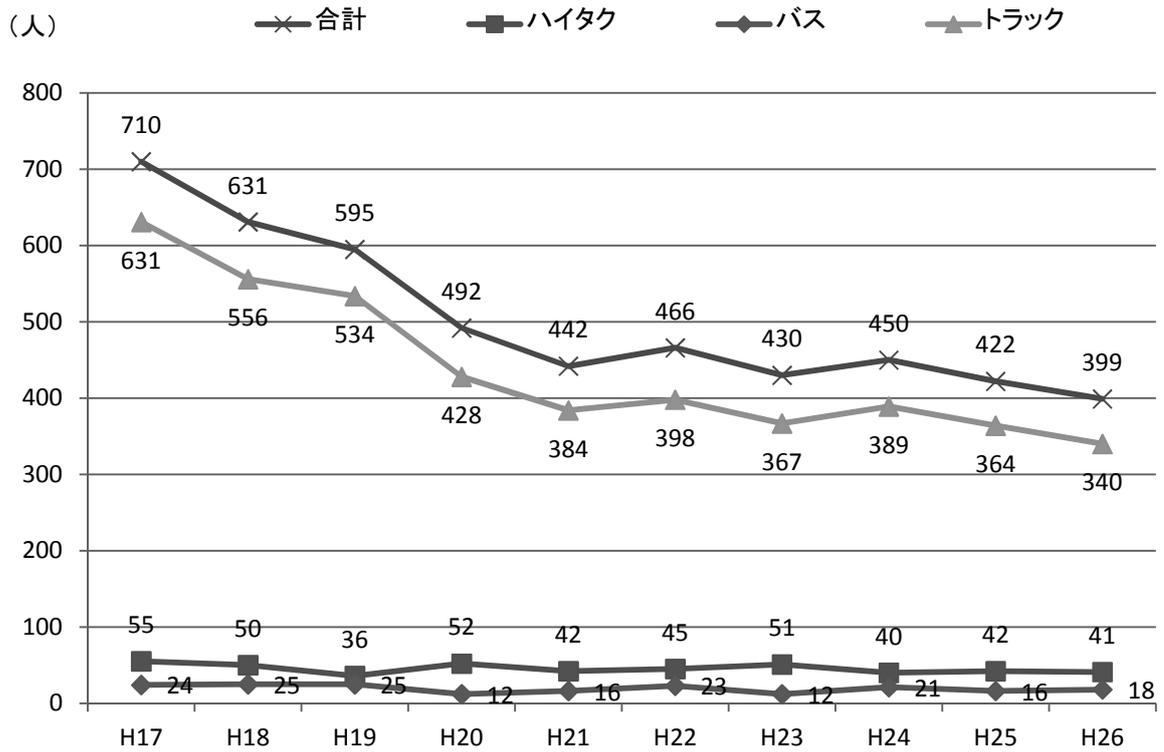
\* ハイ・タクには、「その他乗用」を含む。

\* 死傷者数とは、事業用自動車第1当事者となった事故における全当事者数をいう。

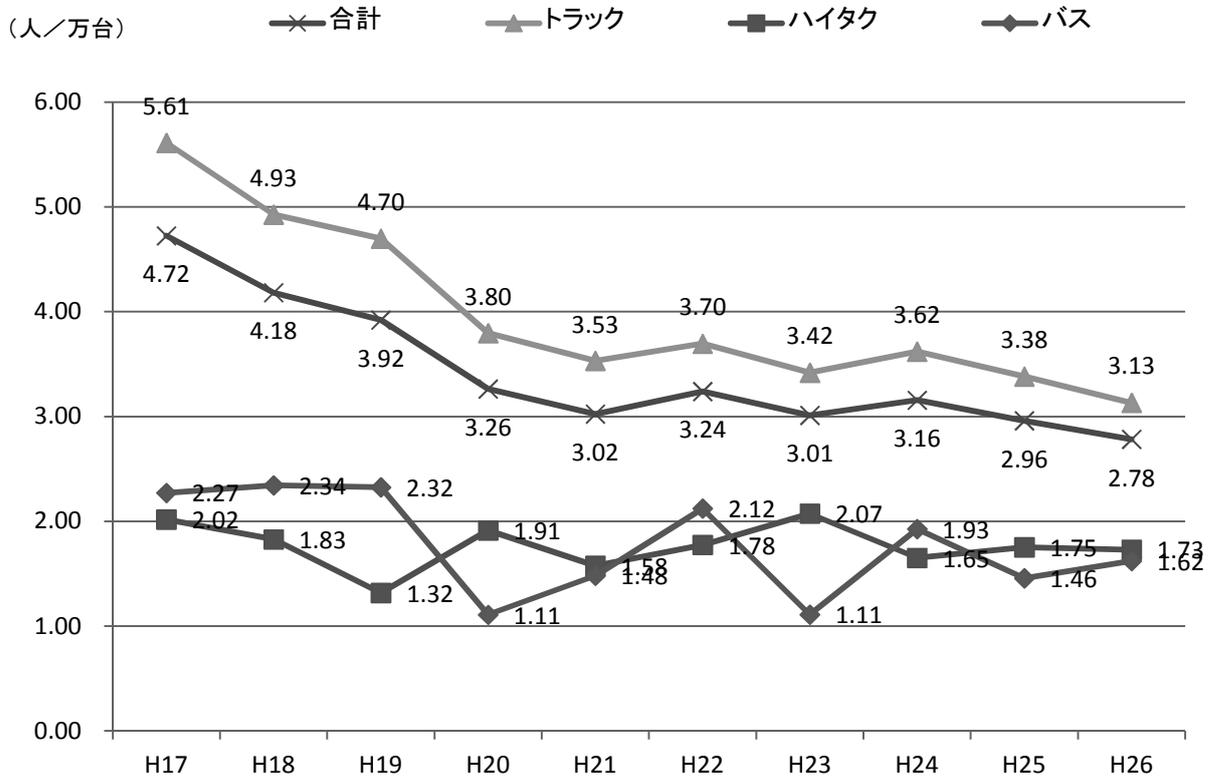
付録6. 交通事故発生状況の推移（平成3年～平成26年）

	全体			貨物自動車					
	事故件数	死者数	負傷者数	事故件数		死者数		負傷者数	
				事業用	自家用	事業用	自家用	事業用	自家用
平成3年	662,388	11,105	810,245	23,396	73,707	761	1,172	30,840	89,065
平成4年	695,345	11,451	844,003	23,694	74,660	763	1,133	30,605	89,592
平成5年	724,675	10,942	878,633	24,258	77,740	708	1,074	31,281	93,211
平成6年	729,457	10,649	881,723	26,114	78,910	750	1,042	33,884	94,482
平成7年	761,789	10,679	922,677	27,840	82,551	800	1,125	35,984	99,112
平成8年	771,084	9,942	942,203	28,102	80,633	762	980	36,716	97,948
平成9年	780,399	9,640	958,925	28,453	79,063	710	954	37,361	96,147
平成10年	803,878	9,211	990,675	28,086	77,580	728	902	36,957	94,516
平成11年	850,363	9,006	1,050,397	29,721	80,294	715	896	39,630	98,544
平成12年	931,934	9,066	1,155,697	32,953	84,938	763	801	43,960	104,756
平成13年	947,169	8,747	1,180,955	33,292	83,530	690	820	44,669	103,559
平成14年	936,721	8,326	1,167,855	32,162	79,297	688	735	43,138	98,481
平成15年	947,993	7,702	1,181,431	32,492	78,786	657	691	43,726	97,801
平成16年	952,191	7,358	1,183,120	32,403	76,463	637	621	43,460	94,962
平成17年	933,828	6,871	1,156,633	32,000	73,446	631	570	42,657	90,987
平成18年	886,864	6,352	1,098,199	30,327	68,004	556	518	40,328	84,300
平成19年	832,454	5,744	1,034,445	27,356	61,829	534	505	36,316	77,225
平成20年	766,147	5,155	945,504	24,222	55,313	428	428	31,852	68,608
平成21年	737,474	4,914	910,118	20,678	49,850	384	370	27,049	62,132
平成22年	725,773	4,863	896,208	21,046	48,746	398	409	27,898	60,603
平成23年	691,937	4,612	854,493	20,567	46,823	367	382	27,282	58,427
平成24年	665,138	4,411	825,396	19,474	43,976	389	314	25,739	55,825
平成25年	629,021	4,373	781,494	18,491	41,172	364	289	24,599	51,903
平成26年	573,842	4,113	711,374	17,801	37,502	340	328	23,662	47,720

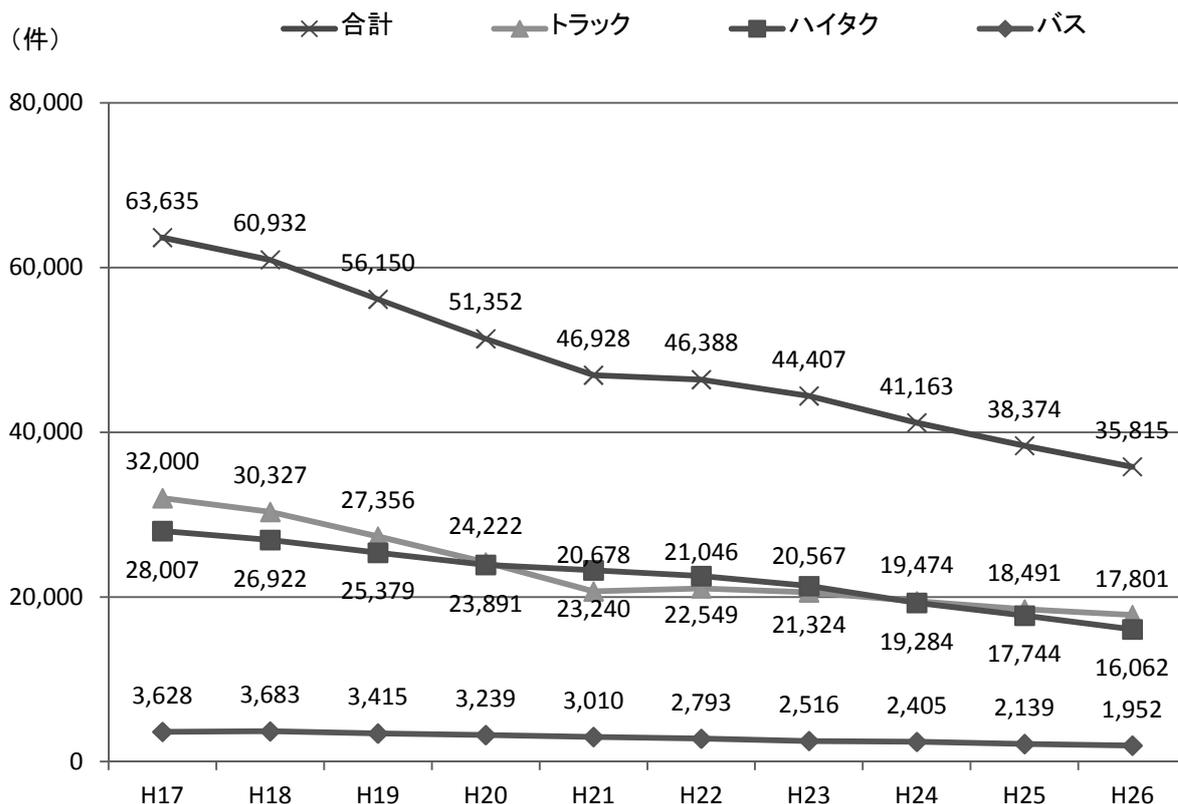
付録7. 事業用自動車の業態別死者数の推移(平成17年～平成26年)



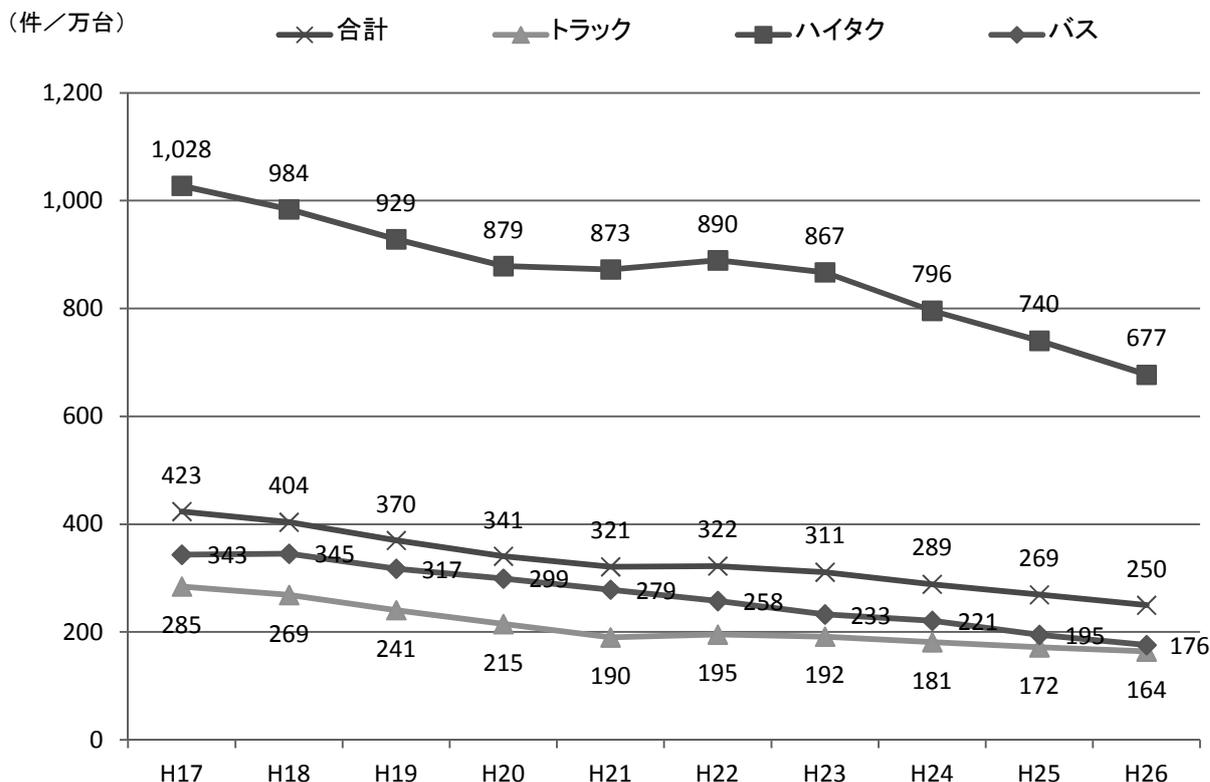
付録8. 事業用自動車の業態別保有台数当たりの死者数の推移(平成17年～平成26年)



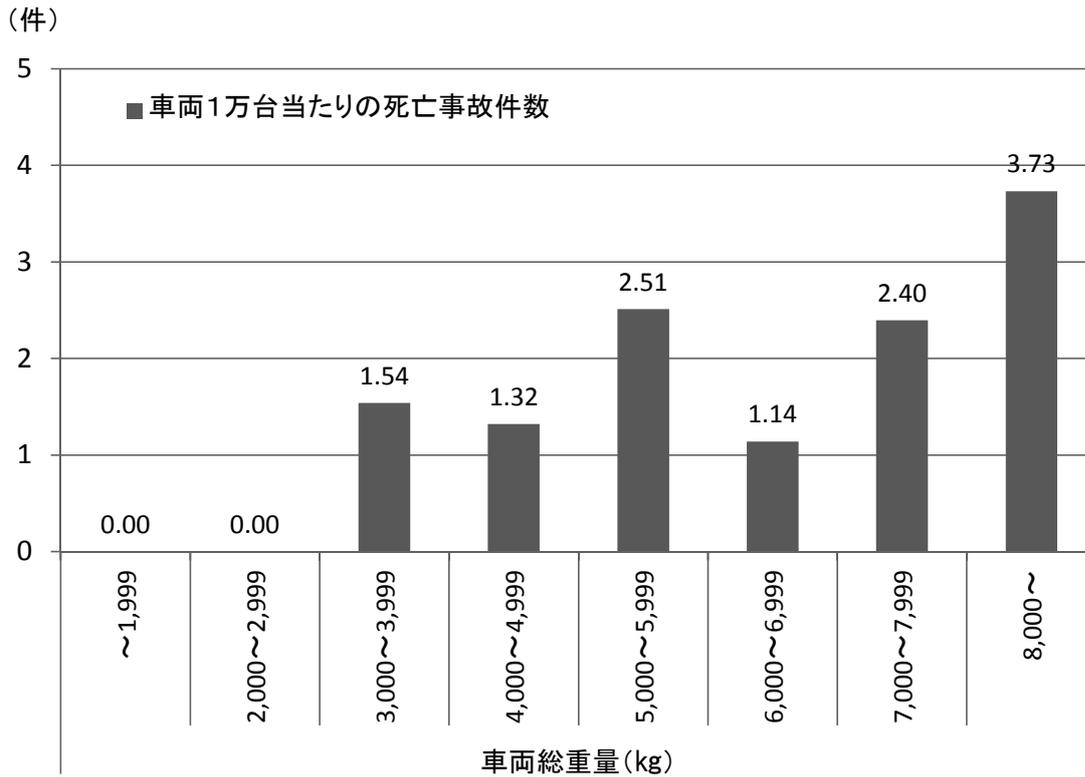
付録9. 事業用自動車の業態別事故件数の推移(平成17年～平成26年)



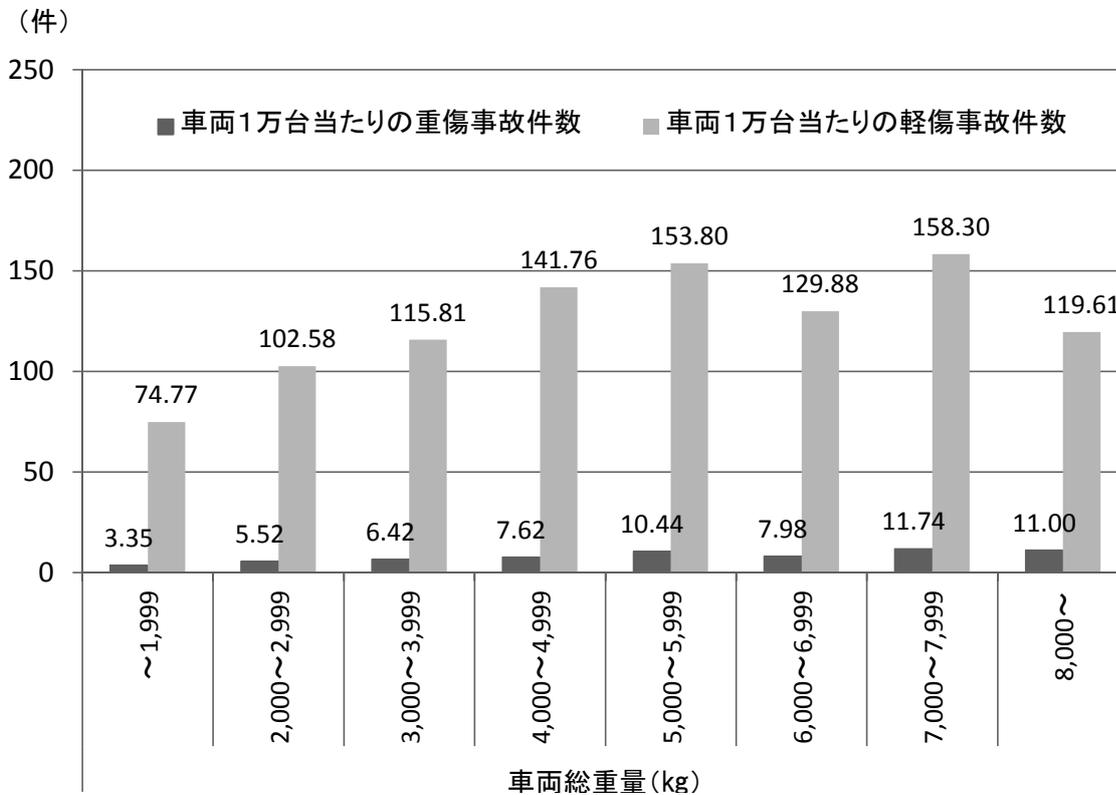
付録10. 事業用自動車の業態別保有台数当たりの事故件数の推移(平成17年～平成26年)



付録11. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの死亡事故件数



付録12. 平成26年 事業用貨物自動車の車両総重量別車両1万台当たりの重傷・軽傷事故件数



付録13. 事業用自動車運転者の年齢別死亡事故発生割合(平成17年～平成26年)

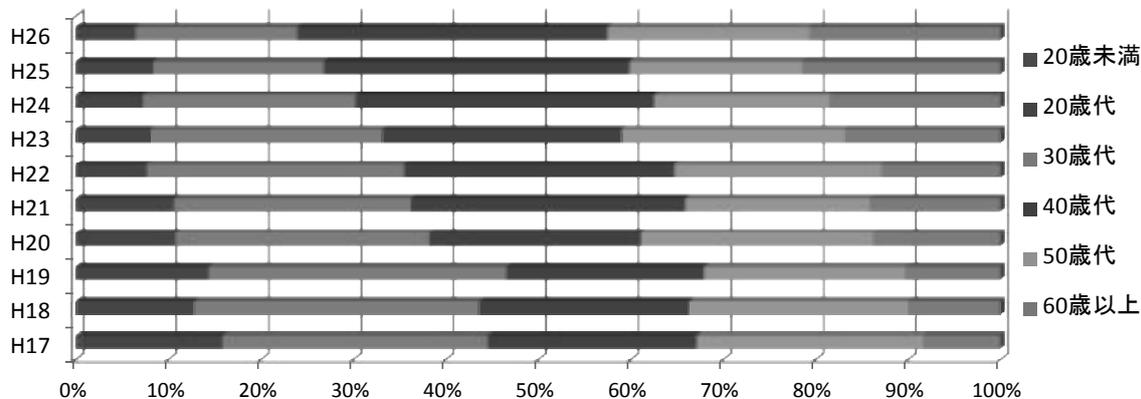
◎運転者の年齢別 死亡事故件数(合計(バス+ハイタク+トラック))

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
H17	6	100	192	151	164	56	669
H18	2	76	188	138	144	61	609
H19	0	82	184	122	124	59	571
H20	1	50	130	108	119	65	473
H21	0	45	109	126	85	60	425
H22	0	34	124	130	100	57	445
H23	1	32	103	106	99	69	410
H24	1	30	98	138	81	79	427
H25	0	34	75	134	76	87	406
H26	0	25	68	130	85	80	388

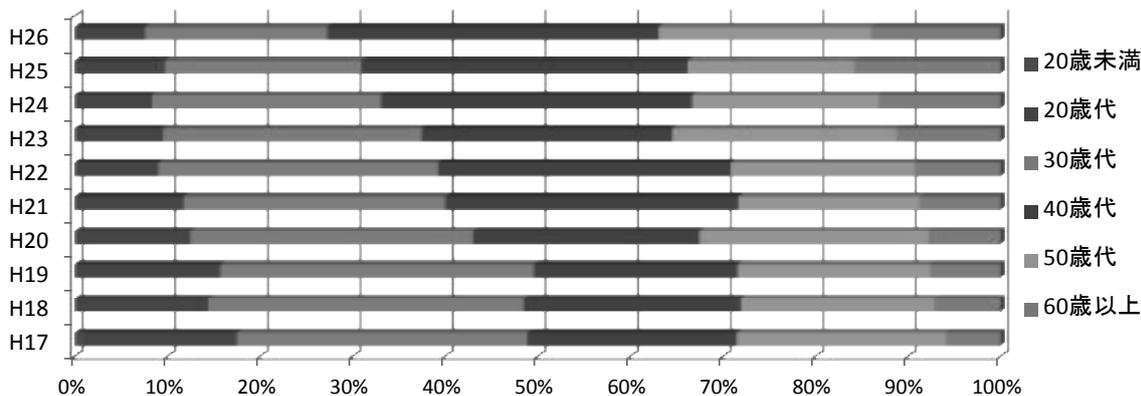
◎運転者の年齢別 死亡事故件数(トラック)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
H17	6	98	186	134	134	35	593
H18	2	75	182	125	112	38	534
H19	0	81	174	113	107	39	514
H20	1	50	125	100	101	32	409
H21	0	43	104	116	72	32	367
H22	0	34	114	119	75	35	377
H23	1	32	97	94	84	39	347
H24	1	30	92	125	75	49	372
H25	0	34	74	123	63	55	349
H26	0	25	65	118	76	46	330

◎運転者の年齢別 死亡事故発生割合(合計(バス+ハイタク+トラック))



◎運転者の年齢別 死亡事故発生割合(トラック)



付録14. 事業用自動車運転者の年齢別事故発生割合(平成17年～平成26年)

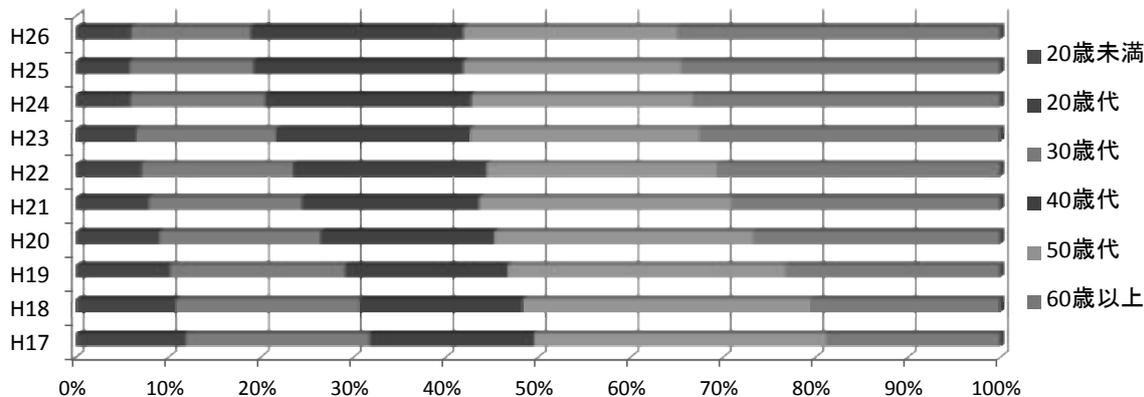
◎運転者の年齢別 事故件数(合計(バス+ハイタク+トラック))

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
H17	295	7,268	12,683	11,305	20,099	11,985	63,635
H18	269	6,337	12,112	10,741	18,978	12,495	60,932
H19	221	5,505	10,624	9,877	16,885	13,038	56,150
H20	149	4,496	8,954	9,636	14,380	13,737	51,352
H21	61	3,659	7,758	9,000	12,784	13,666	46,928
H22	56	3,256	7,611	9,707	11,547	14,211	46,388
H23	61	2,841	6,736	9,317	10,991	14,461	44,407
H24	43	2,399	5,991	9,178	9,843	13,709	41,163
H25	72	2,160	5,155	8,709	9,026	13,252	38,374
H26	59	2,095	4,614	8,262	8,267	12,518	35,815

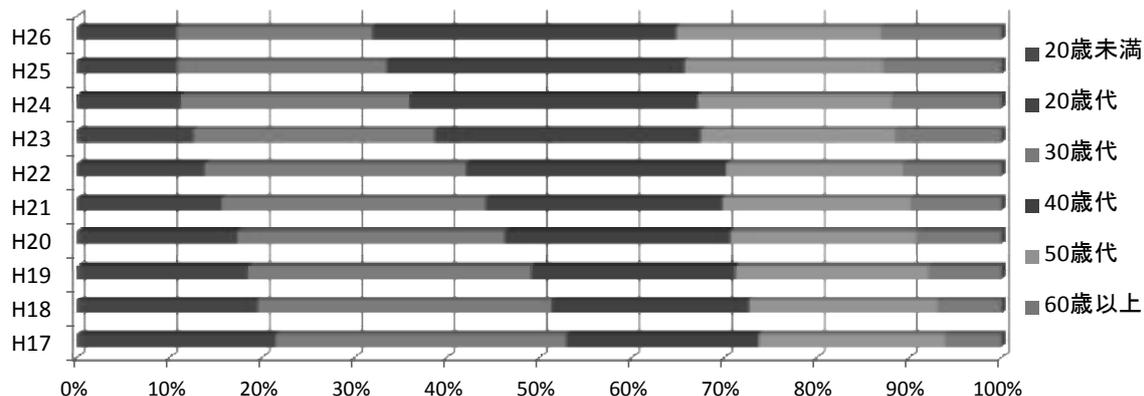
◎運転者の年齢別 事故件数(トラック)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
H17	268	6,610	10,056	6,652	6,451	1,963	32,000
H18	247	5,679	9,654	6,467	6,182	2,098	30,327
H19	197	4,860	8,380	6,039	5,707	2,173	27,356
H20	143	4,066	6,997	5,911	4,870	2,235	24,222
H21	58	3,191	5,895	5,296	4,212	2,026	20,678
H22	55	2,857	5,944	5,917	4,030	2,243	21,046
H23	59	2,536	5,363	5,918	4,320	2,371	20,567
H24	40	2,149	4,818	6,065	4,084	2,318	19,474
H25	71	1,934	4,190	5,962	3,971	2,363	18,491
H26	58	1,863	3,766	5,848	3,950	2,316	17,801

◎運転者の年齢別 事故発生割合(合計(バス+ハイタク+トラック))



◎運転者の年齢別 事故発生割合(トラック)

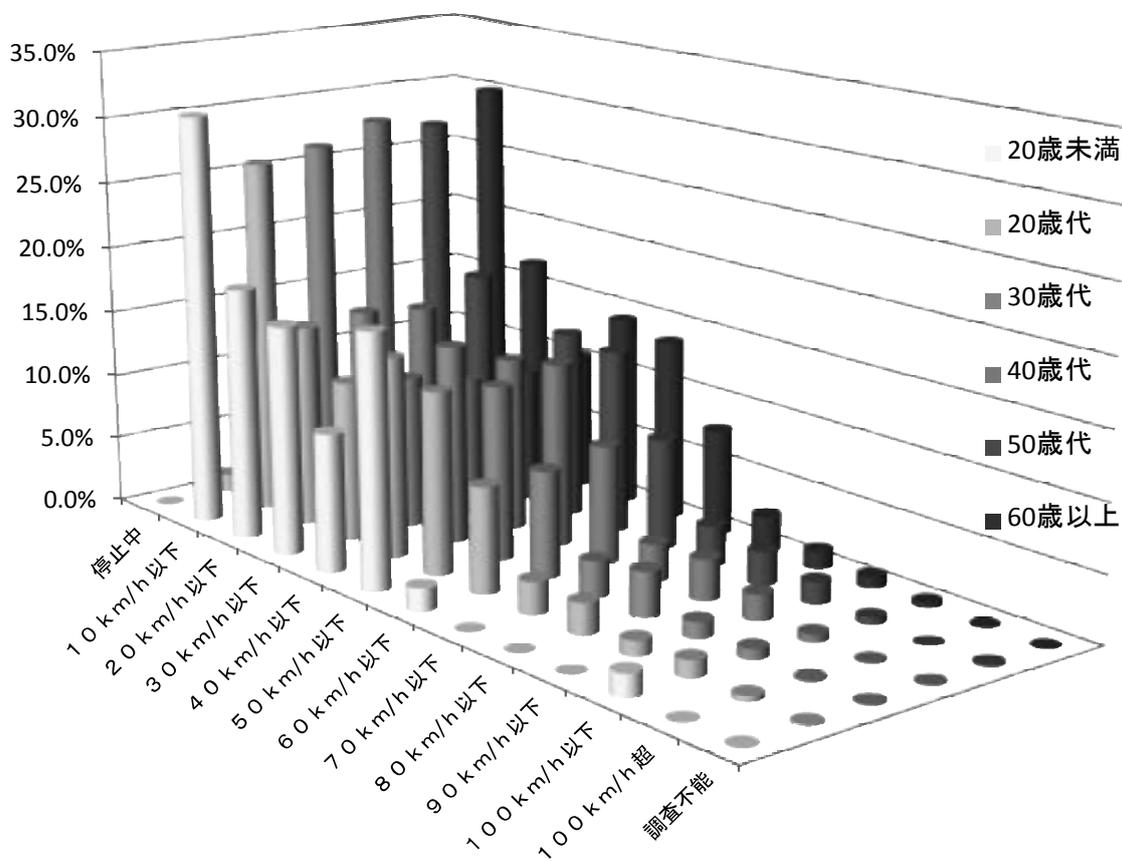


付録15. 平成26年 危険認知速度別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合

◎危険認知速度別・運転者の年齢別 事故発生割合(トラック)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
停止中	0.0%	1.3%	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%	0.9%
10km/h以下	31.0%	26.8%	27.5%	28.9%	28.0%	30.1%	28.3%
20km/h以下	19.0%	15.2%	15.6%	15.1%	16.8%	17.0%	15.8%
30km/h以下	17.2%	12.1%	11.5%	10.5%	10.2%	10.5%	10.8%
40km/h以下	10.3%	15.1%	15.0%	13.1%	14.2%	14.5%	14.1%
50km/h以下	19.0%	13.7%	13.1%	13.9%	13.9%	13.8%	13.7%
60km/h以下	1.7%	7.9%	8.0%	8.8%	8.3%	8.0%	8.3%
70km/h以下	0.0%	2.4%	2.7%	2.8%	3.1%	2.7%	2.8%
80km/h以下	0.0%	2.4%	3.4%	3.1%	2.5%	1.4%	2.7%
90km/h以下	0.0%	1.2%	1.2%	2.0%	1.7%	0.9%	1.5%
100km/h以下	1.7%	1.3%	0.8%	0.6%	0.5%	0.4%	0.7%
100km/h超	0.0%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
調査不能	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%

◎危険認知速度別・運転者の年齢別 事故発生割合(トラック)

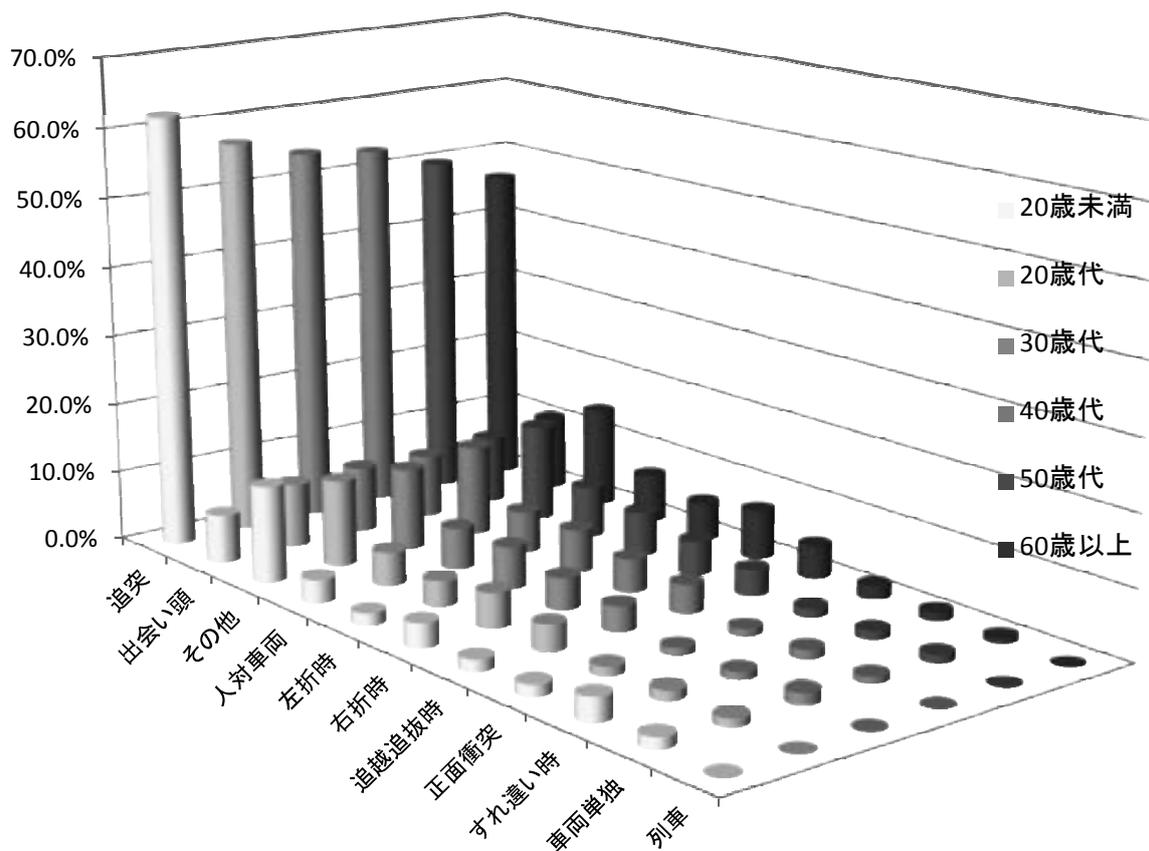


付録16. 平成26年 事故類型別事業用貨物自動車運転者の年齢別事故発生割合

◎事故類型別・運転者の年齢別 事故発生割合(トラック)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
追突	62.1%	57.0%	54.1%	53.1%	49.9%	46.4%	52.2%
出会い頭	6.9%	9.2%	9.6%	9.1%	9.8%	10.8%	9.6%
その他	13.8%	12.5%	11.9%	13.0%	14.0%	14.4%	13.1%
人対車両	3.4%	4.8%	6.0%	6.1%	7.4%	7.1%	6.3%
左折時	1.7%	3.8%	6.1%	6.2%	6.3%	5.5%	5.8%
右折時	3.4%	5.0%	4.7%	4.8%	4.9%	7.1%	5.1%
追越追抜時	1.7%	3.8%	3.7%	4.2%	3.8%	4.7%	4.0%
正面衝突	1.7%	1.3%	1.1%	1.1%	1.3%	1.9%	1.3%
すれ違い時	3.4%	1.4%	1.1%	1.3%	1.3%	1.2%	1.3%
車両単独	1.7%	1.2%	1.7%	1.0%	1.2%	0.8%	1.2%
列車	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

◎事故類型別・運転者の年齢別 事故発生割合(トラック)



付録17. 事業用自動車の管轄運輸支局（車籍）別の死亡事故件数及び死者数（第1当事者）（平成24年～平成26年）

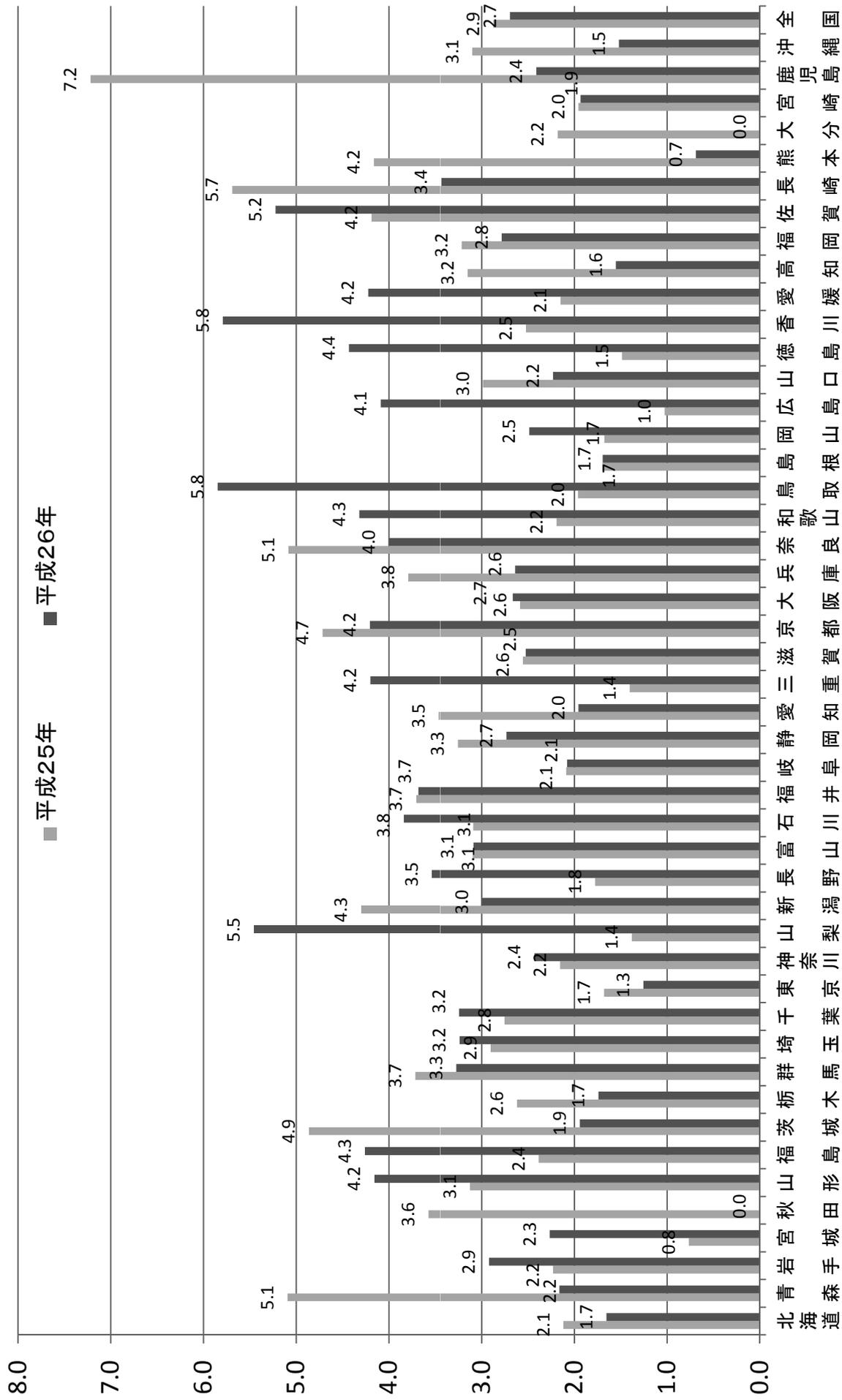
区分	死亡事故件数					死者数					車両台数	1万台当たり死亡事故件数	
	H24	H25	H26	H25比増減	率	H24	H25	H26	H25比増減	率			
北海道	札幌	7	5	9	4	80%	7	5	10	5	100%		
	函館	1	4	1	△ 3	-75%	1	5	1	△ 4	-80%		
	室蘭	4	0	0	0	0%	4	0	0	0	0%		
	帯広	0	1	1	0	0%	0	1	1	0	0%		
	釧路	3	2	0	△ 2	-100%	3	2	0	△ 2	-100%		
	北見	0	1	0	△ 1	-100%	0	1	0	△ 1	-100%		
	旭川	2	1	0	△ 1	-100%	3	1	0	△ 1	-100%		
	小計	17	14	11	△ 3	-21%	18	15	12	△ 3	-20%	66,543	1.7 ↓
東北	宮城	7	2	6	4	200%	7	2	7	5	250%	26,490	2.3 ↑
	福島	9	5	9	4	80%	9	5	9	4	80%	21,132	4.3 ↑
	岩手	2	3	4	1	33%	2	4	5	1	25%	13,693	2.9 ↑
	青森	8	7	3	△ 4	-57%	9	7	3	△ 4	-57%	13,882	2.2 ↓
	山形	1	3	4	1	33%	1	3	4	1	33%	9,624	4.2 ↑
	秋田	1	3	0	△ 3	-100%	1	3	0	△ 3	-100%	8,402	0.0 ↓
	小計	28	23	26	3	13%	29	24	28	4	17%	93,223	2.8 ↑
北陸・信越	新潟	7	10	7	△ 3	-30%	7	10	8	△ 2	-20%	23,365	3.0 ↓
	長野	3	3	6	3	100%	3	3	6	3	100%	16,960	3.5 ↑
	富山	3	4	5	1	25%	3	4	5	1	25%	13,023	3.8 ↑
	石川	4	4	4	0	0%	4	4	4	0	0%	12,958	3.1 ↓
	小計	17	21	22	1	5%	17	21	23	2	10%	66,306	3.3 ↑
関東	東京	18	16	12	△ 4	-25%	19	17	12	△ 5	-29%	95,504	1.3 ↓
	神奈川	15	14	16	2	14%	16	14	16	2	14%	65,828	2.4 ↑
	千葉	11	16	19	3	19%	11	16	20	4	25%	58,589	3.2 ↑
	埼玉	27	23	26	3	13%	27	25	26	1	4%	80,270	3.2 ↑
	茨城	13	20	8	△ 12	-60%	13	20	8	△ 12	-60%	41,196	1.9 ↓
	群馬	10	9	8	△ 1	-11%	10	9	8	△ 1	-11%	24,435	3.3 ↓
	栃木	6	6	4	△ 2	-33%	7	6	4	△ 2	-33%	22,981	1.7 ↓
	山梨	5	1	4	3	300%	5	1	4	3	300%	7,326	5.5 ↑
	小計	105	105	97	△ 8	-8%	108	108	98	△ 10	-9%	396,129	2.4 ↓
中部	愛知	10	28	16	△ 12	-43%	10	29	17	△ 12	-41%	81,845	2.0 ↓
	静岡	17	13	11	△ 2	-15%	17	14	12	△ 2	-14%	40,254	2.7 ↓
	岐阜	4	4	4	0	0%	4	4	4	0	0%	19,258	2.1 ↓
	三重	5	3	9	6	200%	5	3	9	6	200%	21,432	4.2 ↑
	福井	3	3	3	0	0%	3	3	3	0	0%	8,147	3.7 ↓
小計	39	51	43	△ 8	-16%	39	53	45	△ 8	-15%	170,936	2.5 ↓	
近畿	大阪	30	23	24	1	4%	32	27	25	△ 2	-7%	90,081	2.7 ↑
	京都	5	10	9	△ 1	-10%	5	10	9	△ 1	-10%	21,408	4.2 ↓
	兵庫	14	17	12	△ 5	-29%	14	17	12	△ 5	-29%	45,487	2.6 ↓
	滋賀	4	3	3	0	0%	5	4	3	△ 1	-25%	11,881	2.5 ↓
	奈良	6	5	4	△ 1	-20%	7	5	4	△ 1	-20%	10,000	4.0 ↓
	和歌山	3	2	4	2	100%	3	2	4	2	100%	9,263	4.3 ↑
小計	62	60	56	△ 4	-7%	66	65	57	△ 8	-12%	188,120	3.0 ↓	
中国	広島	13	3	12	9	300%	14	3	12	9	300%	29,350	4.1 ↑
	鳥取	2	1	3	2	200%	2	1	3	2	200%	5,131	5.8 ↑
	島根	1	1	1	0	0%	1	1	1	0	0%	5,898	1.7 ↓
	岡山	14	4	6	2	50%	15	4	6	2	50%	24,126	2.5 ↑
	山口	5	4	3	△ 1	-25%	5	4	3	△ 1	-25%	13,451	2.2 ↓
小計	35	13	25	12	92%	37	13	25	12	92%	77,956	3.2 ↑	
四国	香川	5	3	7	4	133%	5	3	7	4	133%	12,086	5.8 ↑
	徳島	1	1	3	2	200%	1	1	3	2	200%	6,769	4.4 ↑
	愛媛	2	3	6	3	100%	2	4	6	2	50%	14,207	4.2 ↑
	高知	3	2	1	△ 1	-50%	3	2	1	△ 1	-50%	6,447	1.6 ↓
小計	11	9	17	8	89%	11	10	17	7	70%	39,509	4.3 ↑	
九州	福岡	24	16	14	△ 2	-13%	26	16	14	△ 2	-13%	50,290	2.8 ↓
	佐賀	4	4	5	1	25%	4	4	5	1	25%	9,574	5.2 ↑
	長崎	3	5	3	△ 2	-40%	3	5	3	△ 2	-40%	8,735	3.4 ↓
	熊本	5	6	1	△ 5	-83%	5	7	1	△ 6	-86%	14,511	0.7 ↓
	大分	1	2	0	△ 2	-100%	1	2	0	△ 2	-100%	9,256	0.0 ↓
	宮崎	5	2	2	0	0%	5	2	2	0	0%	10,345	1.9 ↓
	鹿児島	7	12	4	△ 8	-67%	10	13	4	△ 9	-69%	16,589	2.4 ↓
小計	49	47	29	△ 18	-38%	54	49	29	△ 20	-41%	119,300	2.4 ↓	
沖縄	2	2	1	△ 1	-50%	2	2	3	1	50%	6,586	1.5 ↓	
不明	7	4	3	△ 1	-25%	8	4	3	△ 1	-25%			
合計	372	349	330	△ 19	-5%	389	364	340	△ 24	-7%	1,224,608	2.7 ↓	

※軽自動車による死亡事故件数及び死者数を除く

(作成：公益社団法人 全日本トラック協会)

※車両台数はトレーラ及び軽自動車を除く営業用貨物自動車の保有台数（H26年3月末現在）：出典（一財）自動車検査登録情報協会

付録18. 事業用トラック1万台当たりの死亡事故件数（平成25年,平成26年）



※ 軽貨物を除く  
（作成：公益社団法人 全日本トラック協会）

## 事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例

発行 : 公益社団法人 **全日本トラック協会**

編集 公益財団法人 交通事故総合分析センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目 2 番 5

T e l 0 3 ( 3 3 5 4 ) 1 0 0 9 ( 代 表 )

F a x 0 3 ( 3 3 5 4 ) 1 0 1 9

ホームページのアドレス <http://www.jta.or.jp>

